

平成19年度後期授業満足度アンケート
調査結果報告書

平成20年3月

名城大学 FD委員会

目次

授業満足度アンケート調査結果について	1
〔調査実施資料〕	
調査概要と対象者属性	2
学生用アンケート用紙	3
教員用アンケート用紙	5
〔授業科目の改善ポイント〕	
1 授業科目の集計と項目別改善ポイント	7
2 改善ポイント見方の例	8
〔学部別分析結果〕	
3 教員の自己評価と学生評価との比較	9
4 授業満足度と相関の高い項目	15
5 学生の学力分布のタイプ分け	21
6 学力程度別の授業満足度	22
7 教員と学生の対象レベルの一致	23
8 出席率について	24
9 出席学生数と出席学生数別満足度	25
10 自学自主時間と授業満足度	26
11 授業満足度×自学自習時間(プロット)	27
〔設問別集計結果〕	
12 教員用設問	28
13 学生用設問	45
14 調査結果のまとめ	66

授業満足度アンケート調査結果について

アンケート実施の際はご協力どうもありがとうございました。皆様のお陰をもち、結果報告書をここにお届けする運びとなりました。

本学では平成12年より授業満足度アンケートを実施し、教員の授業スキルの向上をはかってまいりました。授業改善も新たなシーンに向かい、アンケート手法も進化しております。本アンケートでは教育力のさらなる向上を目指し、学生、教員、双方の評価に基づき、多角的な観点から授業を分析しました。

アンケート結果は、まず、科目毎に集計され、授業期間中に各先生へフィードバックされました。次に、全体の集計に基づいた分析結果が、FD ニュースの形で学生へ、結果報告書の形で教員のもとへ届けられます。授業改善に、ぜひお役立てください。

本結果報告書は、前半に分析結果を、後半に設問別の集計結果を掲載しました。分析結果においては、「教員の自己評価と学生評価との比較」にて教員と学生の意識のギャップを、「授業満足度と相関の高い項目」にて授業満足度を決める要因およびその得点を、大学全体、各学部別にまとめました。本アンケートの特徴のひとつに、(自分の学力)レベルを学生に聞いた点があります。「学生の学力分布のタイプ分け」、「教員と学生の対象レベルの一致」、「学力程度別の授業満足度」にその結果をまとめました。「出席率について」、「出席学生数と出席学生数別満足度」という他の観点からのデータも掲載しました。最後に、「授業満足度×自学自習時間」という表を載せ、授業評価に満足度という指標だけでなく、自学自習時間というもうひとつの指標を取り入れることにより、より立体的な評価が可能となることを提案しました。

以下、結果を簡単にまとめます。「教員の自己評価と学生評価との比較」では、ギャップは少しありますが、思いのほか良く似た形のレーダーチャートが得られました。これは、各教員が良く学生の状態を把握できている証拠と思われる。また、「授業満足度と相関の高い項目」では、授業満足度との相関の高い項目を含み、各項目の加重平均得点が高いことがわかります。授業改善が順調に進んでいることを物語ります。ただし、本学の学生は、“基礎知識”、“学力程度”がちょっと弱いという結果も出ております。

「自学自習時間と授業満足度」、「学力程度別の授業満足度」から、どの学部においても、自習時間ならびに学力レベルは授業満足度と良い相関があるようです。即ち、より主体的に学ぶ学生の方が満足度が高いようです。加えて、「教員と学生の対象レベルの一致」が示すように、教員と学生の対象レベルが一致するほど満足度が高いという結果も出ています。最後に、「授業満足度×自学自習時間」のグラフより、満足度が高くかつ自学自習時間の長い科目も存在することがわかります。この様な科目をひとつでも増やすためにお役に立てるよう、学生満足度チームは今後とも努力いたします。何卒、皆様のお力添えをよろしく願います。

F D委員会 学生満足度チーム 座長 成塚重弥

調査概要と対象者属性

目的

昨年、教員を対象とした授業満足度アンケートを実施いたしましたが、今年度は同一科目を対象に学生アンケートと教員アンケートを同時に実施し、相互の視点から立体的に授業を評価いたします。さらにアンケート結果を早急に(授業ターム内に)先生方にフィードバックすることで、リアルタイムな授業改善、次年度のシラバス作成に結果を反映させることを目的とします。

調査方法

教員調査、学生調査ともマークシートによる自記式アンケート

実施期間

2007.10.23 ~ 2007.11.9

調査主体

FD委員会 学生満足度チーム

対象授業

本アンケートは平成19年度後期に学部 of 授業を担当する専任教員のみを対象とし、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。

- ・ 体育科目
- ・ リレー方式で開講されている科目
- ・ 実験・実習・演習など講義以外の科目

回答者属性

学生 28,365人

教員 323人 (353設定授業中 333授業で実施 実施率94.3%)

開講学部別回答者数

	実施授業数	学生	教員
法学部	26	2,718	22
経営学部	27	2,152	25
経済学部	21	2,038	20
理工学部	132	9,689	131
農学部	33	3,114	32
薬学部	18	2,479	18
薬学部(6年)	23	2,121	23
都市情報学部	24	1,487	24
人間学部	18	1,732	17
教職課程	5	366	5
全学共通教育部門	6	469	6
計	333	28,365	323

学生用アンケート用紙(1)

平成19年度後期授業満足度アンケート(学生用)

名城大学FD委員会
学生満足度チーム

このアンケート調査は、学生の視点から授業の満足度を測り、これを授業の改善に結びつけることを目的として実施するものですので率直に回答して下さい。

なお、ご回答いただいた個人情報(学籍番号、氏名)は授業改善のみに使用し、学籍番号、氏名が公表されることはありませんし、成績評価等にも一切影響しません。

はじめに：マークカードに科目名・氏名・学籍番号を記入の上、学籍番号をマークしてください。
回答方法：もっとも当てはまる記号を一つ選び、鉛筆でマークしてください。質問21はマークカードの自由記述欄、もしくはマークカードの裏面に記入してください。

- 1 この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 2 授業中は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 3 この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。
a. 全くしていない b. あまりしていない c. どちらともいえない d. 少々している e. よくしている
- 4 この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。
a. 週3時間以上 b. 週1時間-3時間未満 c. 週30分-1時間未満 d. 週30分未満 e. していない
- 5 この授業は内容が興味深く、魅力的である。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 6 この授業はシラバスに示された内容を満たしている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. そう思わない e. シラバスを読んでいない
- 7 この授業では指定したテキストを活用している。
a. よく活用している b. ある程度活用している c. 活用していない
d. テキストはあるが買っていない e. この授業はテキストを使用していない
- 8 教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 9 教員は学生に興味をわくように工夫した進め方をしている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 10 教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

裏面へ進んで下さい

学生用アンケート用紙(2)

平成19年度後期授業満足度アンケート(学生用)

- 11 この授業は私語が多くて受けづらい。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 12 教員は成績評価基準を明確に示しましたか。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 13 教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 14 教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 15 この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 16 自分はこの授業が理解できている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 17 この授業は将来に役立つと思いますか。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 18 この授業では新しいことを学べている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 19 この授業は総合的に見て満足のものである。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 20 自分の学力はどの程度だと思いますか。
a. 上 b. どちらかといえば上 c. 中 d. どちらかといえば下 e. 下
21. 学生にとってよい授業とは何ですか。(あなたにとって一番ウエイトを占める要因をお書きください)
(マークカードの自由記述欄、もしくはマークカードの裏面に記入して下さい)

教員用アンケート用紙(1)

平成19年度後期授業満足度アンケート(教員用)

名城大学 FD委員会
学生満足度チーム

FD委員会では昨年、教員を対象とした授業満足度アンケートを実施しましたが、今年度は同一科目を対象に教員アンケートと学生アンケートを同時に実施し、相互の視点から立体的に考察することでよりよい改善策を皆さまにご提案してまいりたいと思います。回答内容につきましてはFD活動以外の目的では使用致しませんので、是非ご協力いただきますようお願い致します。

はじめに：マークカードにご担当の科目名・実施日・ご氏名を記入してください。
回答方法：もっとも当てはまる記号を一つ選んでマークしてください。

- 1 この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。
a. 上位層 b. どちらかといえば上位層 c. 中位層 d. どちらかといえば下位層 e. 下位層
- 2 この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 3 この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 4 この授業はシラバスにそって内容を進めている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 5 この授業ではテキストを活用しながら進めている。
a. よく活用している b. ある程度活用している c. あまり活用していない
d. 活用していない e. この授業はテキストを設定していない
- 6 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 7 学生に興味があくように工夫した進め方をしている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 8 この授業の大切なポイントをきちんと示している。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 9 私語に対し、きちんと対応している。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

裏面へ進んで下さい

教員用アンケート用紙(2)

平成19年度後期授業満足度アンケート(教員用)

- 10 学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。
a. とてもあてはまる b. ややあてはまる c. どちらともいえない d. あまりあてはまらない
e. 全くあてはまらない
- 11 板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 12 自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 13 この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 14 学生はこの授業が理解できていると思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 15 この授業は学生の将来に役立つと思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
- 16 この授業では学生は新しいことを学んでいると思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
17. 教員がよい授業を行うにはどのような要因が必要だと考えられますか。
(マークカードの自由記述欄、もしくはマークカードの裏面に記入して下さい)

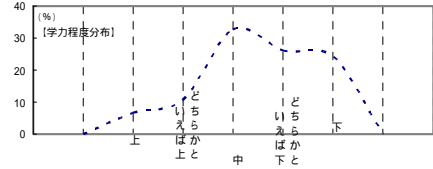
1 授業科目の集計と項目別改善ポイント

【名城大学FD】平成19年度後期授業満足度アンケート
平成19年度 後期科目 集計と項目別改善ポイント

学部	後期	科目名:	時間割: 月曜 1時間	水曜 1時間
履修登録者数: 400人	回答者数: 300人		教員名:	

総合満足度	強く+やや	加重平均 得点	強くそう思 う	やや思 う	どちらとも いえない	あまり	全く 思わない	無回答	この科目の 自学自習時間 (%)	週3時間以上	週1時間-3時間	週30分-1時間	週30分未満	勉強して いない	無回答
	45.0%	[3.2]	14.9	30.1	25.1	19.9	10.0	0.0		4.7	10.3	24.5	19.6	40.9	0.0

総合満足度: 選択肢のうち「強くそう思う」と「ややそう思う」のスコアの合計
[]内は加重平均得点。「強くそう思う」に5点、「全くそう思わない」に1点を与えた。
加重平均得点は最大5.0点、最小1.0点(テキストのみ最小0.0点)で表示されます。

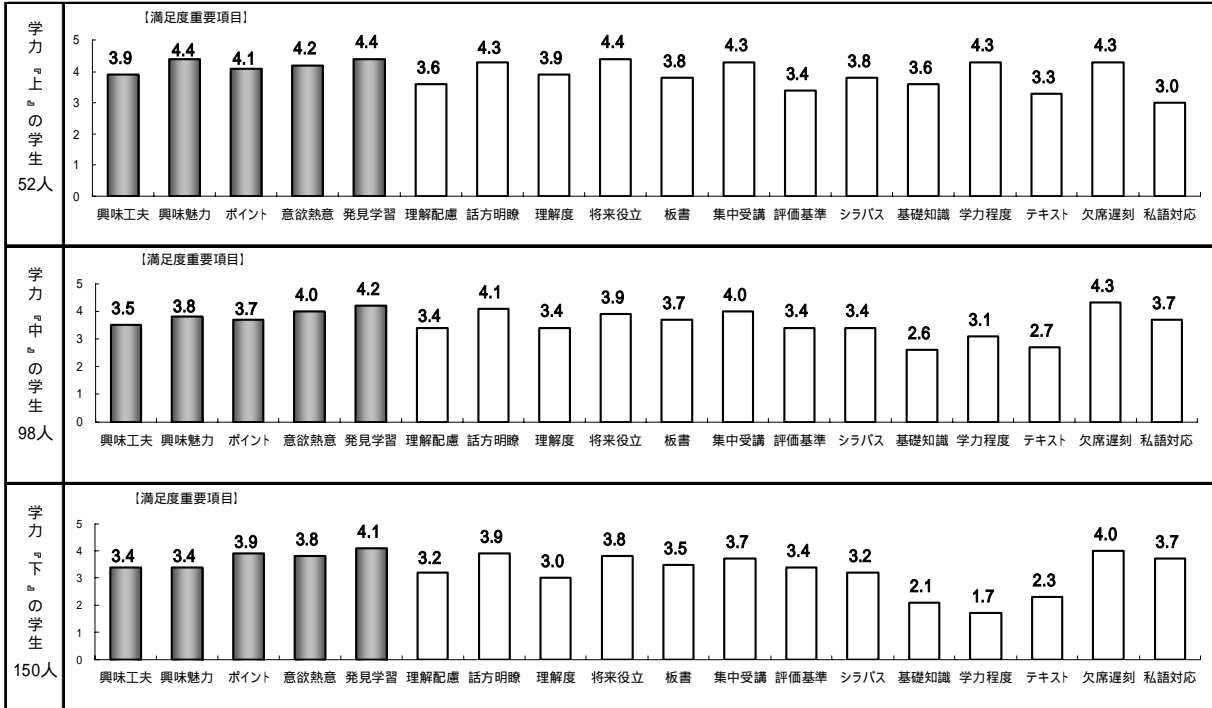
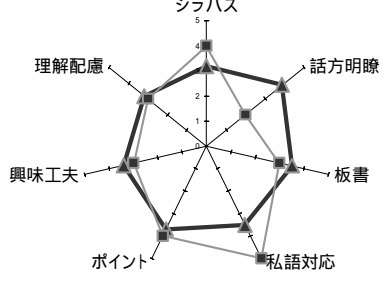
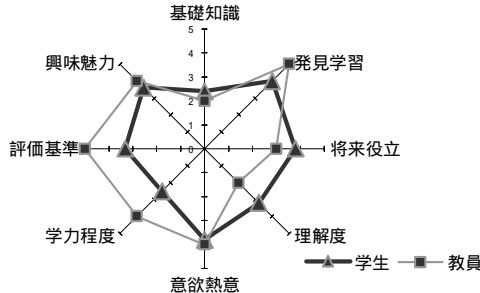


学力程度	対象	上	どちらかといえ ば上	中	どちらかといえ ば下	下	無回答
	教員						
	学生割合%(人数)	6.7 (20人)	10.7 (32人)	32.7 (98人)	26.0 (78人)	24.0 (72人)	0.0 (0人)
満足学生の割合		73.1 (38 / 52)	63.3 (62 / 98)	23.3 (35 / 150)			

	学生	教員
基礎知識	2.5	2
興味魅力	3.7	4
評価基準	3.4	5
学力程度	2.6	4
意欲熱意	3.9	4
理解度	3.3	2
将来役立	3.9	3
発見学習	4.1	5

	学生	教員
シラバス	3.3	4
理解配慮	3.3	3
興味工夫	3.5	3
ポイント	3.8	4
私語対応	3.6	5
板書	3.6	3
話方明瞭	3.9	2
集中受講	3.9	
欠席遅刻	4.2	
テキスト	2.6	-

() 評価基準の教員設問は「学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている」。
() 私語対応の学生設問は否定形設問のため、全くそう思わないに5点、強くそう思うを1点として計算。
私語対応の教員設問は「私語に対し、きちんと対応している」。



上記グラフ=左から満足度と相関が高い順に並んでいます。網掛け項目が満足度との相関が高く重要な項目です。網掛けの項目のうちスコアが低い項目が改善すべき項目です。
『上』: 学力を「上」もしくは「どちらかといえば上」と回答した学生。『中』: 学力を「中」と回答した学生。『下』: 学力を「どちらかといえば下」もしくは「下」と回答した学生。
【 】: 教員が設問1でのレベルに合わせて授業しているのかその回答した結果の欄に表示。

2 改善ポイントの見方の例

「平成 19 年度 後期科目 集計と項目別改善ポイント」見方の例

総合満足度：学生用アンケート設問 19 における回答のうち「強くそう思う」と「ややそう思う」に回答した得点の合計です。加重平均得点は、「強くそう思う」に 5 点を与え、最小の「全く思わない」に 1 点を与えて計算しています。

この科目の自学自習時間：学生用アンケート設問 4 の集計結果です。授業時間を除いた学習時間数です。

学力程度：(教員欄) 教員用アンケート設問 1 の回答です。どのレベルにあわせて授業をしているかという設問に対する回答を で示しています。

(学生割合欄) 学生アンケート設問 20 の集計結果です。学生が自分の学力をどの程度と考えているかがわかります。上記の 印項目と学生の割合のピークとが一致している場合は、より多くの学生のレベルにあわせた授業ができているといえます。

(満足学生の割合欄) 学生アンケート設問 19 の集計結果を学力程度別で示しています。学力程度上中下それぞれのレベルの学生の満足度がわかります。

学力程度分布：学生用アンケート設問 20 の回答状況を図としたものです。どこの学力レベルに焦点をあてたら授業が進めやすいのかがわかります。

基礎知識～話方明瞭(15 項目)：学生用アンケート、教員用アンケートそれぞれに対応する設問の回答(学生欄は加重平均得点)を示しています。下限が 1 点、上限が 5 点で表示されます。

集中受講～テキスト(3 項目)：集中受講、欠席遅刻は、教員用アンケートに対応する設問がない項目です。

テキストは、学生用アンケートと教員用アンケートで回答に対して与えられる得点が異なります。

レーダーチャート：上記 15 項目を図で示しています。学生と教員の感じ方のギャップを見ることができます。学生と教員のグラフが重なれば、教員が学生の状況をよく把握して授業を展開しているといえます。

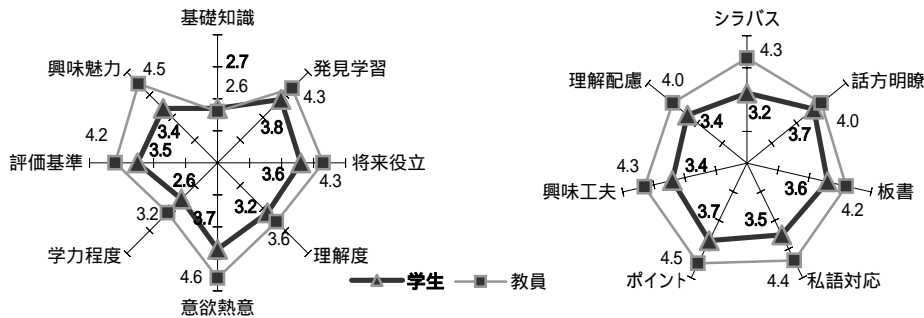
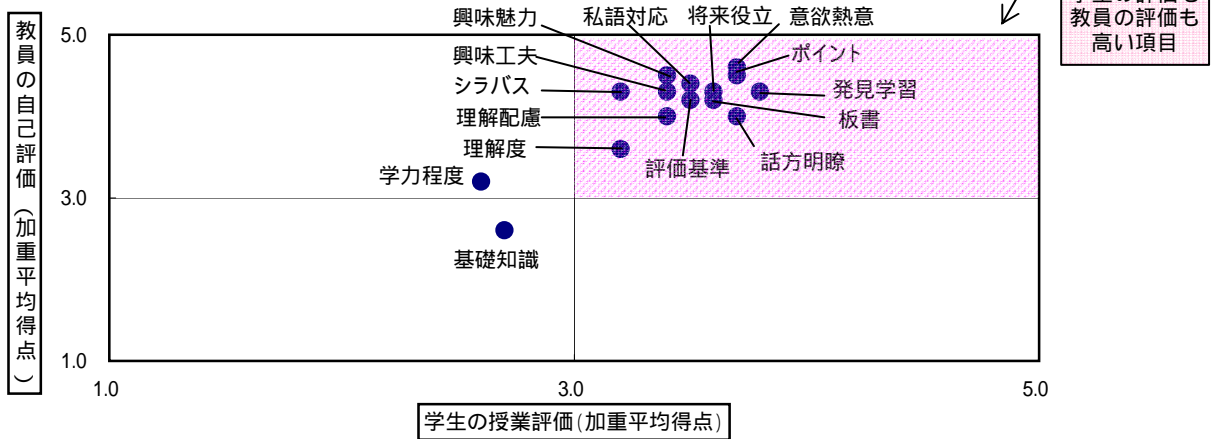
学力程度別満足度グラフ：学生用アンケート設問 20 の結果により学生の回答を学力レベル上中下に分け、設問別のグラフを作成しました。網掛けの 5 項目については、全学生回答の集計値により満足度との相関が高い項目を示しています。この項目の改善が満足度の向上に効果的です。

3 教員の自己評価と学生評価との比較

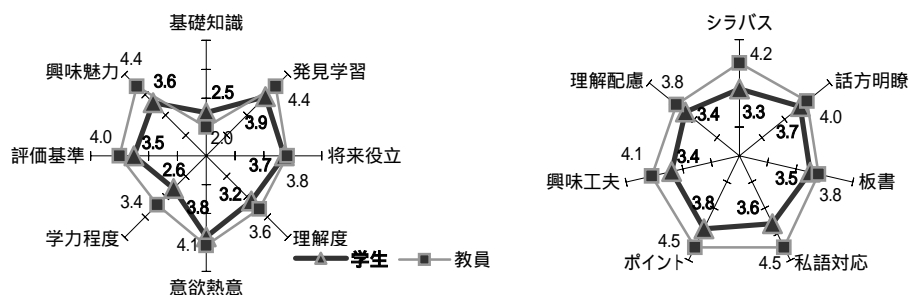
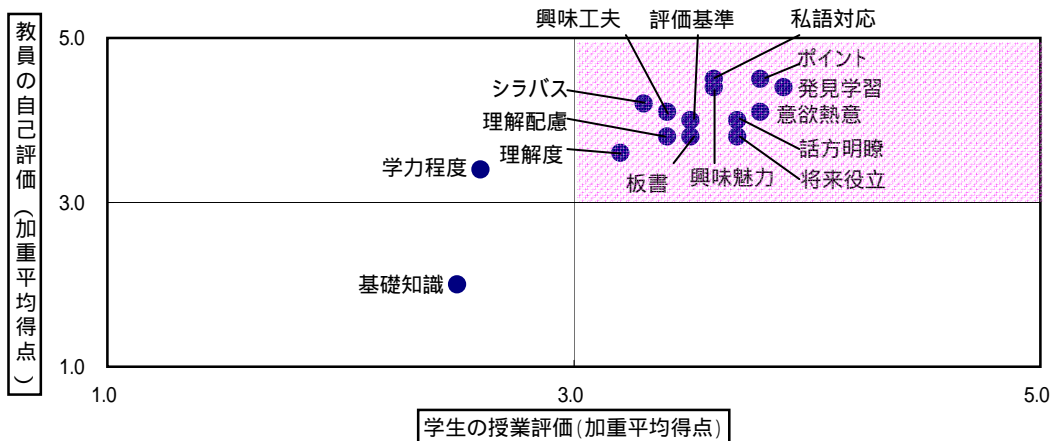
[教員][学生]

教員の自己評価と学生評価の違いを学部別でみると、全体の「学力程度」は教員評価が3.2点と中位点を上回るが、学生評価は2.6点で中位点を下回る。また、「基礎知識」の評価はほぼ一致するが、その他の項目は教員評価が学生評価を上回る。
 法学部も「学力程度」は教員評価では3.4点と中位点を上回るが、学生評価は2.6点で中位点を下回る。一方、「基礎知識」は教員評価が学生評価を0.5ポイント下回る。「将来役立」の評価はほぼ一致する。その他の項目は教員評価が上回る。

<全体>



<法学部>



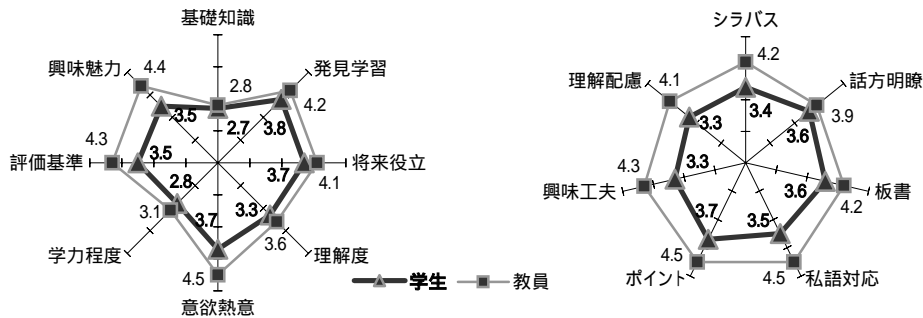
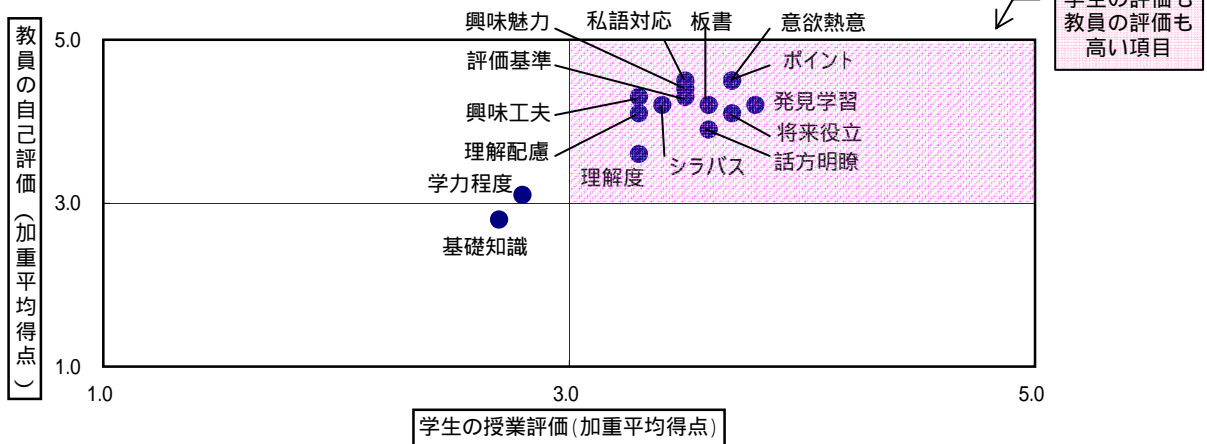
各項目の加重平均得点の算出方法はP29～44、P46～65参照

3 教員の自己評価と学生評価との比較

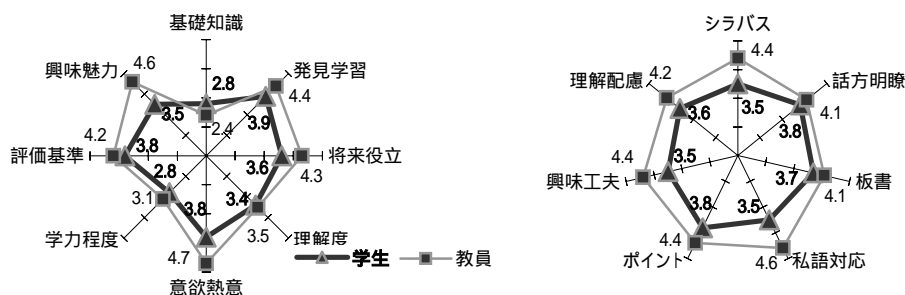
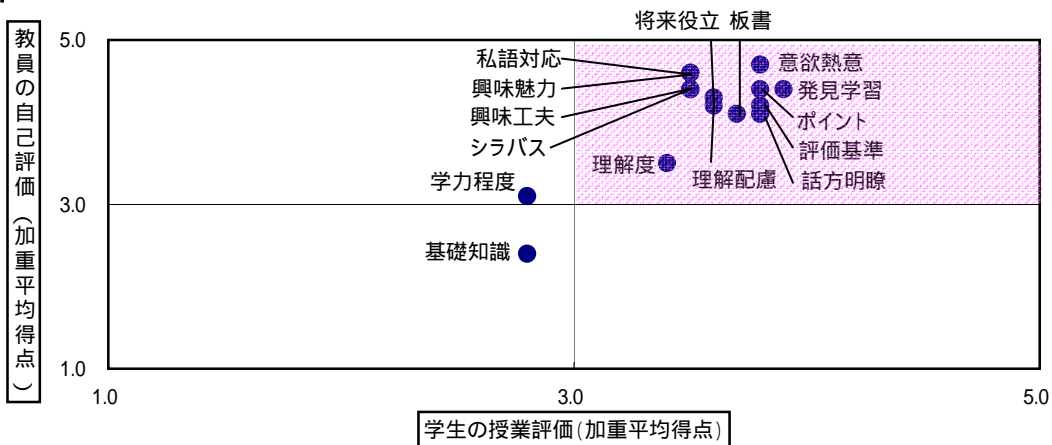
[教員][学生]

経営学部「学力程度」は教員評価では3.1点と中位点を上回るが、学生評価は2.8点で中位点を下回る。また、「基礎知識」の評価はほぼ一致するが、その他の項目は教員評価が学生評価を上回る。
 経済学部も「学力程度」は教員評価では3.1点と中位点を上回るが、学生評価は2.8点で中位点を下回る。一方、「基礎知識」は教員評価が学生評価を0.4ポイント下回る。「理解度」はほぼ一致する。その他の項目は教員評価が学生評価を上回る。

< 経営学部 >



< 経済学部 >



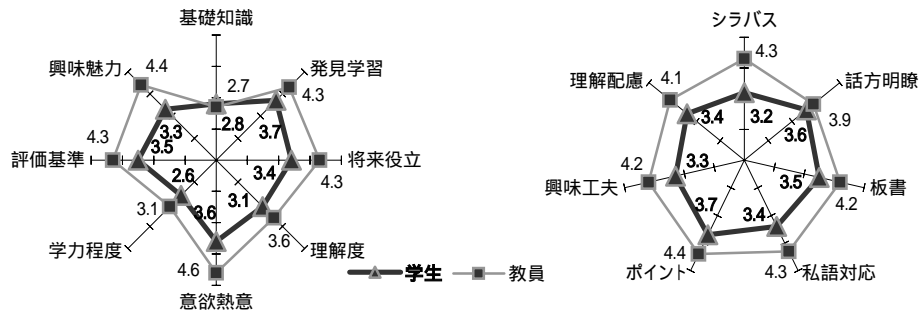
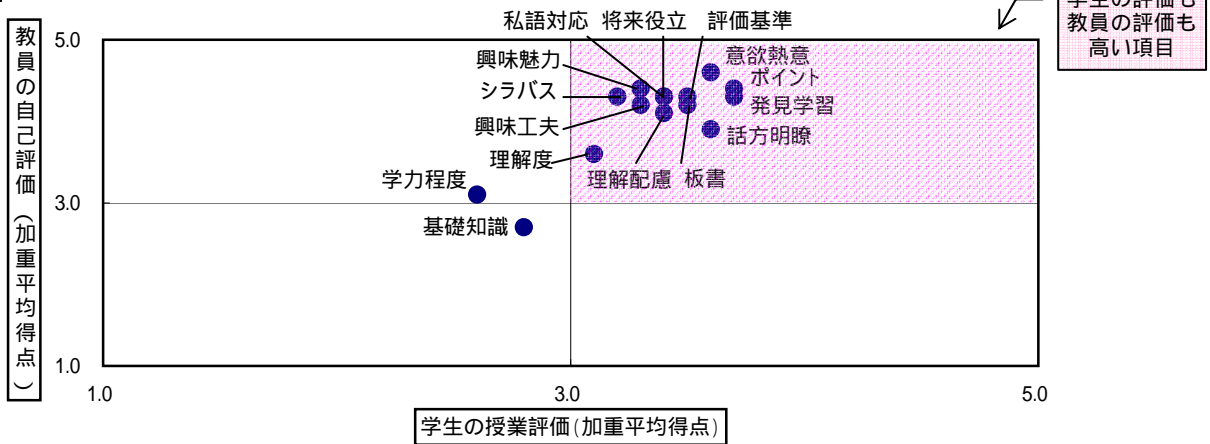
各項目の加重平均得点の算出方法はP29～44、P46～65参照

3 教員の自己評価と学生評価との比較

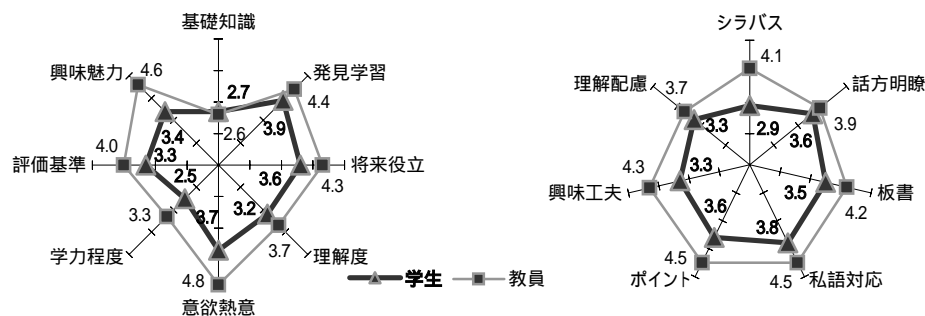
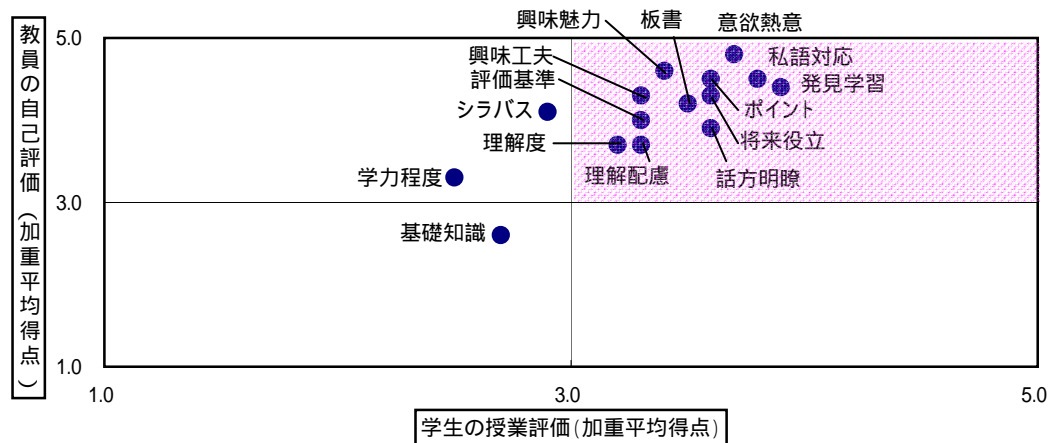
[教員][学生]

理工学部も「学力程度」は教員評価では3.1点と中位点を上回るが、学生評価は2.6点で中位点を下回る。また、「基礎知識」の評価はほぼ一致するが、その他の項目は教員評価が学生評価を上回る。
 農学部も「学力程度」は教員評価では3.3点と中位点を上回るが、学生評価は2.5点で中位点を下回る。また、「基礎知識」の評価はほぼ一致するが、その他の項目は教員評価が学生評価を上回る。

<理工学部>



<農学部>



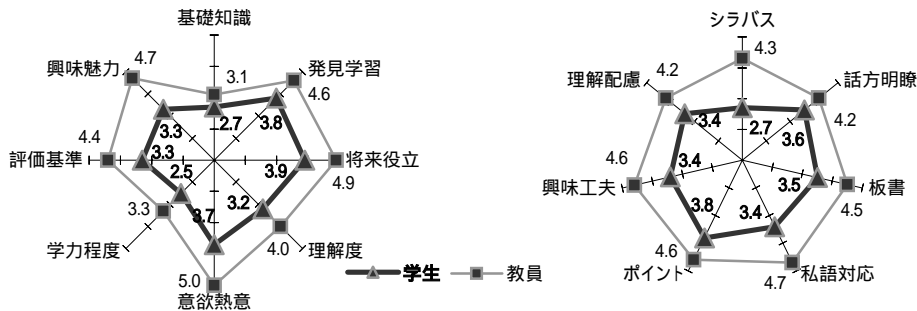
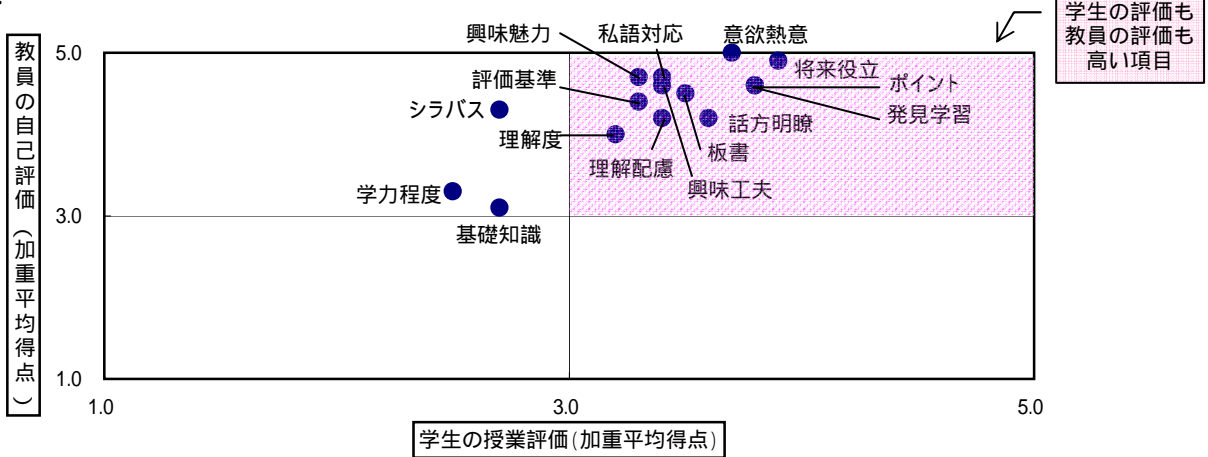
各項目の加重平均得点の算出方法はP29～44、P46～65参照

3 教員の自己評価と学生評価との比較

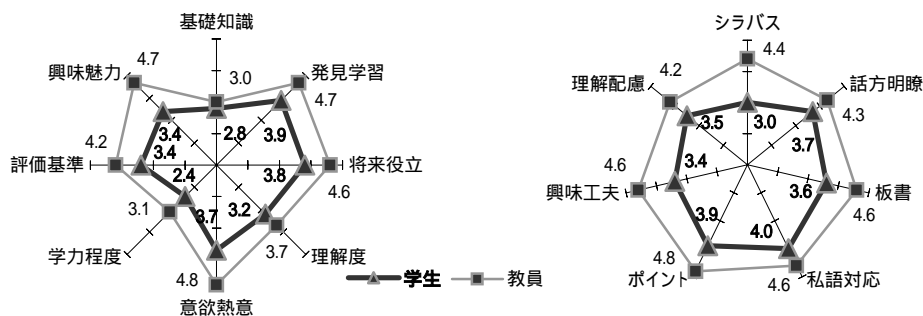
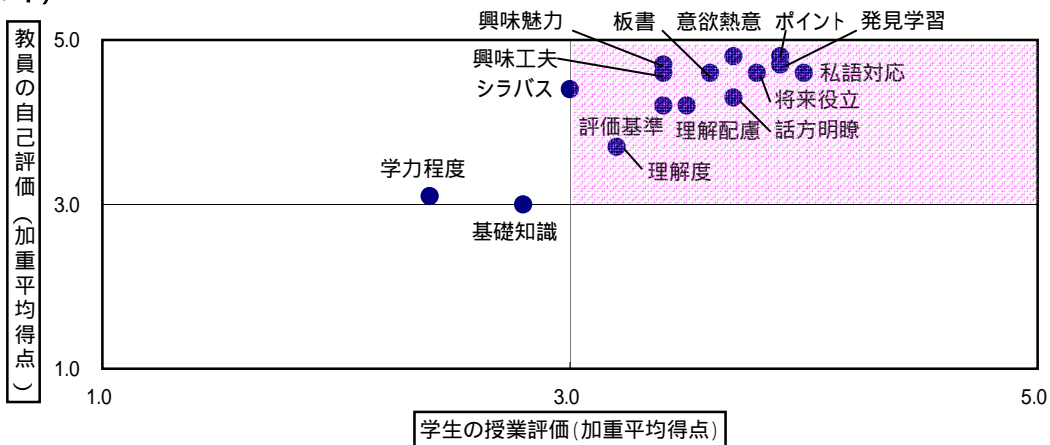
[教員][学生]

薬学部では教員評価はすべての項目で中位点を上回り、「意欲熱意」「将来役立」は満点あるいはほぼ満点だが、学生評価では「基礎知識」「学力程度」「シラバス」が中位点を下回る。すべての項目において教員評価が学生評価を上回る。
薬学部(6年)でも「基礎知識」「学力程度」の学生評価は低めで、すべての項目で教員評価が学生評価を上回る。

<薬学部>



<薬学部(6年)>



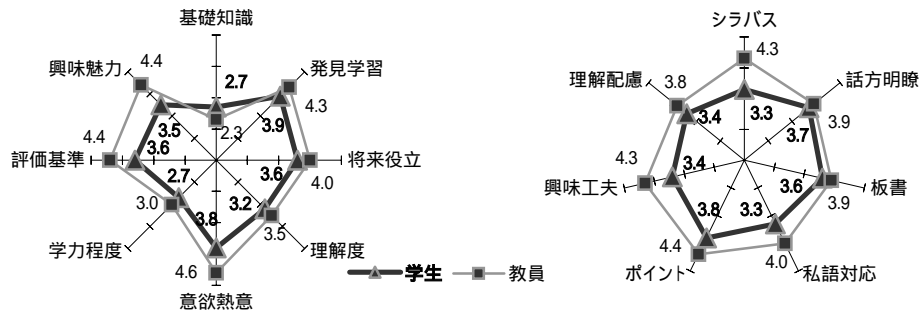
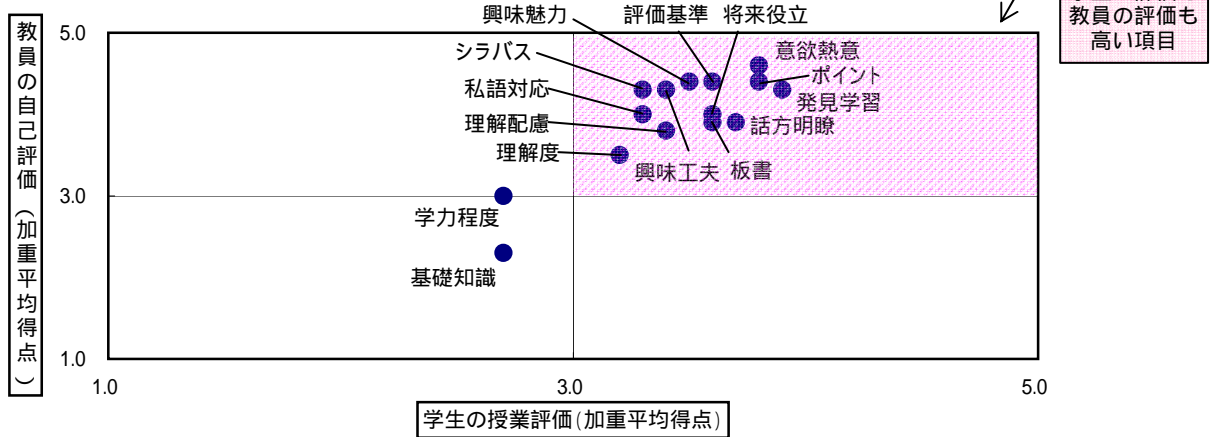
各項目の加重平均得点の算出方法はP29~44、P46~65参照

3 教員の自己評価と学生評価との比較

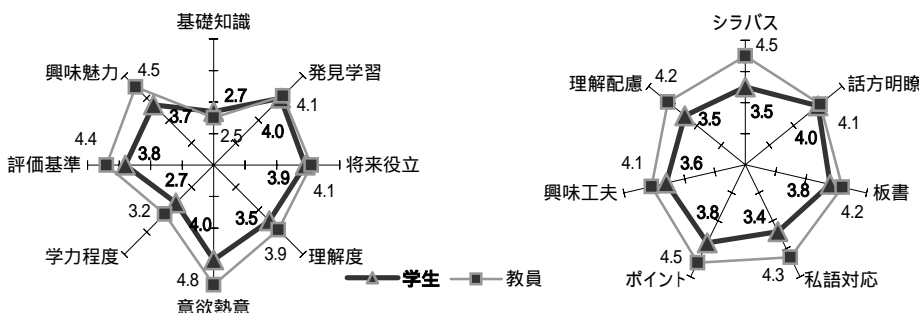
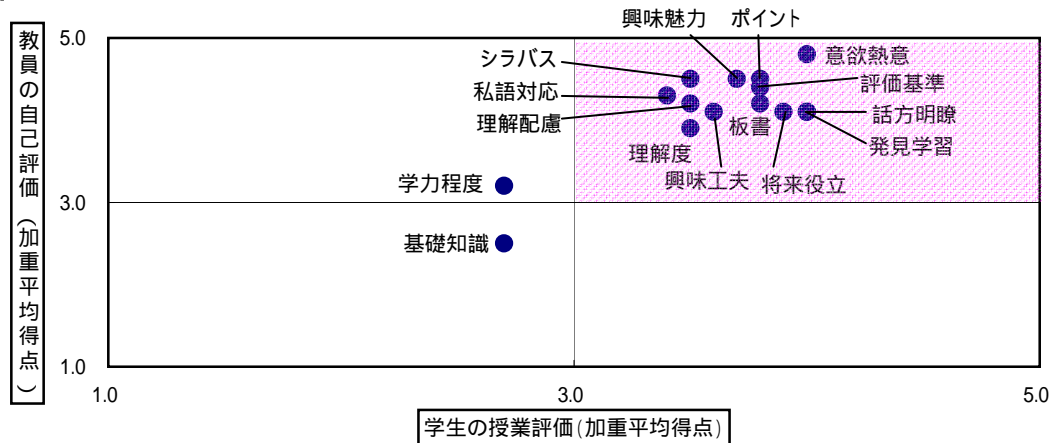
[教員][学生]

都市情報学部「学力程度」「基礎知識」は教員評価、学生評価ともに中位点以下にとどまる。また、「基礎知識」は教員評価が学生評価を0.4ポイント下回るが、その他の項目は教員評価が学生評価を上回る。
 人間学部の「学力程度」は教員評価では3.2点と中位点を上回るが、学生評価は2.7点で中位点を下回る。一方、「話方明瞭」「発見学習」の評価は4.0点前後でほぼ一致し、教員、学生ともに高い評価を示す。

<都市情報学部>



<人間学部>



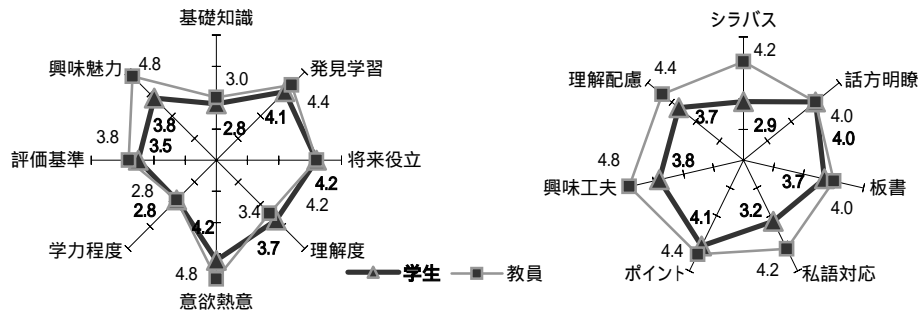
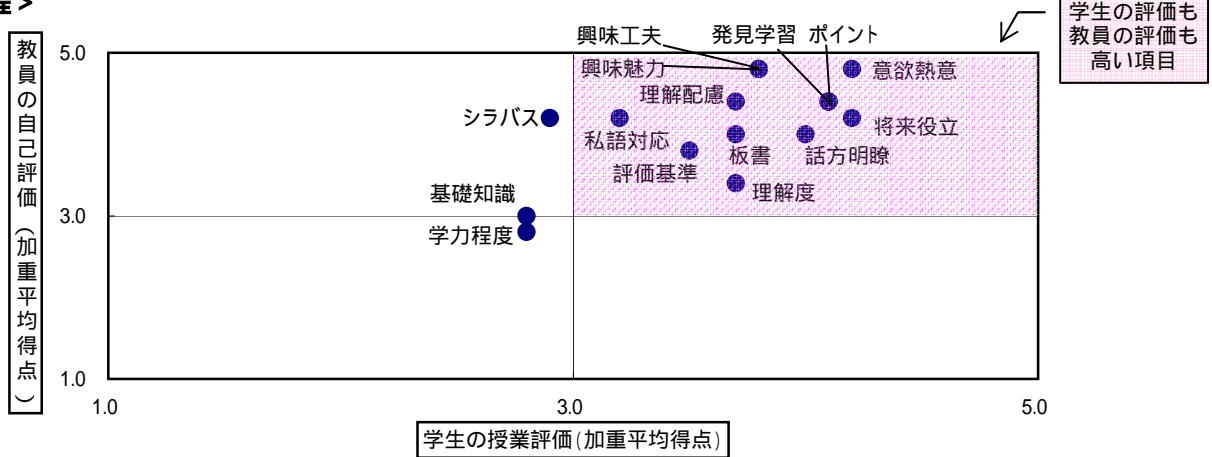
各項目の加重平均得点の算出方法はP29～44、P46～65参照

3 教員の自己評価と学生評価との比較

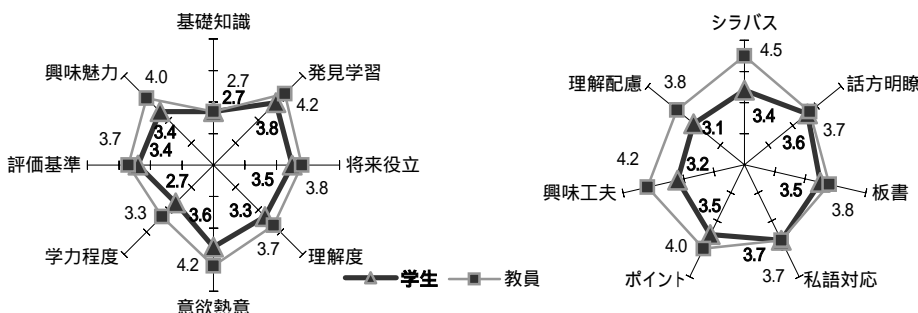
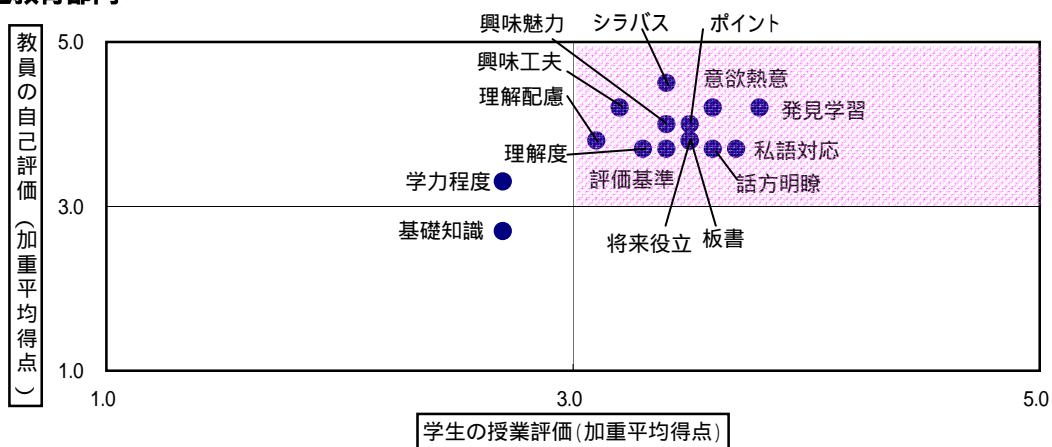
[教員][学生]

教養課程の「シラバス」は教員評価では4.2点と評価が高いが、学生評価は2.9点で中位点を下回る。一方、「理解度」の教員評価は学生評価を0.3ポイント下回る。「学力程度」「将来役立」「話方明瞭」の評価は一致する。
 全学共通教育部門の「学力程度」は教員評価では3.3点と中位点を上回るが、学生評価は2.7点で中位点を下回る。また、「基礎知識」「私語対応」の評価は一致し、「話方明瞭」の評価はほぼ一致する。

< 教職課程 >



< 全学共通教育部門 >



各項目の加重平均得点の算出方法はP29～44、P46～65参照

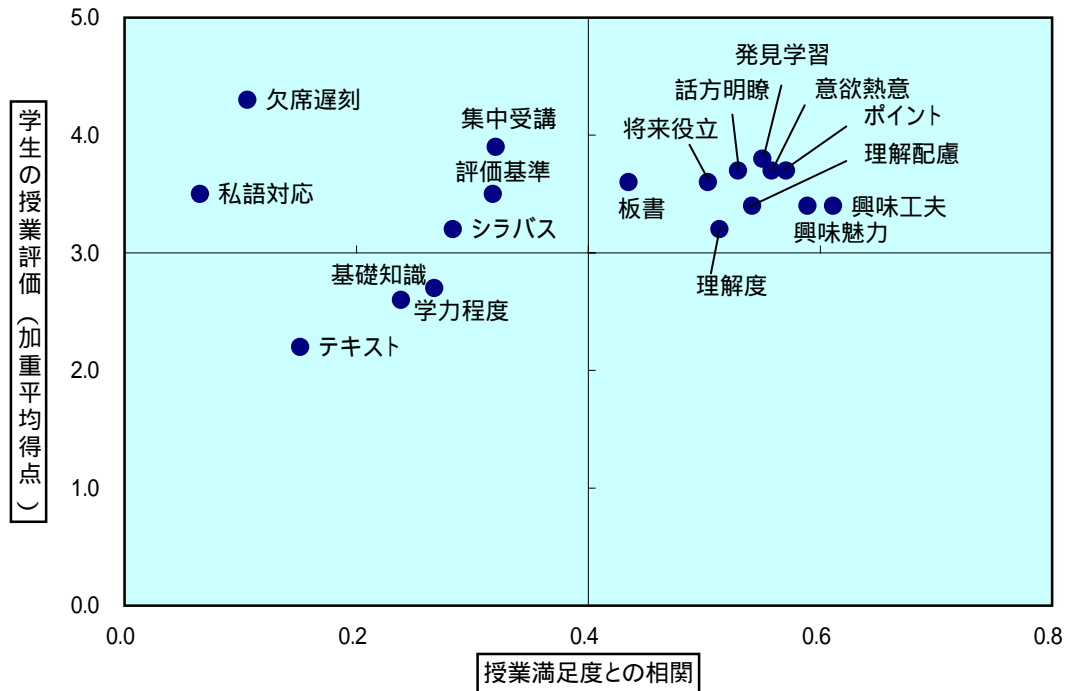
4 授業満足度と相関の高い項目

[学生]

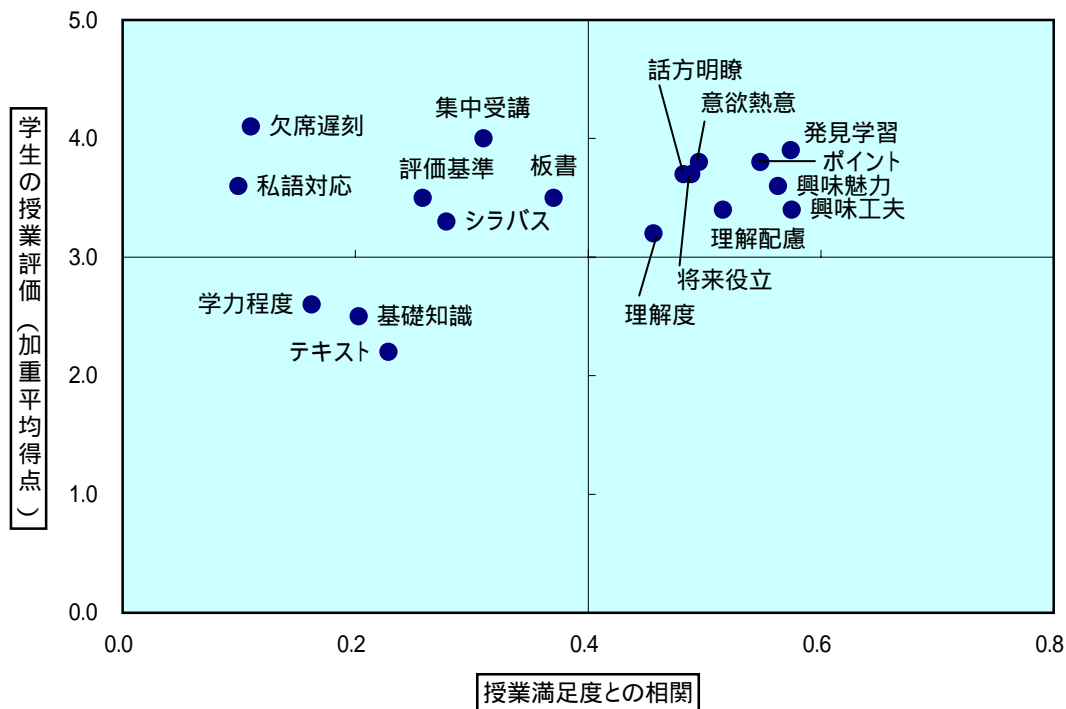
横軸に授業満足度との相関、縦軸に学生の授業評価(加重平均得点)をとった。横軸は0.4、縦軸は3.0で分割した。右上の象限にある項目群をさらに上へ(評価を高くする)もっていくことが学生の授業満足度を高めます。
 授業満足度と相関の高い項目について学部別でみると、全体では「興味工夫」「興味魅力」「ポイント」「意欲熱意」「発見学習」が授業満足度との相関が高い。「欠席遅刻」は自己評価が高いが授業満足度との相関は低く、学部別でも同様の傾向。
 法学部では「興味工夫」「発見学習」「興味魅力」「ポイント」が授業満足度との相関が高い。

学生対象18設問について「学生設問Q19.この授業は総合的に見て満足のものである」との相関を算出した。

<全体>



<法学部>



各項目の加重平均得点の算出方法はP46～65参照

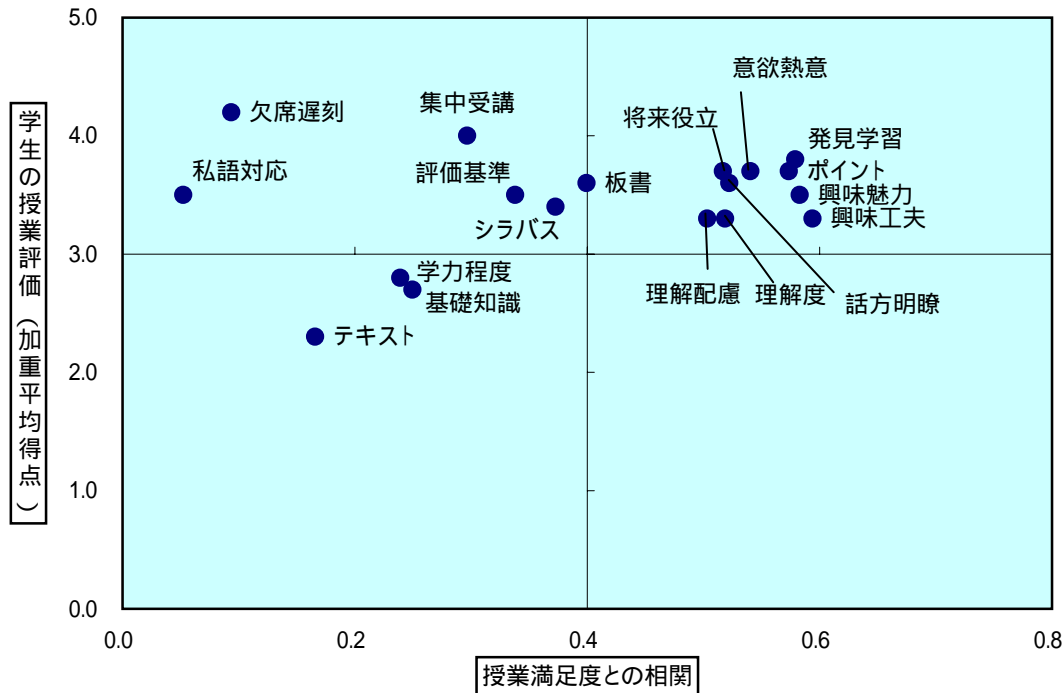
4 授業満足度と相関の高い項目

[学生]

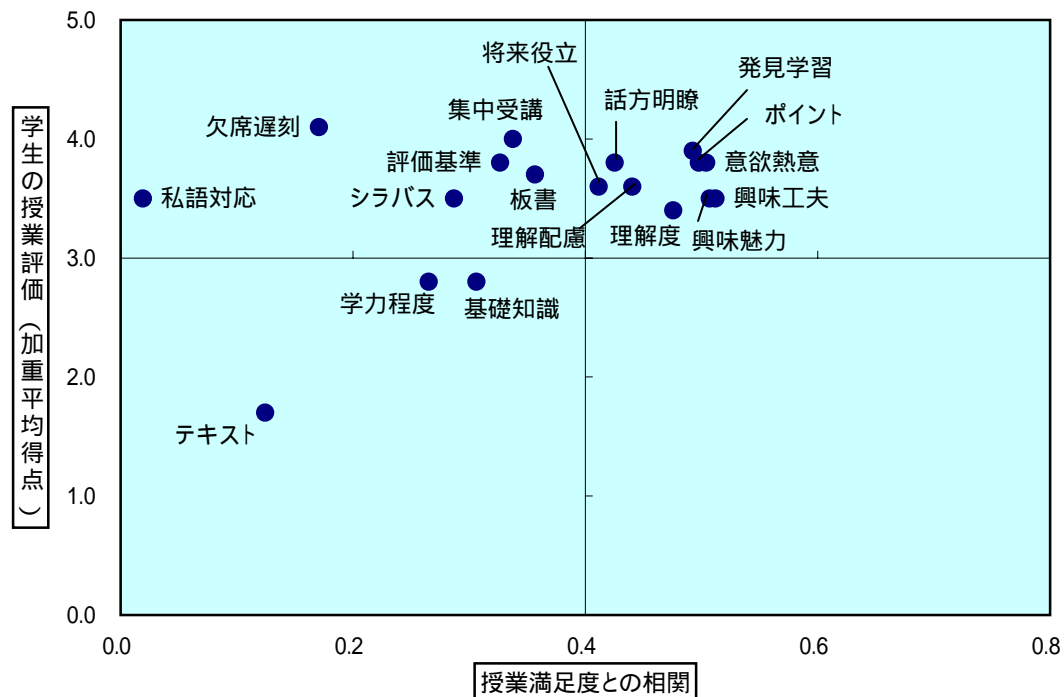
経営学部では「興味工夫」「興味魅力」「発見学習」「ポイント」が授業満足度との相関が高い。
 経済学部では「興味工夫」「興味魅力」「意欲熱意」「ポイント」が授業満足度との相関が高い。

学生対象18設問について「学生設問Q19.この授業は総合的に見て満足のものである」との相関を算出した。

< 経営学部 >



< 経済学部 >



各項目の加重平均得点の算出方法はP46～65参照

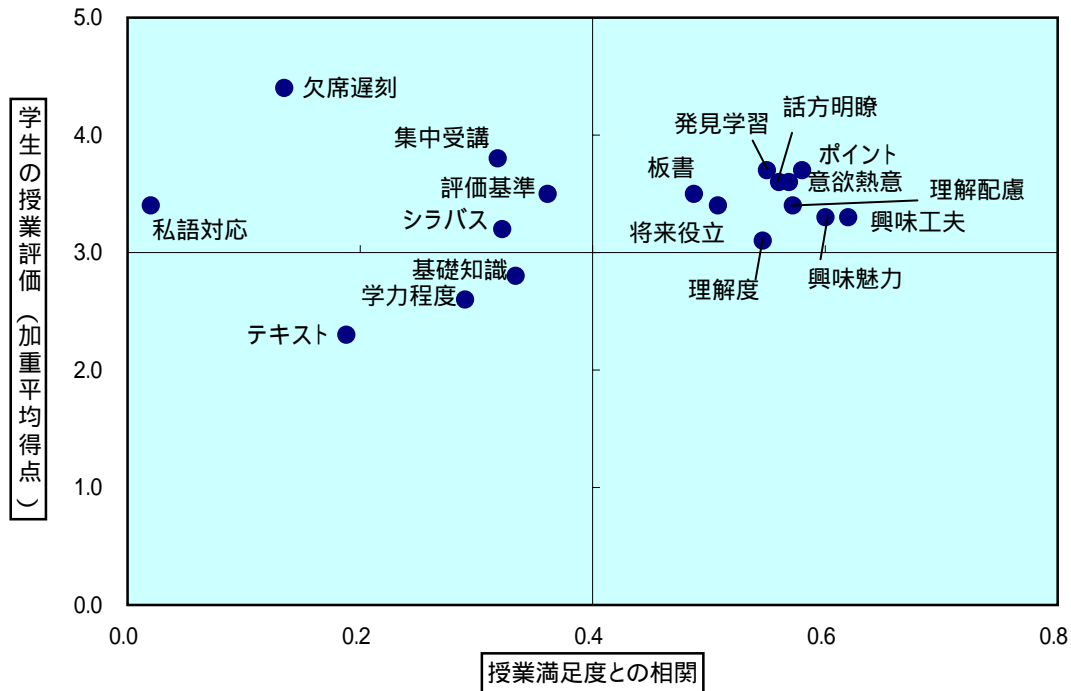
4 授業満足度と相関の高い項目

[学生]

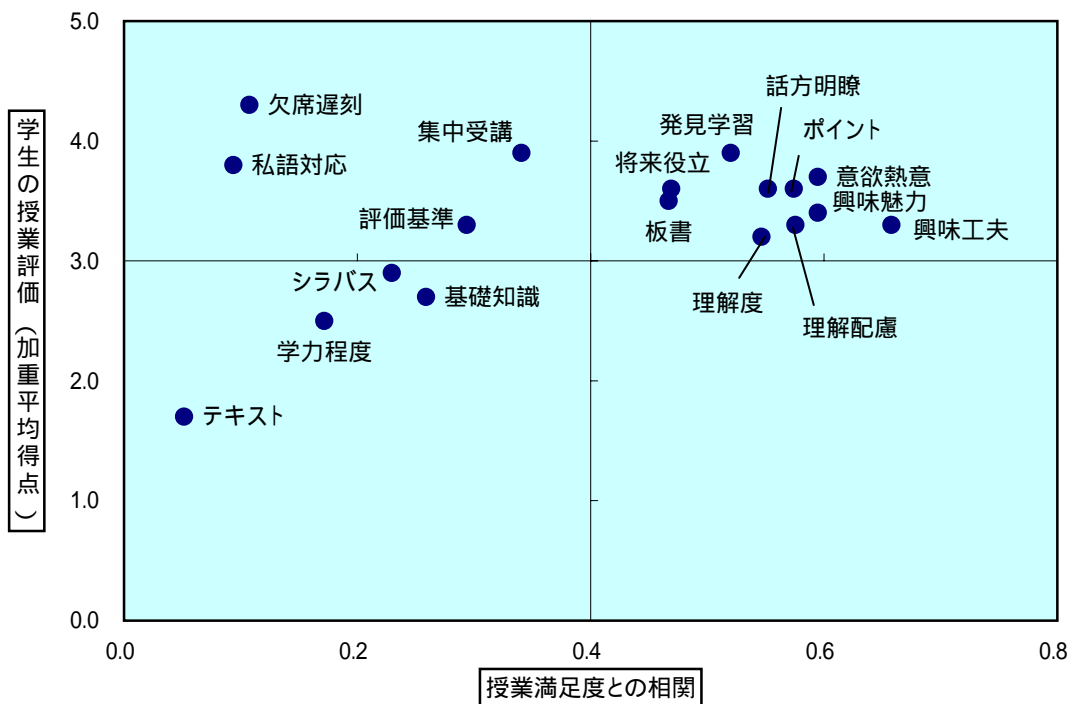
理工学部では「興味工夫」「興味魅力」「ポイント」「理解配慮」「意欲熱意」が授業満足度との相関が高い。
農学部では「興味工夫」が授業満足度との相関が最も高い。次いで「興味魅力」「意欲熱意」「理解配慮」「ポイント」が続く。

学生対象18設問について「学生設問Q19.この授業は総合的に見て満足のものである」との相関を算出した。

<理工学部>



<農学部>



各項目の加重平均得点の算出方法はP46～65参照

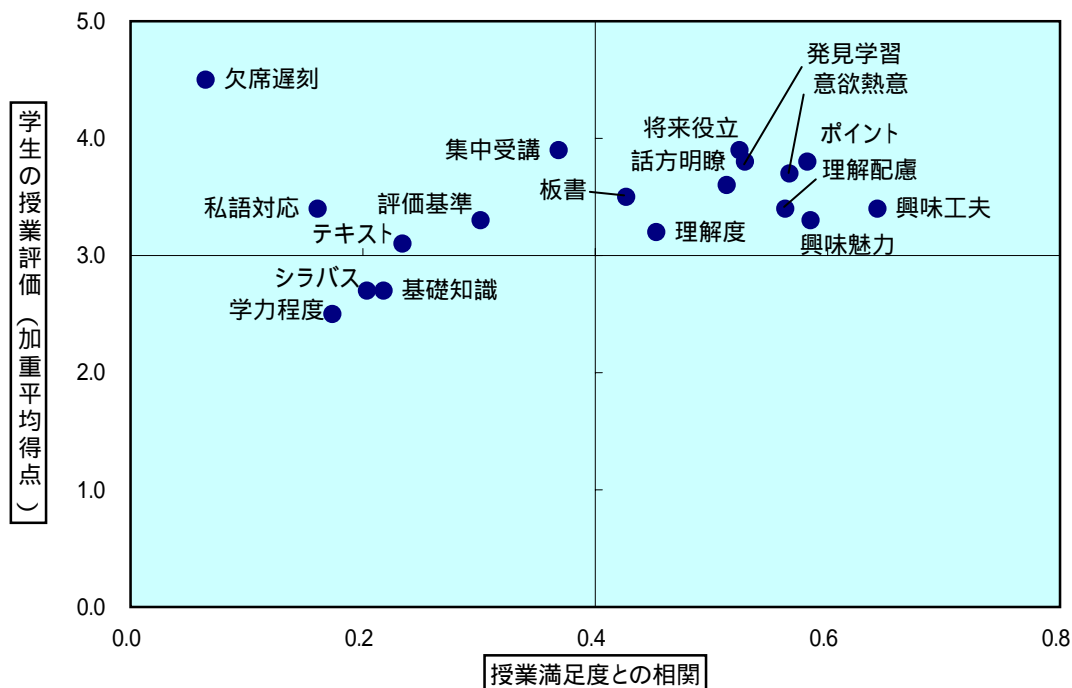
4 授業満足度と相関の高い項目

[学生]

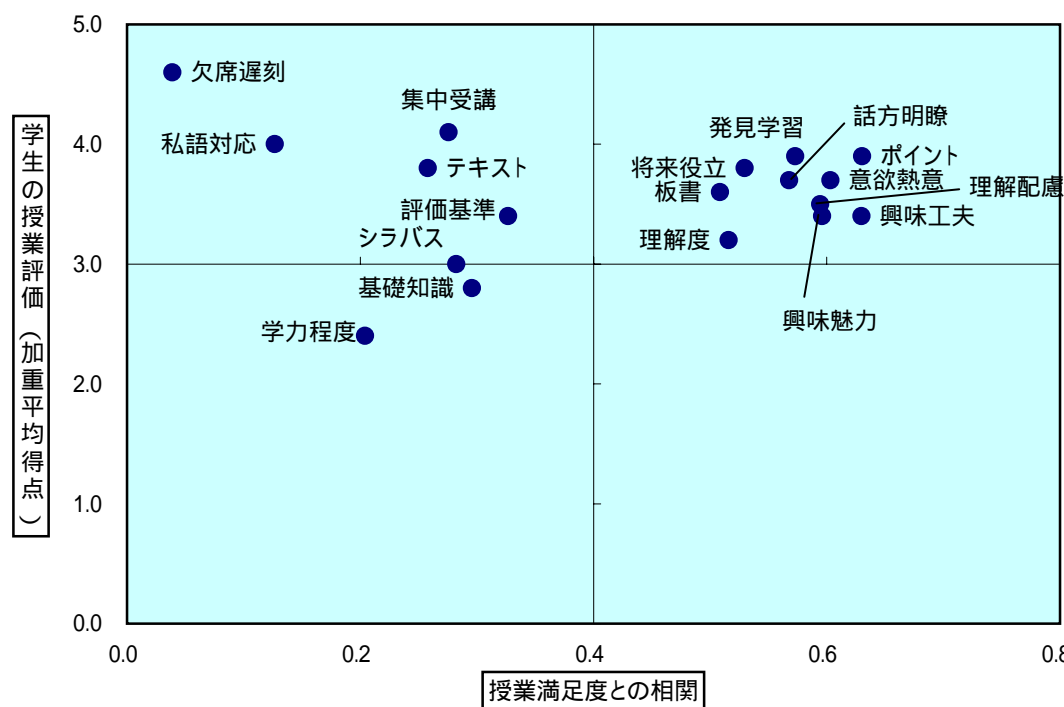
薬学部では「興味工夫」「興味魅力」「ポイント」「意欲熱意」「理解配慮」が授業満足度との相関が高い。
 薬学部(6年)では「ポイント」「興味工夫」「意欲熱意」「興味魅力」「理解配慮」が授業満足度との相関が高い。また、「私語対応」は授業評価が高いが授業満足度との相関は低い。

学生対象18設問について「学生設問Q19.この授業は総合的に見て満足のものである」との相関を算出した。

<薬学部>



<薬学部(6年)>



各項目の加重平均得点の算出方法はP46～65参照

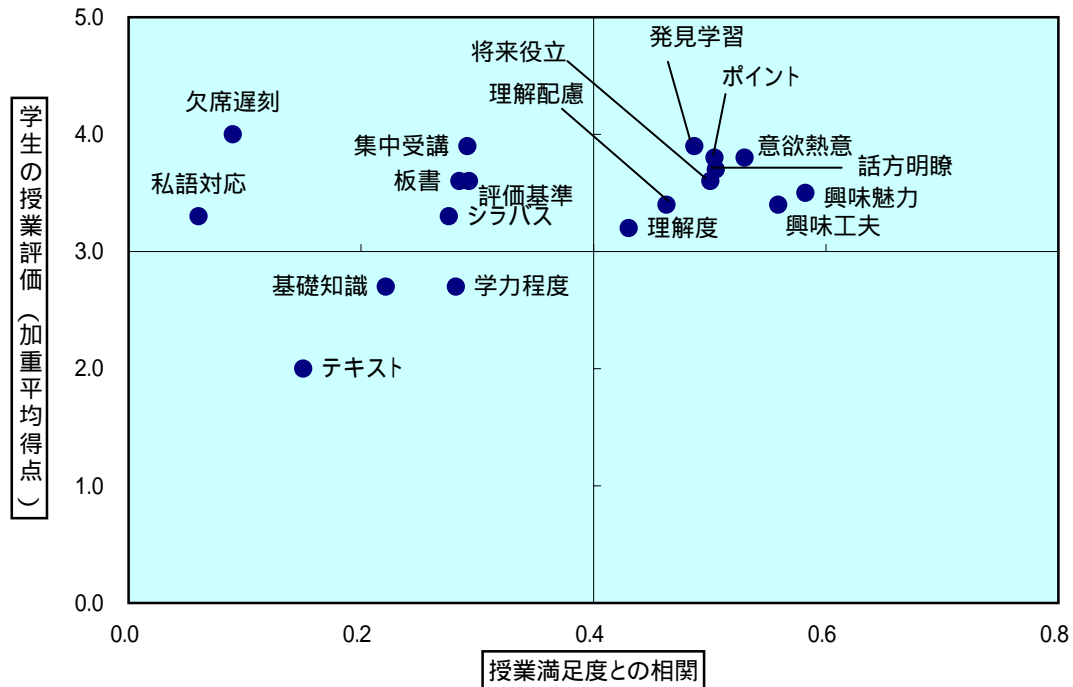
4 授業満足度と相関の高い項目

[学生]

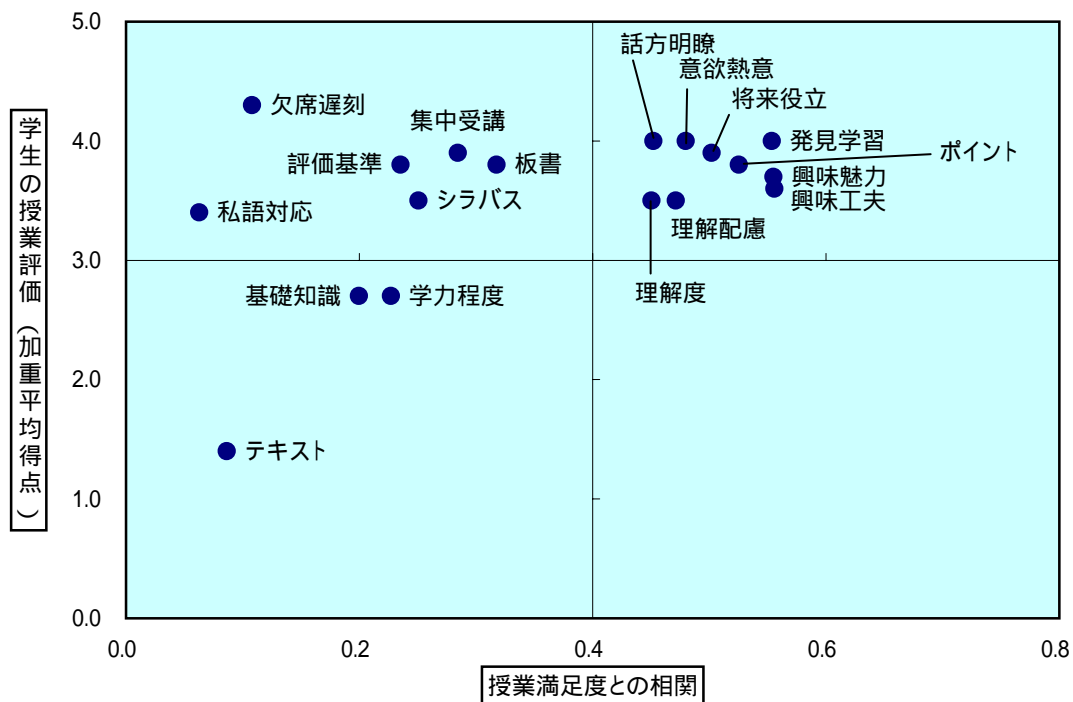
都市情報学部では「興味魅力」「興味工夫」「意欲熱意」「話方明瞭」が授業満足度との相関が高い。
 人間学部では「興味魅力」「興味工夫」「発見学習」「ポイント」「将来役立」が授業満足度との相関が高い。

学生対象18設問について「学生設問Q19.この授業は総合的に見て満足のものである」との相関を算出した。

<都市情報学部>



<人間学部>



各項目の加重平均得点の算出方法はP46～65参照

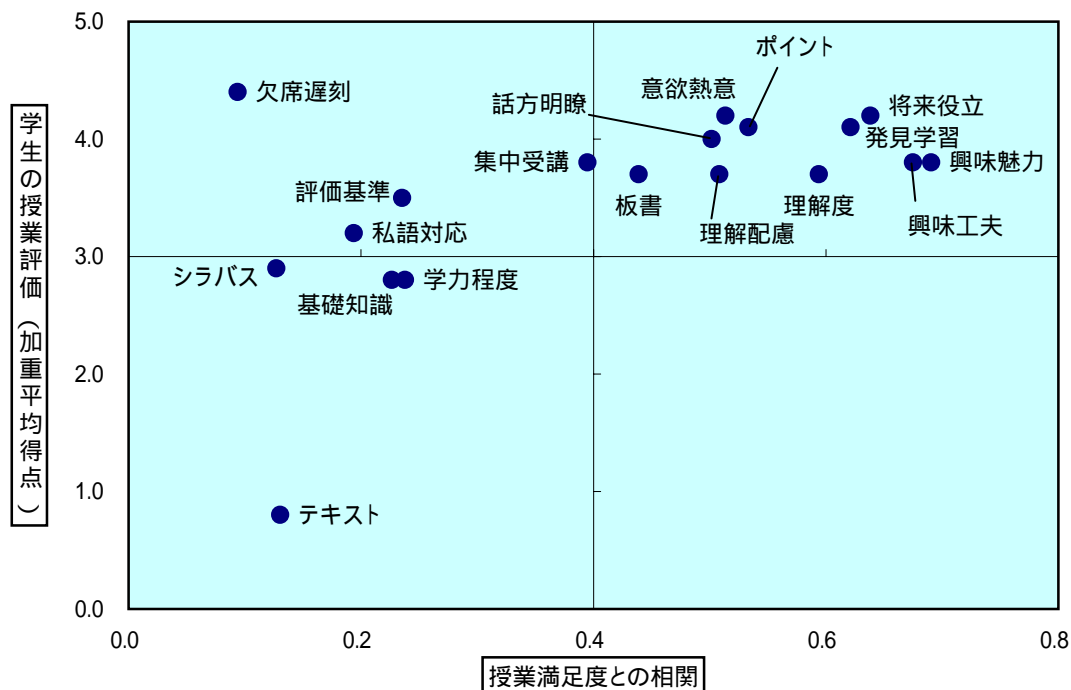
4 授業満足度と相関の高い項目

[学生]

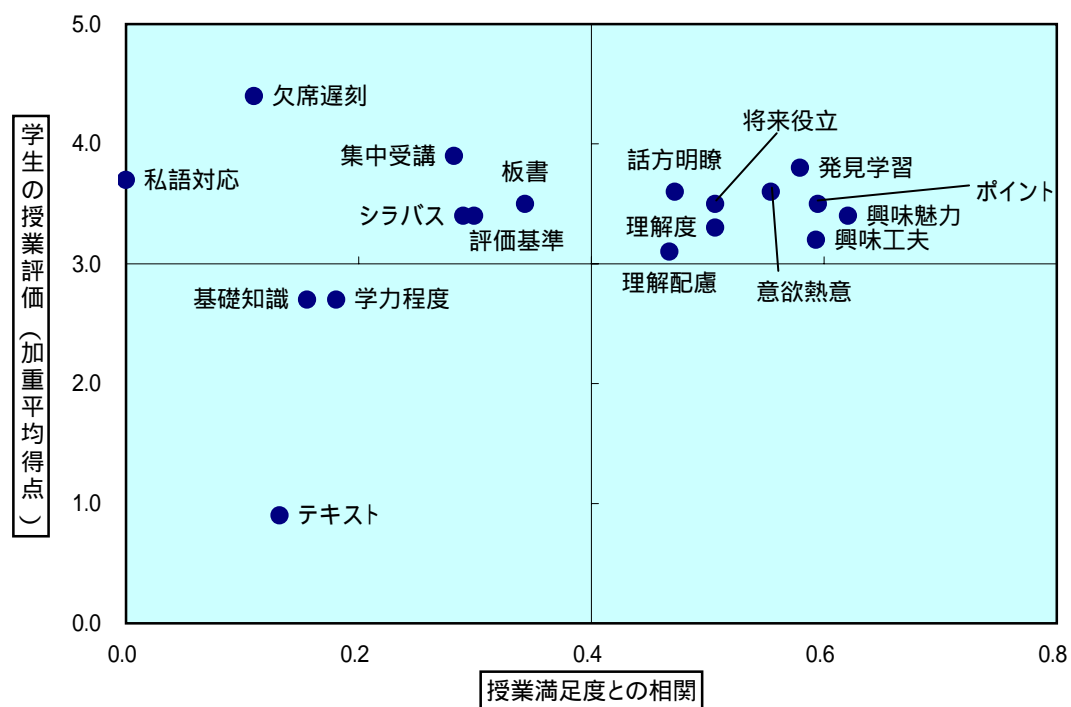
教職課程では「興味魅力」「興味工夫」が授業満足度との相関が高い。また、「理解度」「発見学習」「将来役立」も高い。
全学共通教育部門では「興味魅力」「ポイント」「興味工夫」「発見学習」「意欲熱意」が授業満足度との相関が高い。

学生対象18設問について「学生設問Q19.この授業は総合的に見て満足度のいくものである」との相関を算出した。

<教職課程>



<全学共通教育部門>



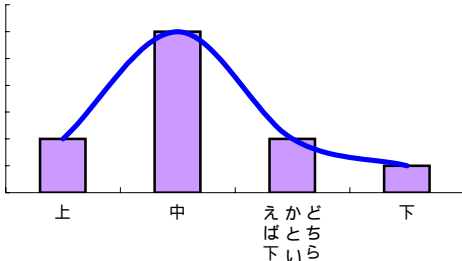
各項目の加重平均得点の算出方法はP46～65参照

5 学生の学力分布のタイプ分け

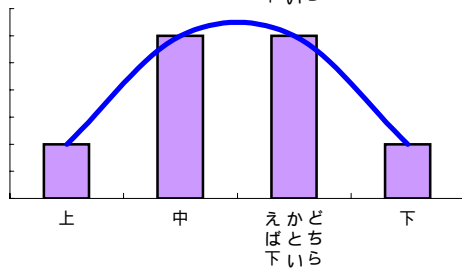
[授業]

授業別の学生の学力分布を下記の4つに分類し、分類別の授業数を集計してみた。
 結果、1山で分布狭い型の授業と1山で分布広い型が各々4割を占めていた。また2山型は4授業にとどまり、学力レベルが分離されているような授業は殆ど見られなかった。

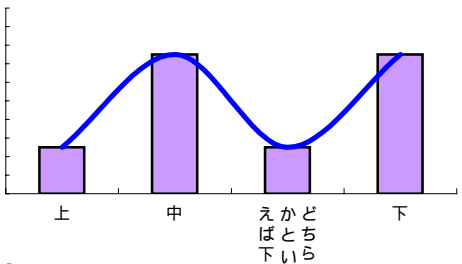
学生の学力分布を「学生設問Q20.自分の学力はどの程度だと思いますか。」を基に類型化した。「どちらかといえば上」は「上」に含めて集計した。方法は目視した結果を基に数値にて定義した。尚、無回答の多い2授業については分析から外した。



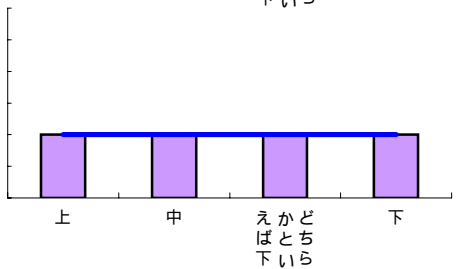
【1山で分布狭い型(129授業/333授業)】
 (上・中・どちらかといえば下・下のいずれかの項目に学生が集中しているタ
 1つの学力レベルに45%以上集まり 且つ 他の学力レベルとの差が20%以上)



【1山で分布広い型(140授業/333授業)】
 (2つの連続する学力レベルに学生が集まっているタイプ)
 高い2つの学力レベルに58%以上集中し 且つ 2つの学力レベル差が25%



【2山型(4授業/333授業)】
 (学生の学力レベルが二つに分離しているタイプ)
 隣接する学力レベルの差が10%以上あるもの
 (中と下の項目に学力が分離しているタイプ)



【広範囲型(58授業/333授業)】
 (広い学力範囲に学生が分布しているタイプ)
 4つの学力レベルが全てが15%以上
 もしくは
 高い3つの学力レベルに69%以上集中

学力分布

	授業数	1山で 分布狭い型	1山で 分布広い型	2山型	広範囲型
全体	333	38.7	42.0	1.2	17.4
法学部	26	11.5	65.4	3.8	15.4
経営学部	27	55.6	29.6	0.0	14.8
経済学部	21	57.1	33.3	0.0	9.5
理工学部	132	33.3	40.2	2.3	24.2
農学部	33	39.4	54.5	0.0	6.1
薬学部	18	38.9	50.0	0.0	11.1
薬学部(6年)	23	21.7	47.8	0.0	30.4
都市情報学部	24	54.2	25.0	0.0	20.8
人間学部	18	55.6	38.9	0.0	0.0
教職課程	5	60.0	40.0	0.0	0.0
全学共通教育部門	6	66.7	33.3	0.0	0.0

* 全体より10ポイント高いものには網掛け

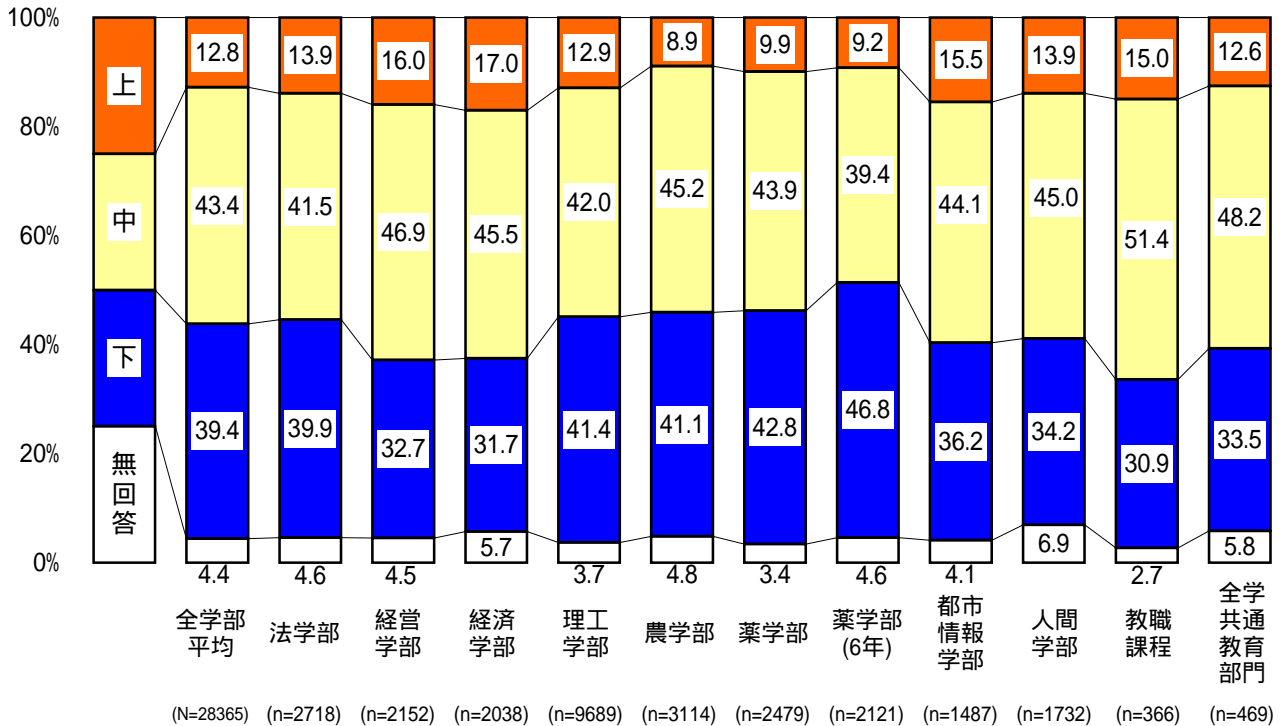
6 学力程度別の授業満足度

[学生]

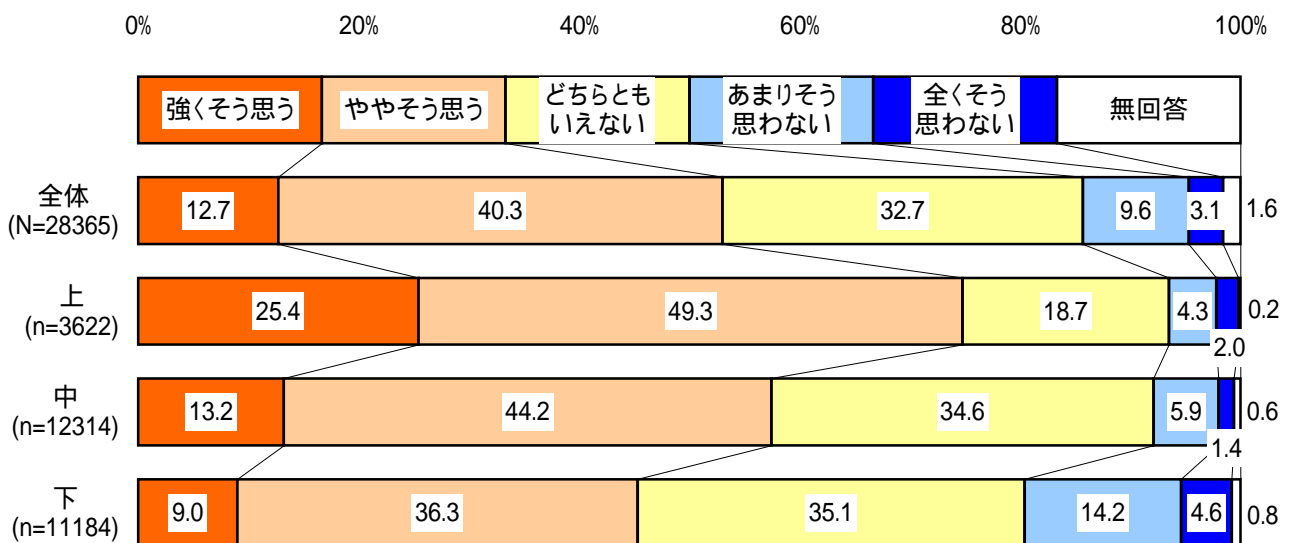
学力程度の自己評価は学部による大きな差はなく、「上」は1割前後、「中」は5割前後、「下」は4割前後に分類される。学力レベル別の満足度(「強く思う」+「やや思う」)は、上位層(74.8%)、中位層(57.4%)、下位層(45.3%)の順。上位層と下位層では30ポイントの差。また、不満足度(「全くそう思わない」+「あまりそう思わない」)は上位層、中位層が1割未満に対し、下位層では18.8%と高い。

学生の学力を聞いた、「学生設問Q20.自分の学力はどの程度だと思えますか。」についての回答をもとに学力を上、中、下に分類した。
各学力レベル別に授業満足度がどの程度変化があるのか確認する。

< 学力レベルの分布 >



< 学力レベル別満足度 >

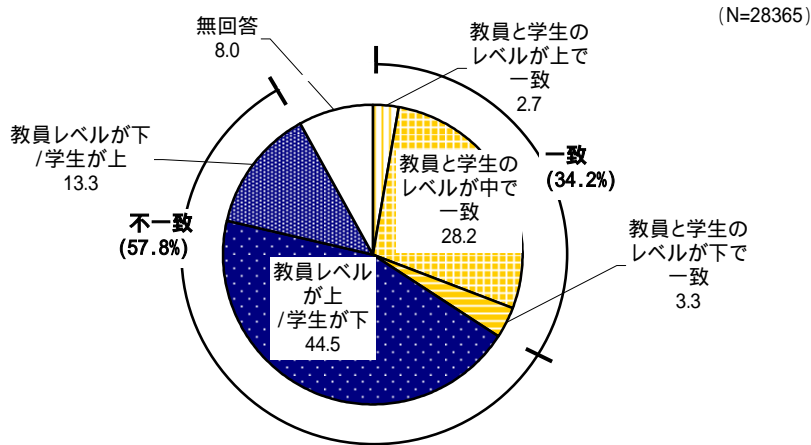


7 教員と学生の対象レベルの一致

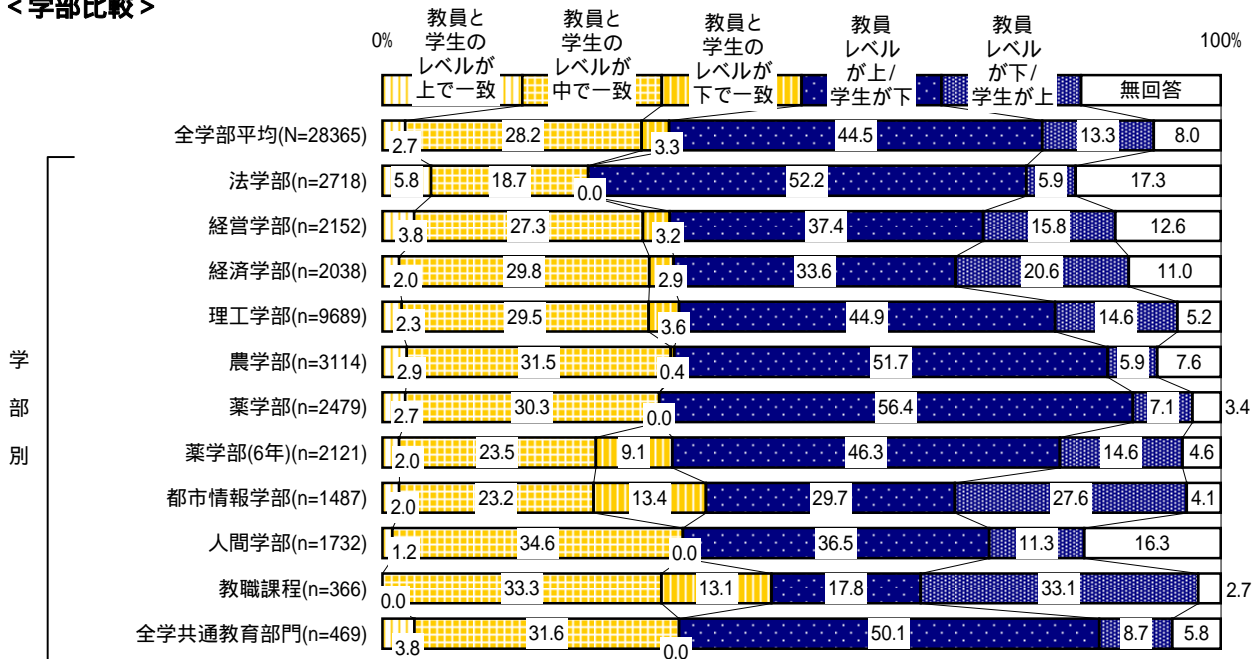
[学生]

授業において教員が想定しているレベルと学生の自己評価のレベルの一致度合いを確認すると、「一致」は34.2%、「不一致」は57.8%。「一致」の中では「教員と学生のレベルが中で一致」(28.2%)が大勢を占める。
 学部別では教職課程の一致度が46.4%で最も高く、法学部が24.5%で最も低い。
 満足度との関係を見ると、「教員と学生のレベルが上で一致」「教員レベルが下/学生が上」の満足度が高く、7割を超える。

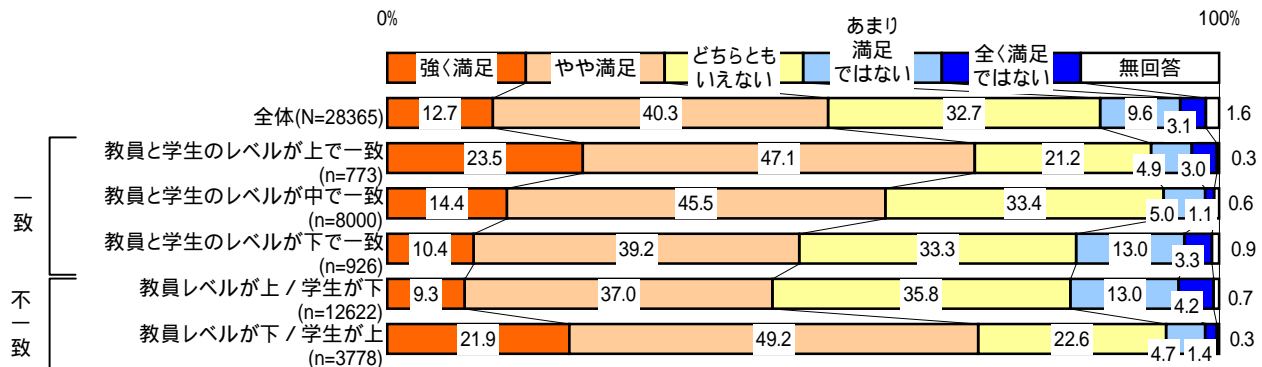
教員設問Q1.この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。
 学生設問Q20.自分の学力はどの程度だと思えますか。
 について、一致度合いを確認した。



< 学部比較 >



< 満足度との関係 >



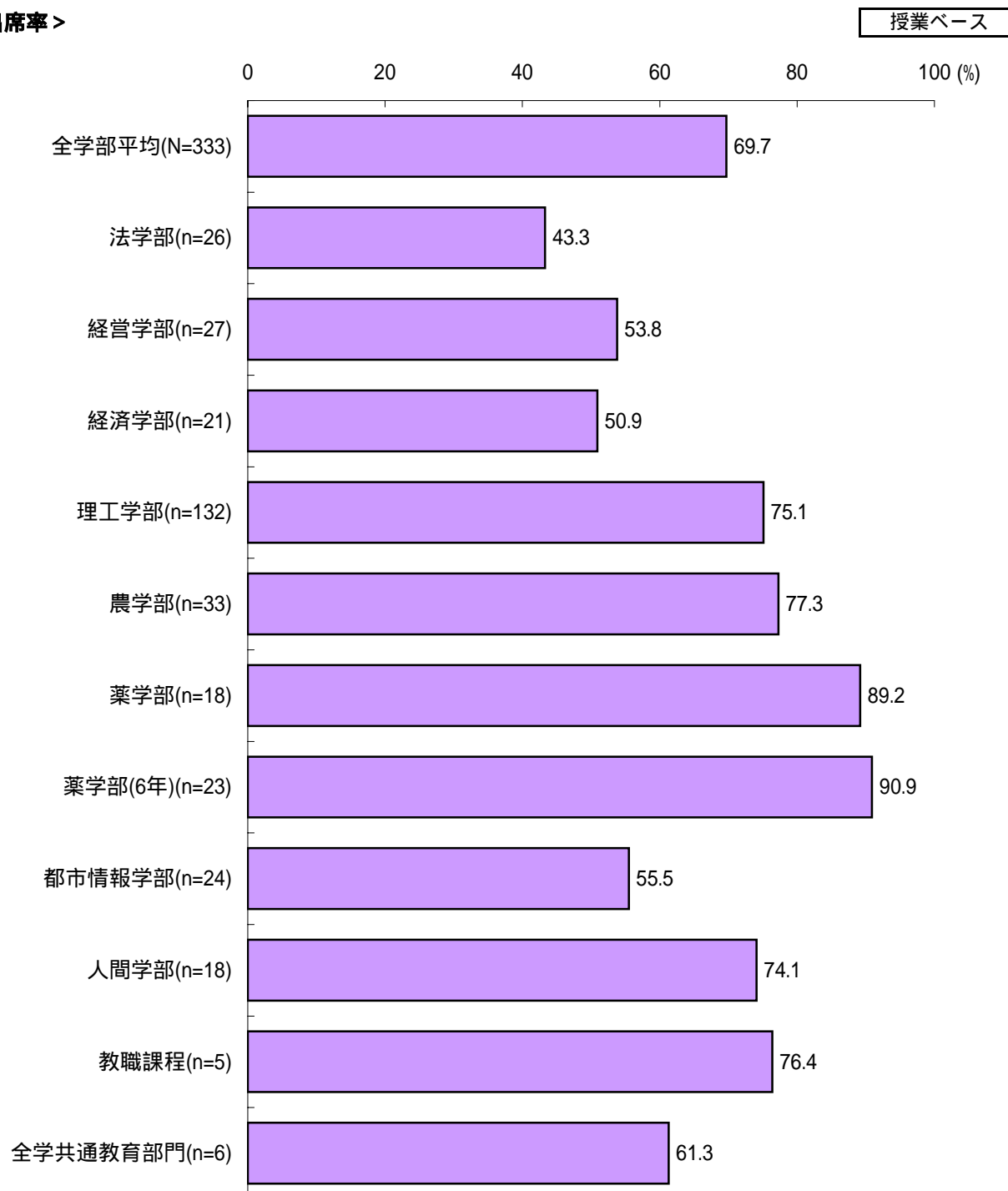
出席率を本アンケートの回答者数と授業の受講者数(登録学生数)により計算し、学部別でみたところ、出席率が高いのは「薬学部(6年)」(90.9%)と「薬学部」(89.2%)。次いで「農学部」(77.3%)、「教職課程」(76.4%)、「理工学部」(75.1%)、「人間学部」(74.1%)も7割台。出席率が最も低いのは「法学部」(43.3%)。

各授業の受講学生(登録学生)数と本アンケート調査の回答者数をもとに出席率を計算した。
ここで表す出席率とは

$$\text{出席率} = \frac{\text{本アンケート回答者数(各授業における)}}{\text{受講者数(登録学生数)}}$$

とした。

<出席率>



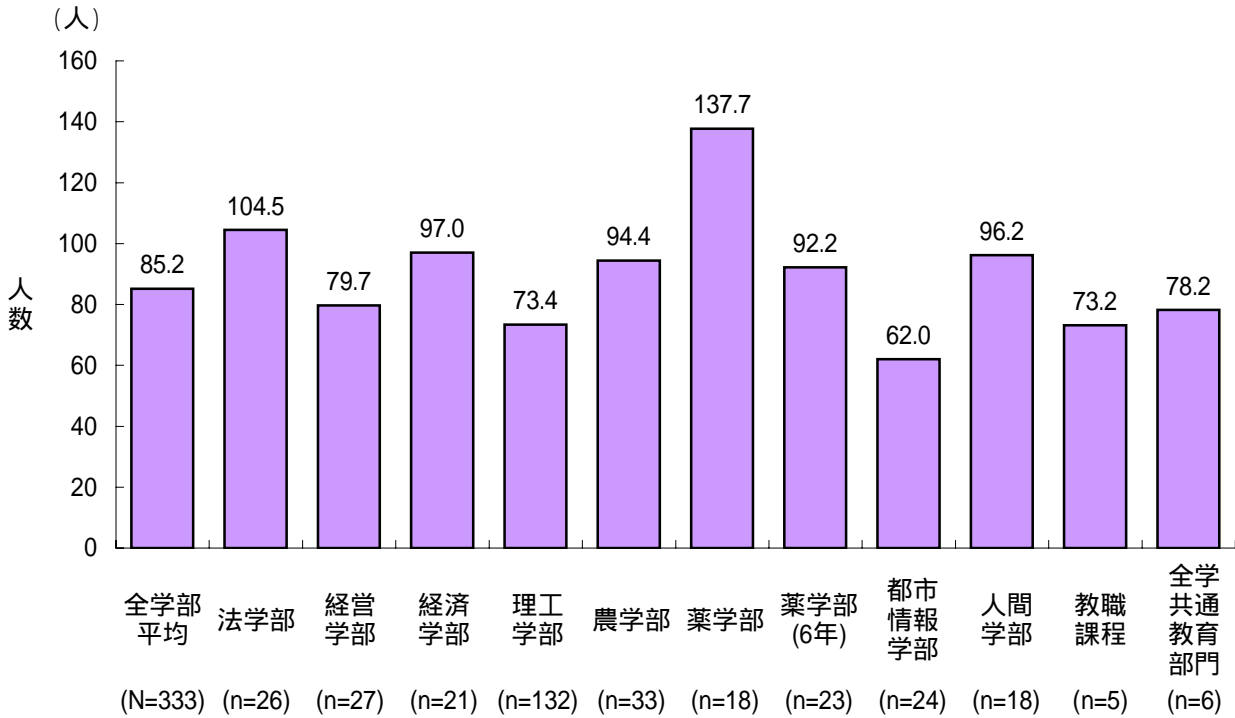
9 出席学生数と出席学生数別満足度

[授業]

一授業あたりのアンケート回答者数は、「薬学部」の137.7人が最も多く、次いで「法学部」(104.5人)、「経済学部」(97.0人)、「人間学部」(96.2人)、「農学部」(94.4人)、「薬学部(6年)」(92.2人)が続く。
 アンケートの回答者数別の授業満足度をみると、40人未満の授業の満足度(「強く思う」+「やや思う」)が61.6%で最も高く、次いで100人 - 120人未満(55.7%)、40人 - 60人未満(53.9%)、120人以上(53.8%)が続く。

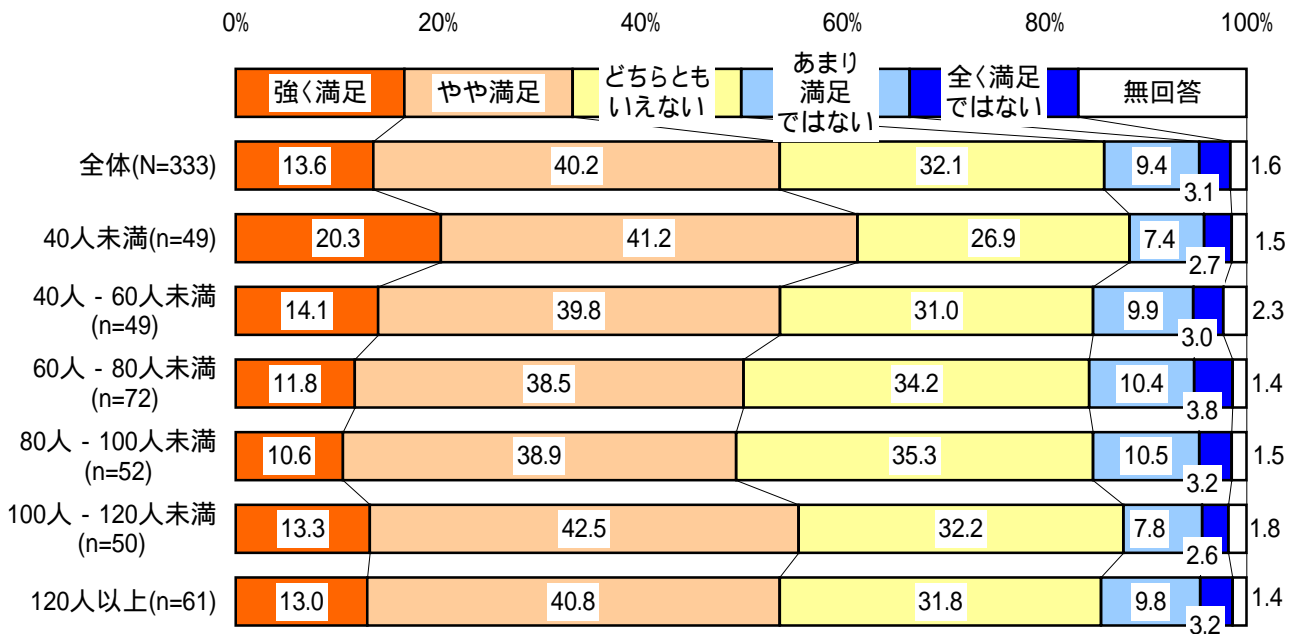
<一授業あたりのアンケート回答者数平均>

授業ベース



<アンケート回答者数(出席学生数)別授業満足度>

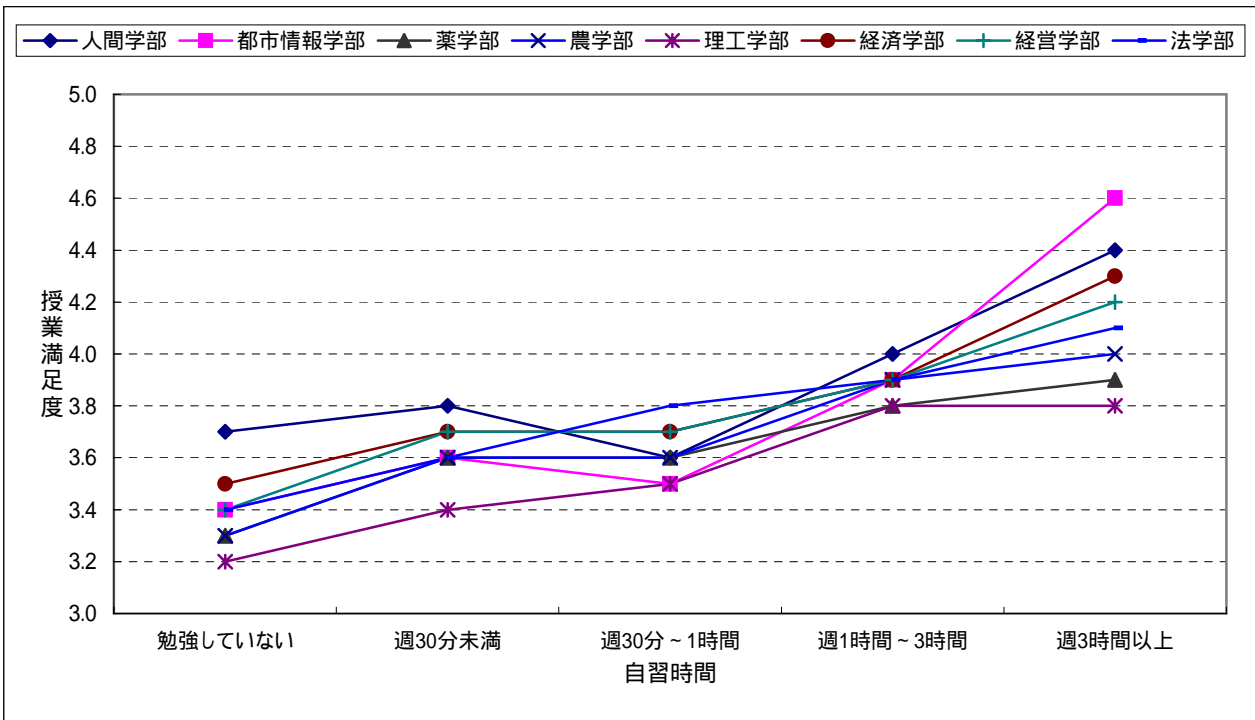
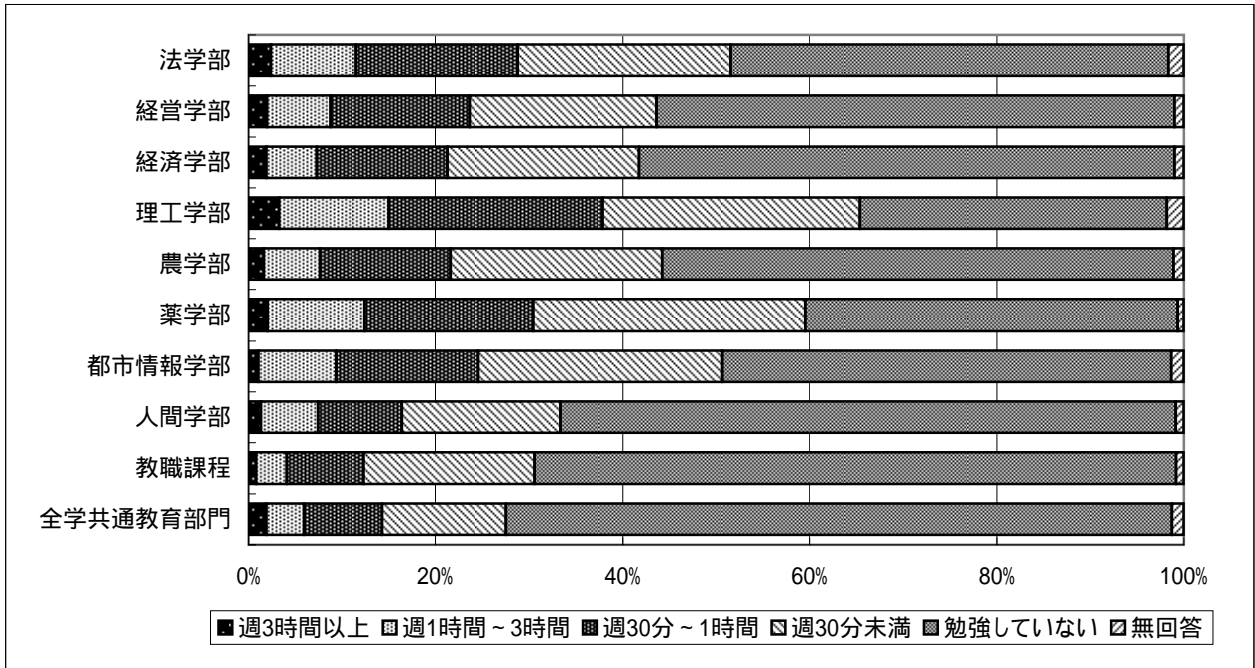
授業ベース



10 自学自習時間と授業満足度

「学生設問Q4.この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。」を学部毎に集計した。(グラフ上)

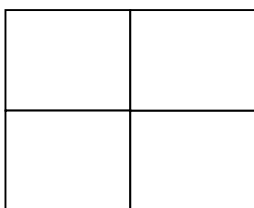
「学生設問Q4.この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く。)」と「学生設問Q19.この授業は総合的に見て満足
のいくものである。」との相関を算出した。(グラフ下)
自習時間が多い学生ほど、授業に対する満足度が高い傾向がある。



1.1 授業満足度×自学自習時間(プロット)

学生の授業満足度とその授業における自学自習時間を授業毎にプロットしたものが下図である。各々の切り軸は「強く」+「まあ」満足度の平均52.3%と自学自習時間の加重平均30.8分をとった。満足度と自学自習時間の相関係数は0.16と低く、高い相関は見られなかった。最も授業数の多いのは4象限で、全体の3割を占めていた。4象限は満足度は高いが自学自習時間は低いグループ。学部別では4象限が多いのは都市情報学部・人間学部だった。

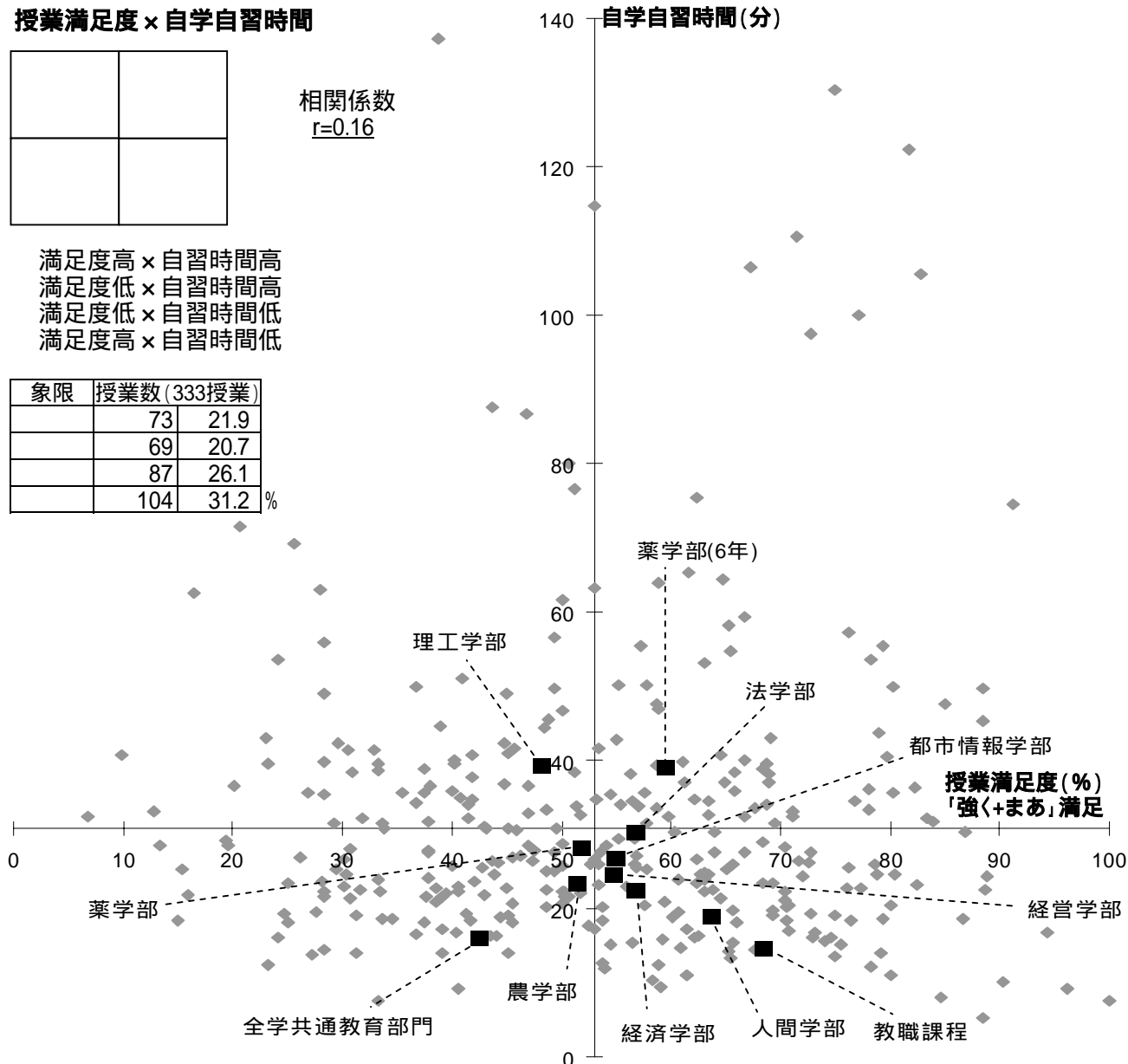
授業満足度×自学自習時間



相関係数
 $r=0.16$

- 満足度高×自習時間高
- 満足度低×自習時間高
- 満足度低×自習時間低
- 満足度高×自習時間低

象限	授業数(333授業)	%
満足度高×自習時間低	73	21.9
満足度低×自習時間高	69	20.7
満足度低×自習時間低	87	26.1
満足度高×自習時間高	104	31.2



8授業	30.8
8授業	30.8
3授業	11.5
7授業	26.9

37授業	28.0
44授業	33.3
31授業	23.5
20授業	15.2

16授業	69.6
5授業	21.7
1授業	4.3
1授業	4.3

0授業	0.0
0授業	0.0
0授業	0.0
5授業	100.0

4授業	14.8
3授業	11.1
9授業	33.3
11授業	40.7

1授業	3.0
3授業	9.1
15授業	45.5
14授業	42.4

3授業	12.5
3授業	12.5
4授業	16.7
14授業	58.3

0授業	0.0
0授業	0.0
5授業	83.3
1授業	16.7

0授業	0.0
1授業	4.8
9授業	42.9
11授業	52.4

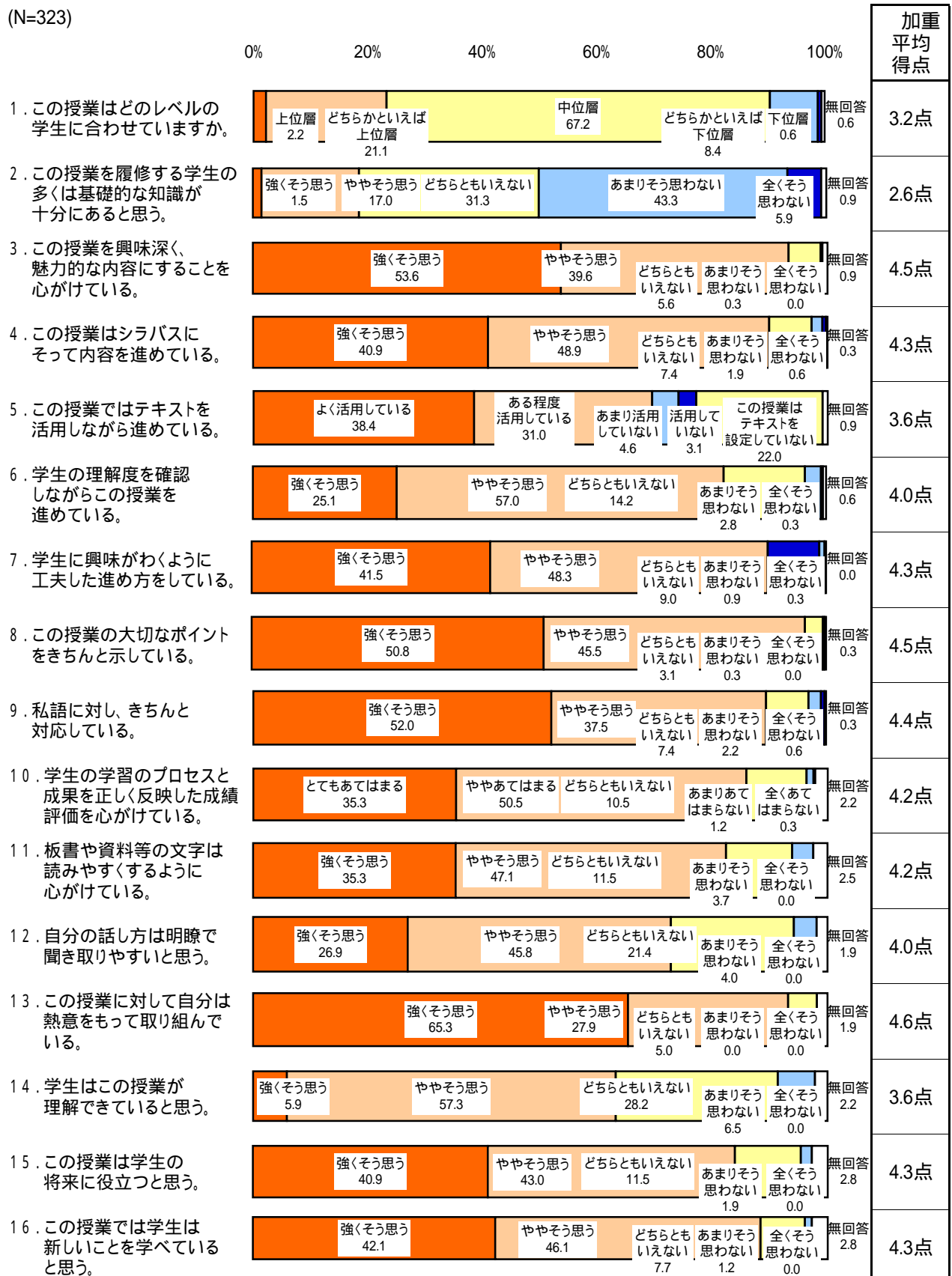
2授業	11.1
1授業	5.6
8授業	44.4
7授業	38.9

2授業	11.1
1授業	5.6
2授業	11.1
13授業	72.2

* 全体より10ポイント以上高いものに網掛け

教員の回答全体をみると、いずれも教員自身の姿勢として、興味・魅力ある授業内容、ポイント提示、私語対応、意欲熱意に対する評価が高く、「強く思う」がそれぞれ5割を超える。一方、学生に対しては、基礎知識があることを「強く思う」と「やや思う」の合計が2割に未滿にとどまり、授業の理解度についても理解していることを「強く思う」との回答は1割未滿で低い。加重平均得点トップは自身の意欲熱意4.6点、最下位は学生の基礎知識2.6点。

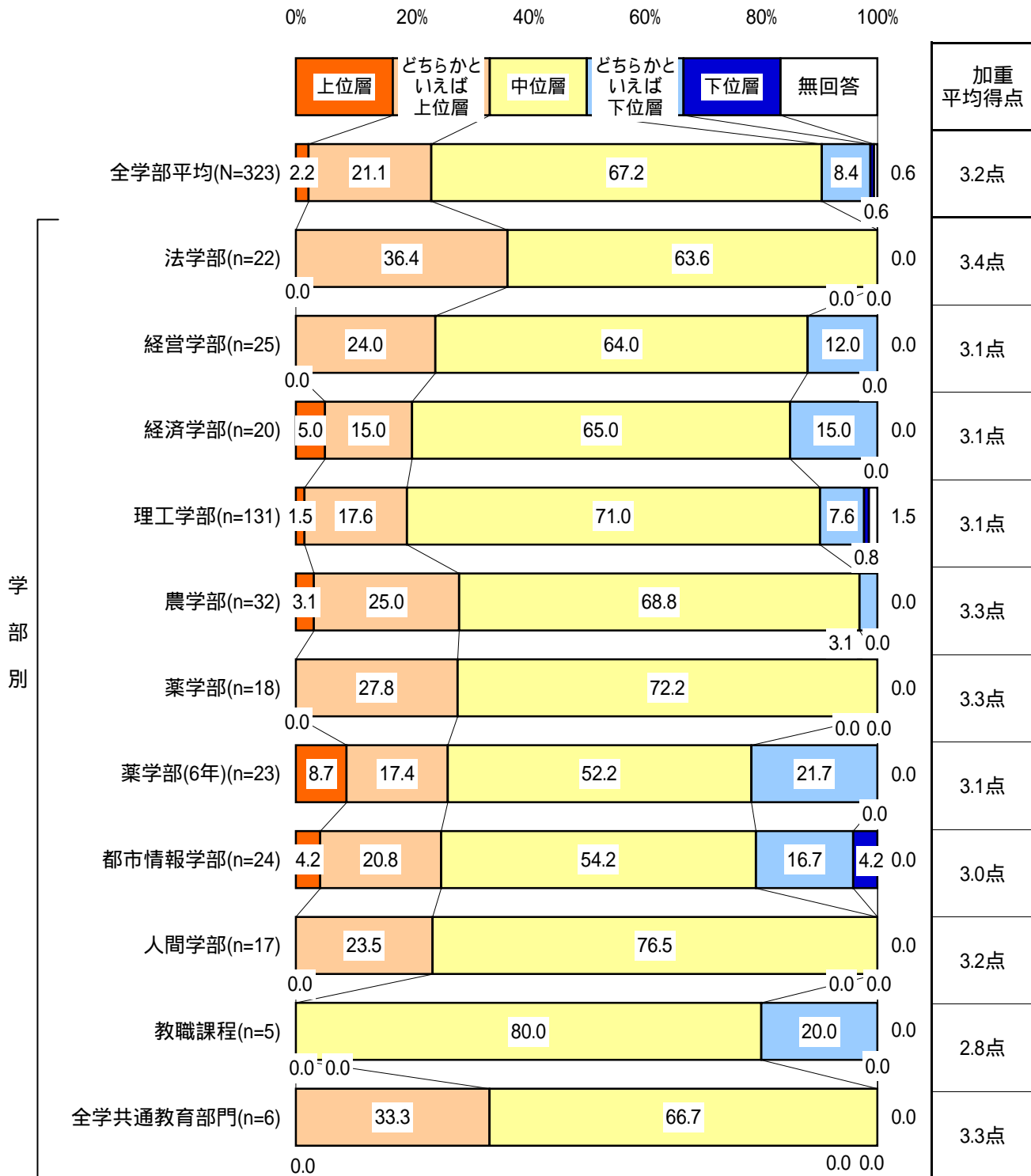
(N=323)



加重平均得点の算出方法はP29～44参照

授業において想定している学力程度について、教員の7割が「中位層」と回答。加重平均得点3.2点。学部別でも、全学部で「中位層」が過半数を占める。

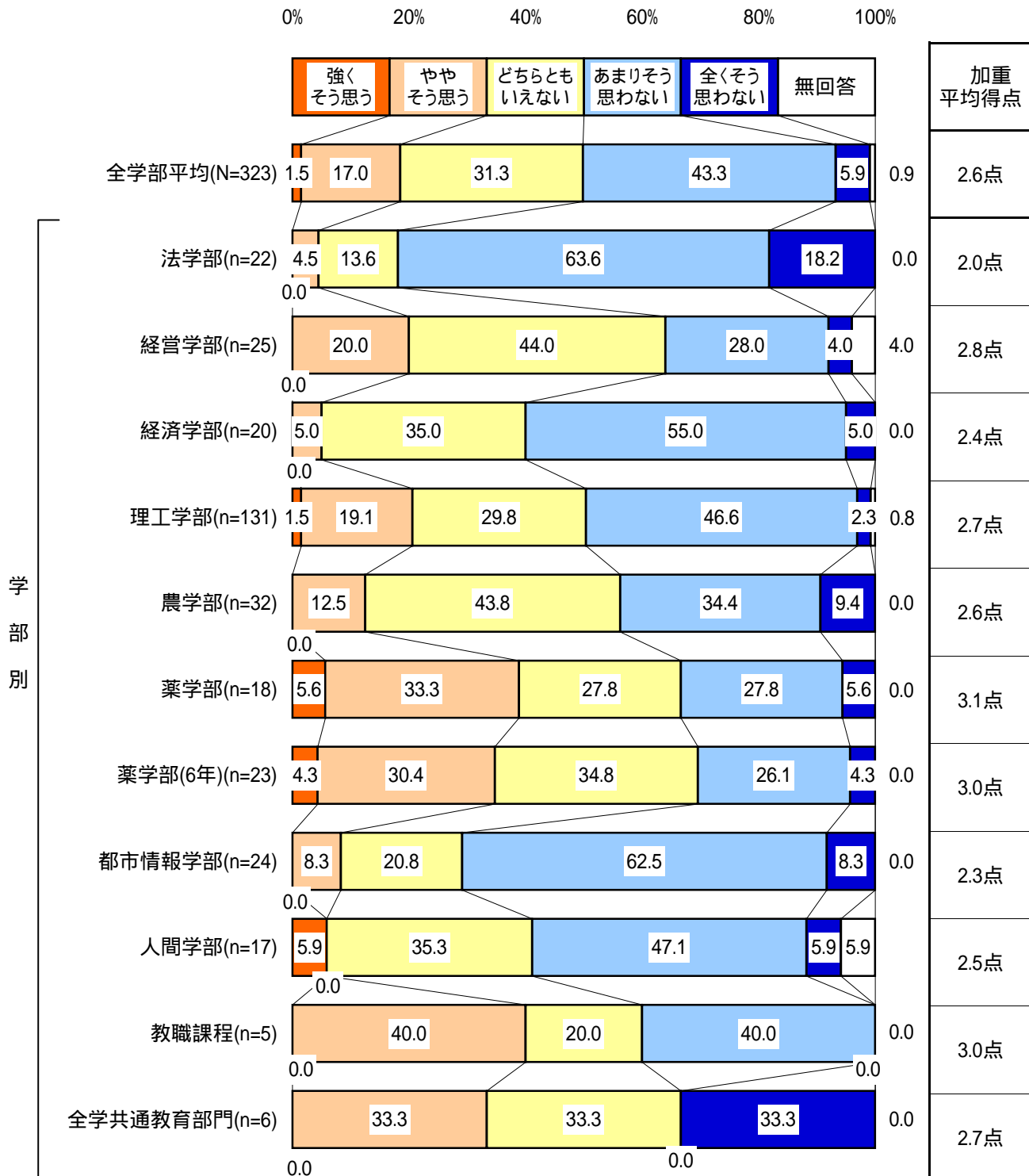
Q1.この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。



この設問の加重平均得点の与え方：上位層 5点、どちらかといえば上位層 4点
 中位層 3点、どちらかといえば下位層 2点、下位層 1点

授業を履修する学生の基礎知識が十分にあるかについて、「強くそう思う」は1.5%、「ややそう思う」が17.0%で、「思う計」（「強くそう思う」+「ややそう思う」）は18.6%。加重平均得点2.6点。
学部別でみると、農学部は「思う計」が12.5%で全学部平均を6ポイント下回る。

Q2.この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。



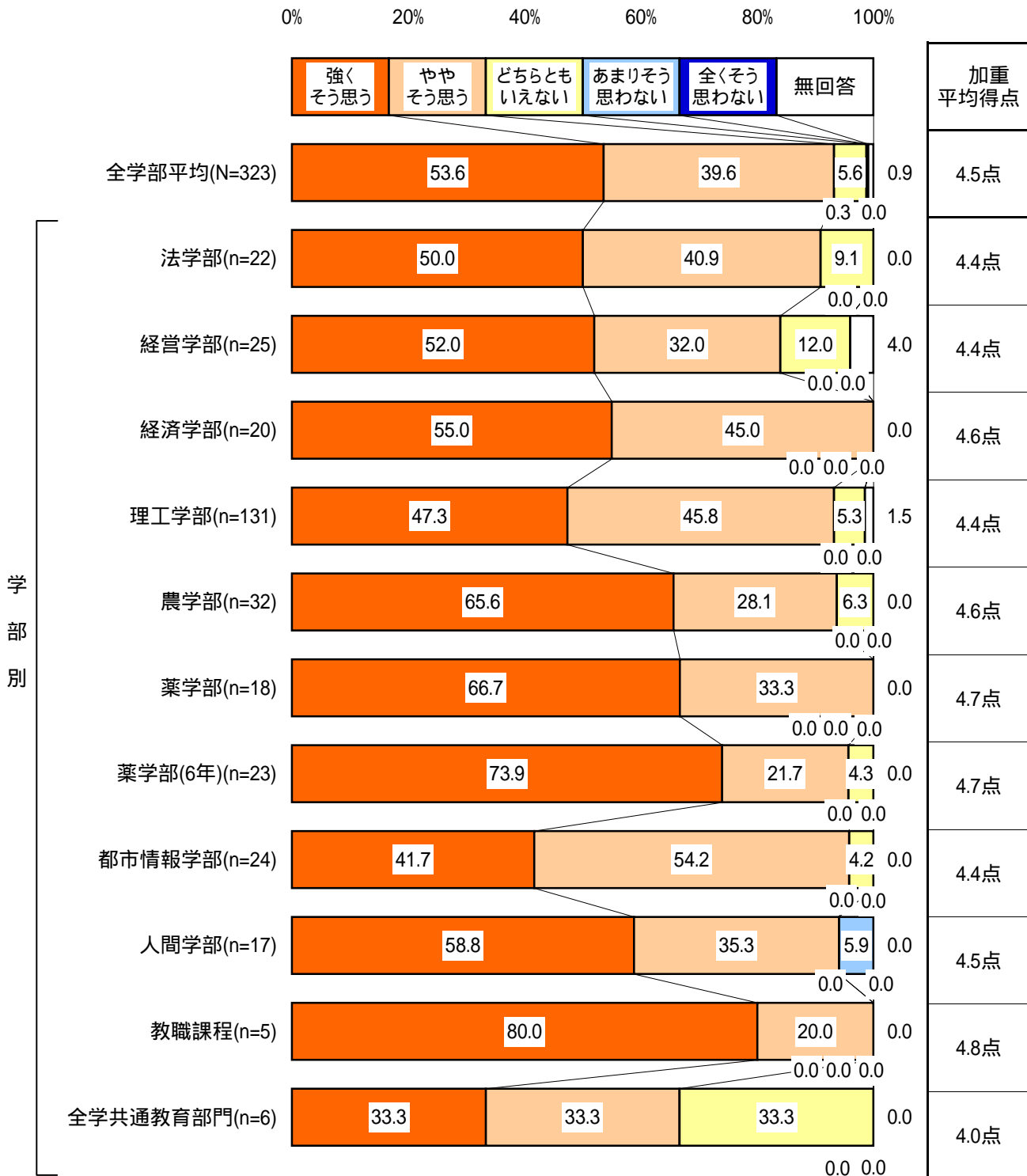
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

12 - 2 教員用設問 興味魅力

[教員]

授業を興味深く、魅力的内容にすることを心がけているかについて、「強くそう思う」は53.6%、「ややそう思う」は39.6%で、「思う計」は93.2%。加重平均得点4.5点。
 学部別でも、ほとんどの学部で「強くそう思う」が半数前後を占め、「思う計」は9割前後にのぼる。また、経済学部、薬学部、教職課程では全教員が「強くそう思う」あるいは「ややそう思う」と回答。

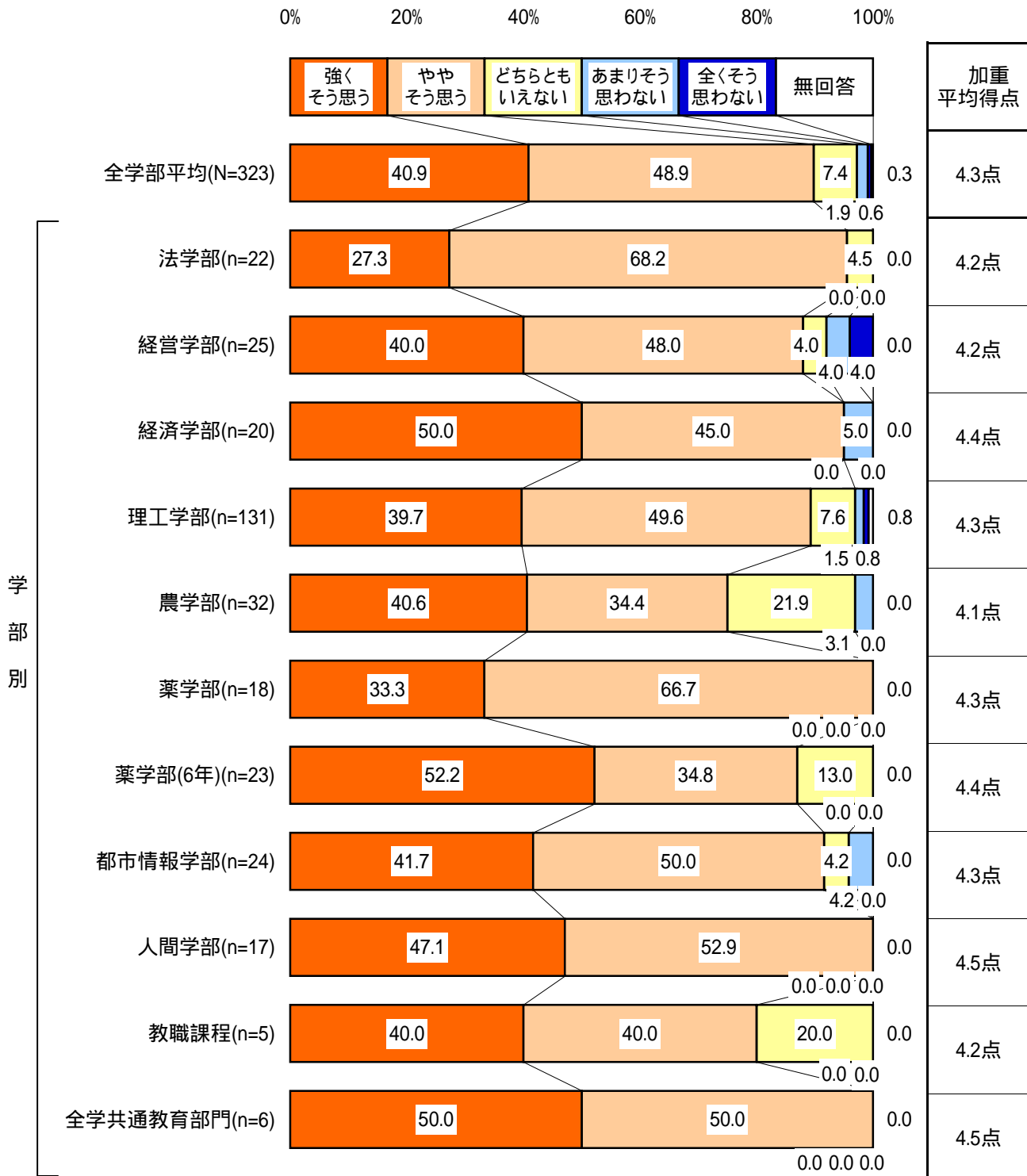
Q3.この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

授業の内容をシラバスにそって進めているかについて、「強くそう思う」は40.9%、「ややそう思う」は48.9%で、「思う計」は89.8%。加重平均得点4.3点。
 学部別でみると、ほとんどの学部で「思う計」が9割前後にのぼるが、農学部は「思う計」は75.0%で全学部平均を15ポイント下回る。また、薬学部、人間学部、全学共通教育部門では全教員が「強くそう思う」あるいは「ややそう思う」と回答。

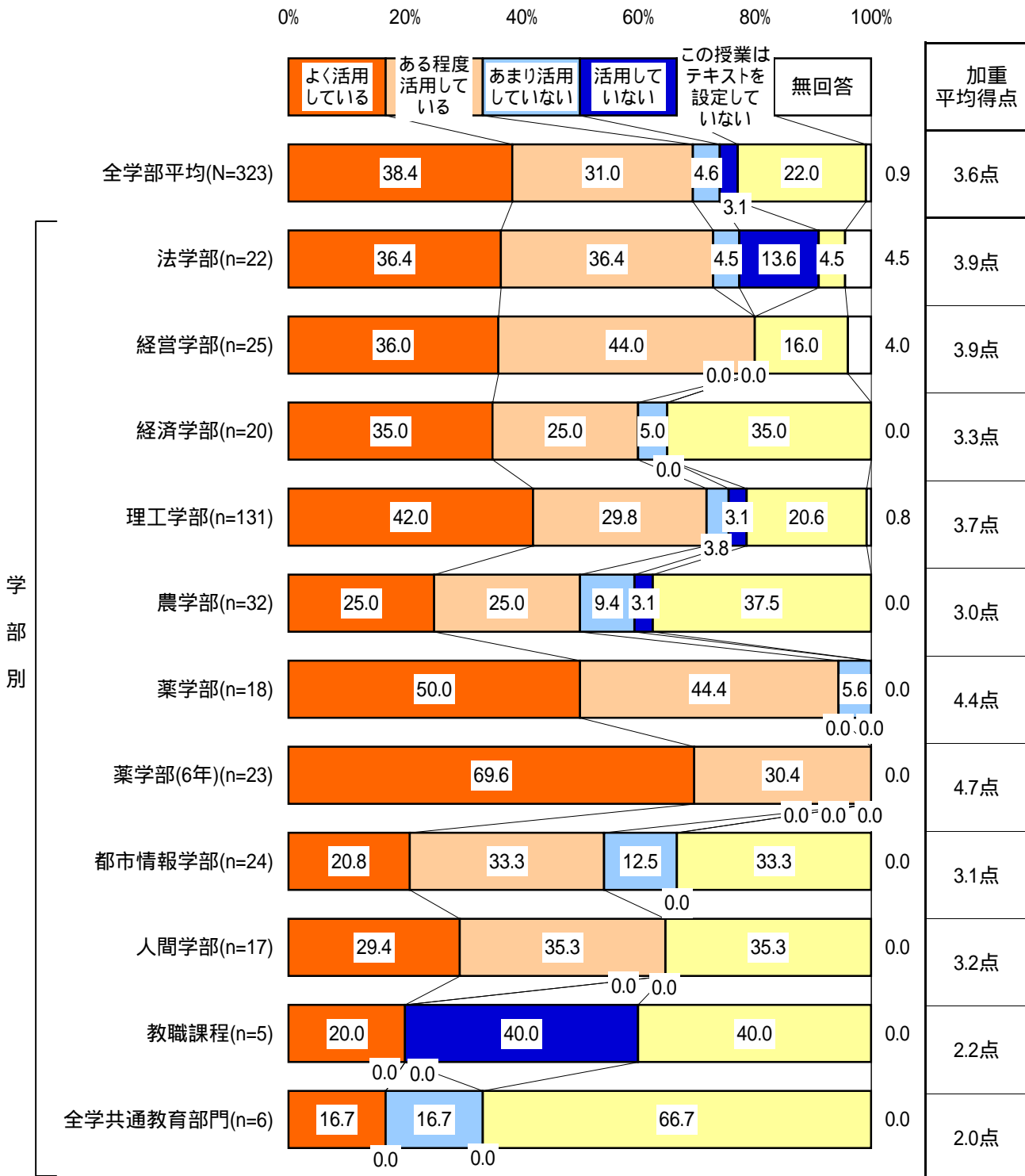
Q4.この授業はシラバスにそって内容を進めている。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

授業におけるテキストの活用状況について、「よく活用している」は38.4%、「ある程度活用している」は31.0%で、「活用している計」（「よく活用している」+「ある程度活用している」）は69.3%。加重平均得点3.6点。
 学部別でみると、農学部は「活用している計」が50.0%で全学部平均を19ポイント下回るが、薬学部(6年)では全教員が「よく活用している」あるいは「ある程度活用している」と回答。

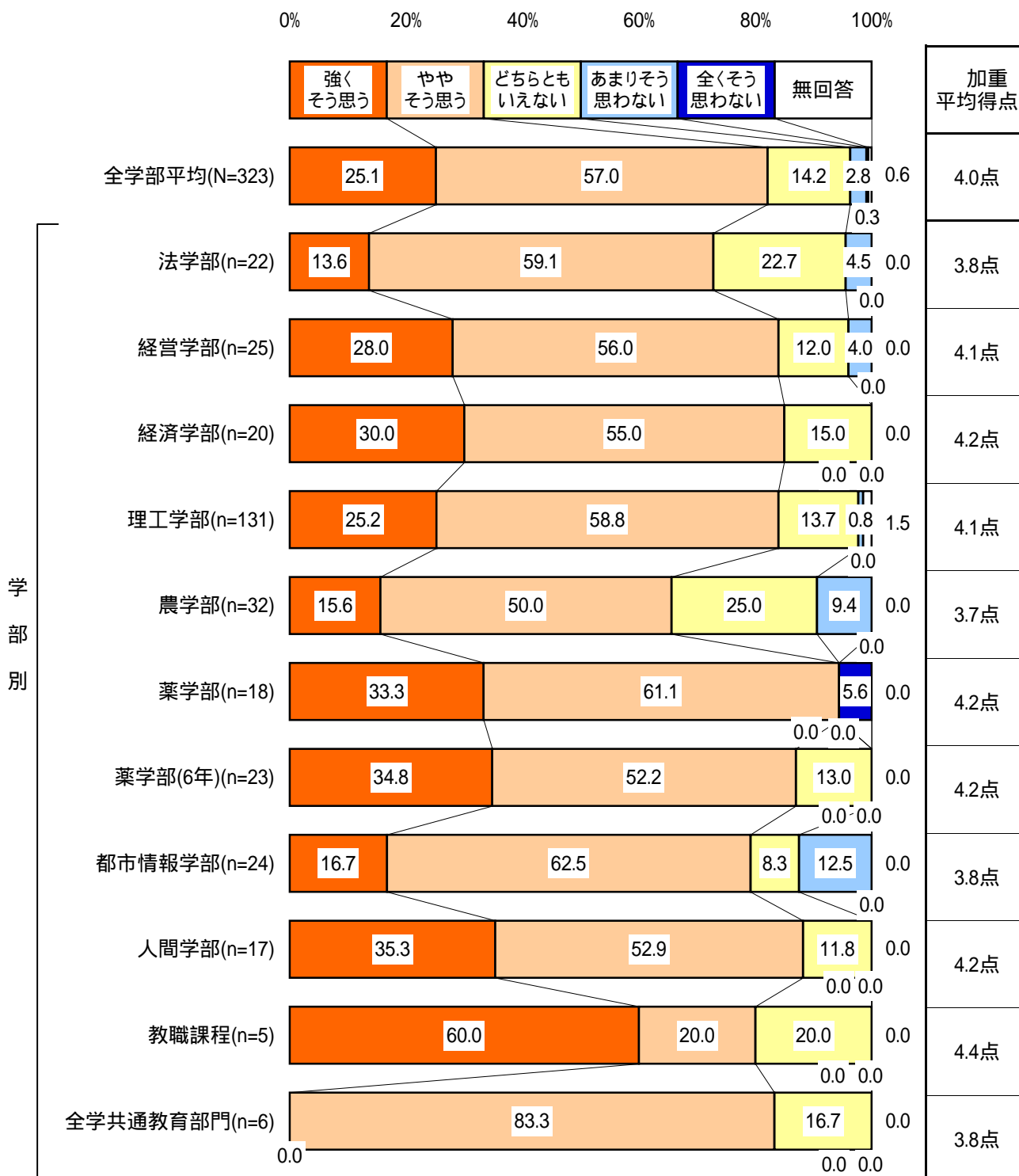
Q5.この授業ではテキストを活用しながら進めている。



この設問の加重平均得点の与え方：よく活用している 5点、ある程度活用している 4点
 あまり活用していない 3点、活用していない 2点、この授業はテキストを設定していない 1点

学生の理解度を確認しながら授業を進めているかについて、「強くそう思う」は25.1%、「ややそう思う」は57.0%で、「思う計」は82.0%。加重平均得点4.0点。
 学部別でみると、ほとんどの学部で「思う計」が7割前後にのぼり、薬学部では9割を超えるが、農学部の「思う計」は65.6%で全学部平均を17ポイント下回る。

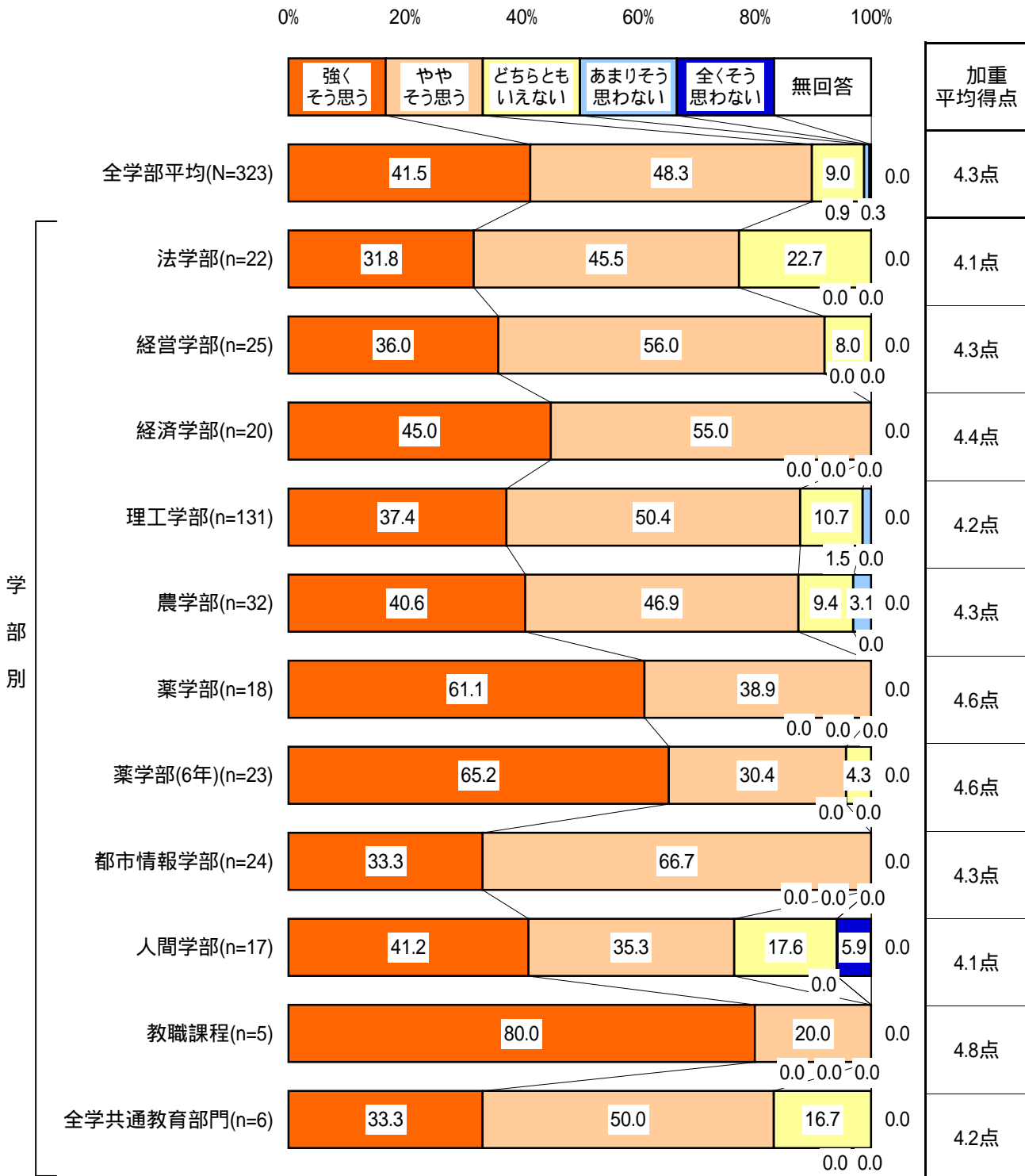
Q6.学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

授業を学生に興味がわくように工夫した進め方をしているかについて、「強くそう思う」は41.5%、「ややそう思う」は48.3%で、「思う計」は89.8%。加重平均得点4.3点。
 学部別でも、ほとんどの学部で「思う計」が8割前後にのぼる。また、経済学部、薬学部、都市情報学部、教職課程では全教員が「強くそう思う」あるいは「ややそう思う」と回答。

Q7.学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。



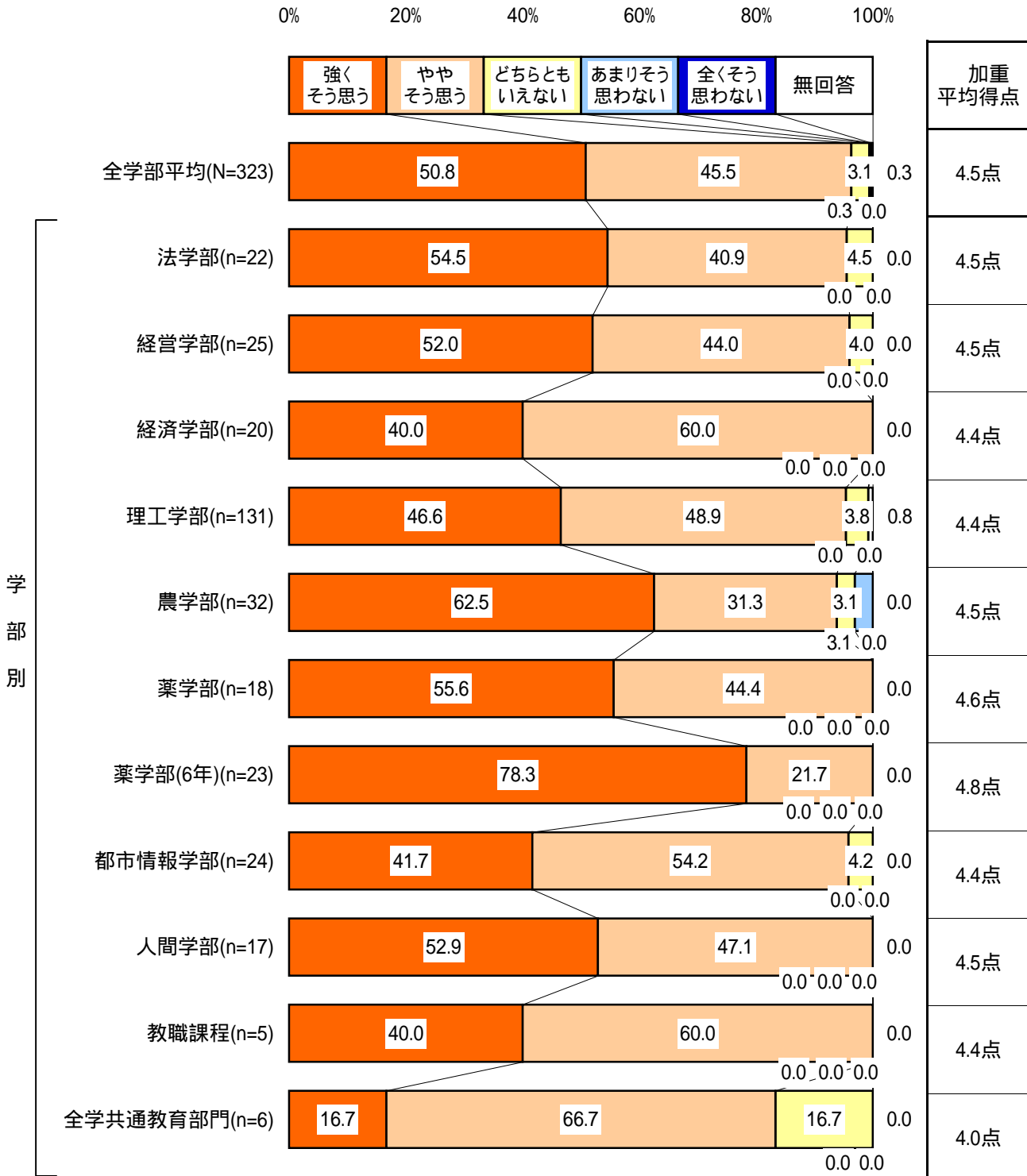
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

12 - 2 教員用設問 ポイント

[教員]

授業で大切なポイントを示しているかについて、「強くそう思う」は50.8%、「ややそう思う」は45.5%で、「思う計」は96.3%。加重平均得点4.5点。
 学部別でも、ほとんどの学部で「思う計」が8割前後にのぼる。また、経済学部、薬学部、薬学部(6年)、人間学部、教職課程では全教員が「強くそう思う」あるいは「ややそう思う」と回答。

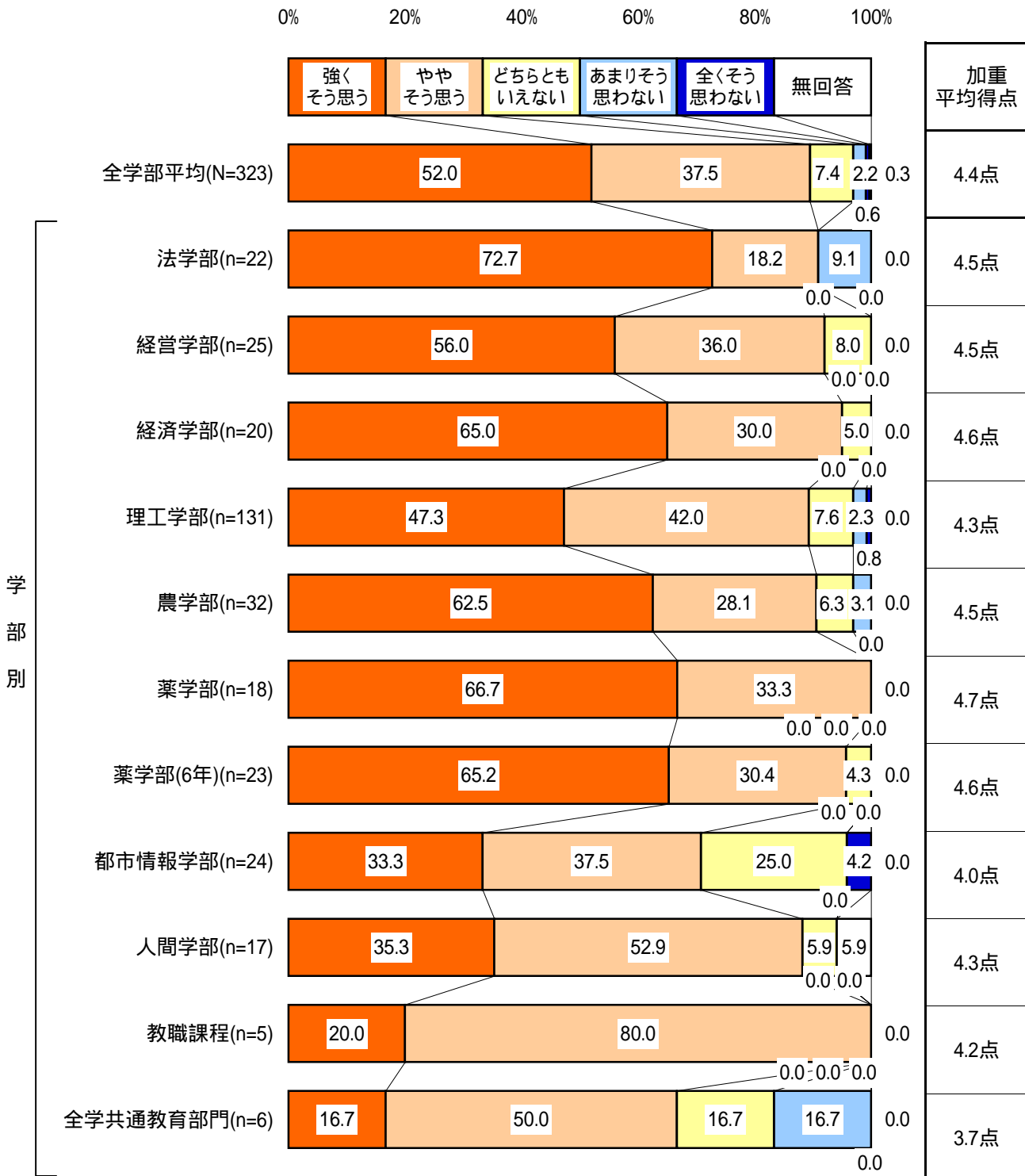
Q8.この授業の大切なポイントをきちんと示している。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

授業中の私語に対し、きちんと対応しているかについて、「強くそう思う」は52.0%、「ややそう思う」は37.5%で、「思う計」は89.5%。加重平均得点4.4点。
 学部別でも、ほとんどの学部で「思う計」が8割前後にのぼる。また、薬学部、教職課程では全教員が「強くそう思う」あるいは「ややそう思う」と回答。

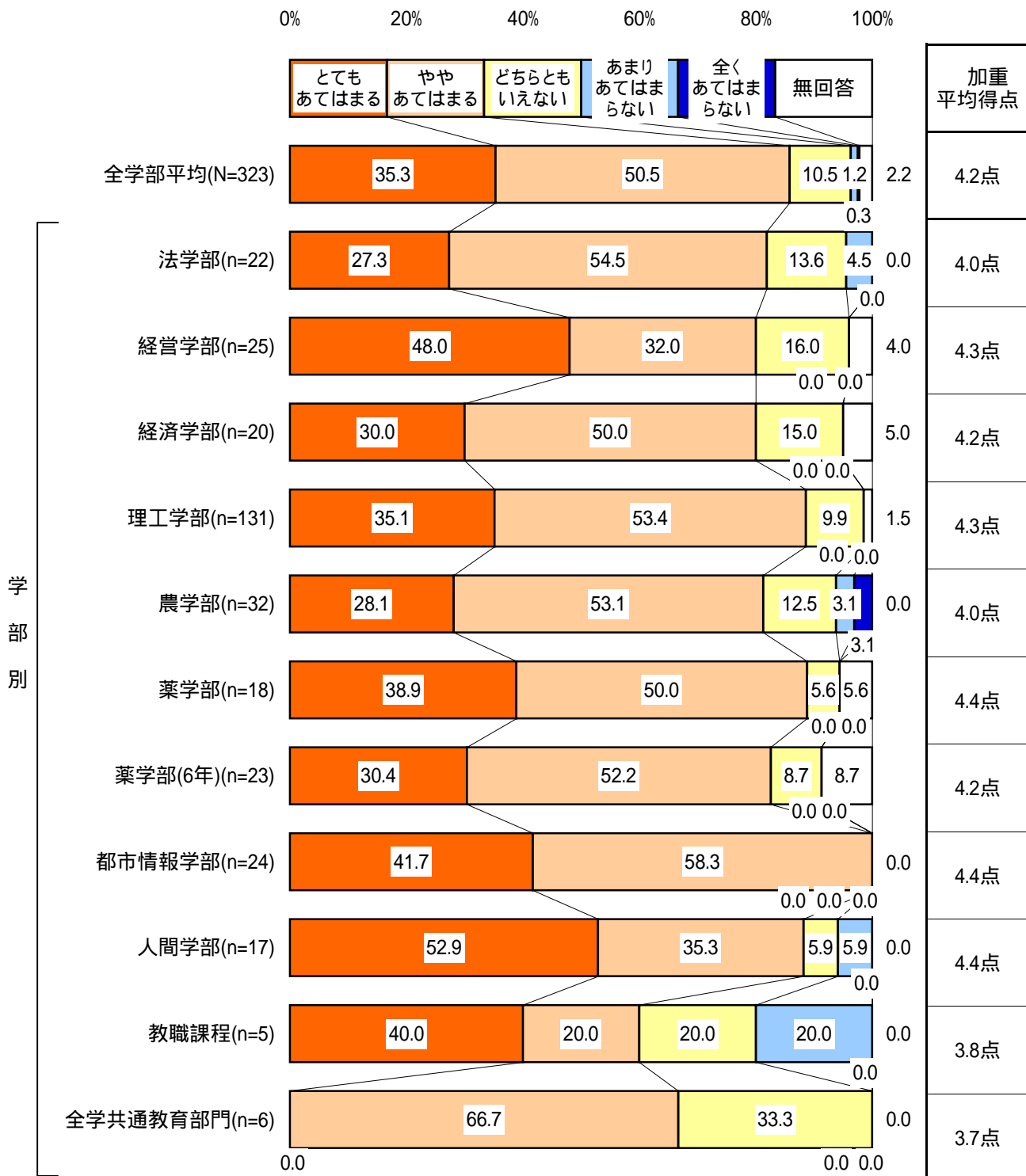
Q9.私語に対し、きちんと対応している。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

成績評価基準は学生の学習プロセスと成果を正しく反映することを心がけているかについて、「とてもあてはまる」は35.3%、「ややあてはまる」は50.5%で、「あてはまる計」（「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」）は85.8%。加重平均得点4.2点。学部別でも、ほとんどの学部で「あてはまる計」が8割前後にのぼるが、農学部は「とてもあてはまる」が28.1%で全学部平均を7ポイント下回る。都市情報学部では全教員が「強くそう思う」あるいは「ややそう思う」と回答。

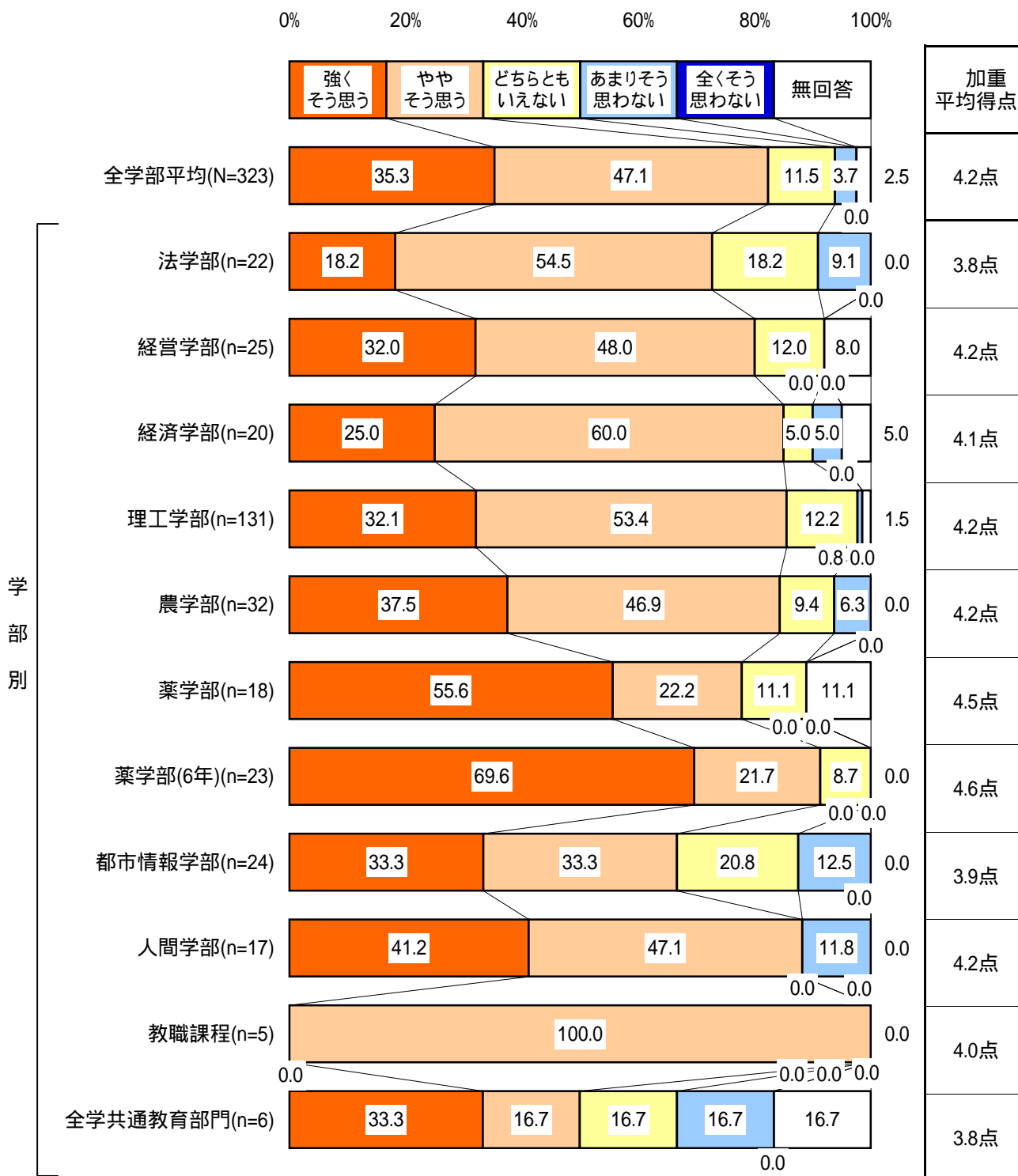
Q10.学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。



この設問の加重平均得点の与え方：とてもあてはまる 5点、ややあてはまる 4点、どちらともいえない 3点、あまりあてはまらない 2点、全くあてはまらない 1点

板書などの文字は読みやすくするように心がけているかについて、「強くそう思う」は35.3%、「ややそう思う」は47.1%で、「思う計」は82.4%。加重平均得点4.2点。
学部別でも、ほとんどの学部で「思う計」が7割前後にのぼる。また、教職課程では全教員が「ややそう思う」と回答。

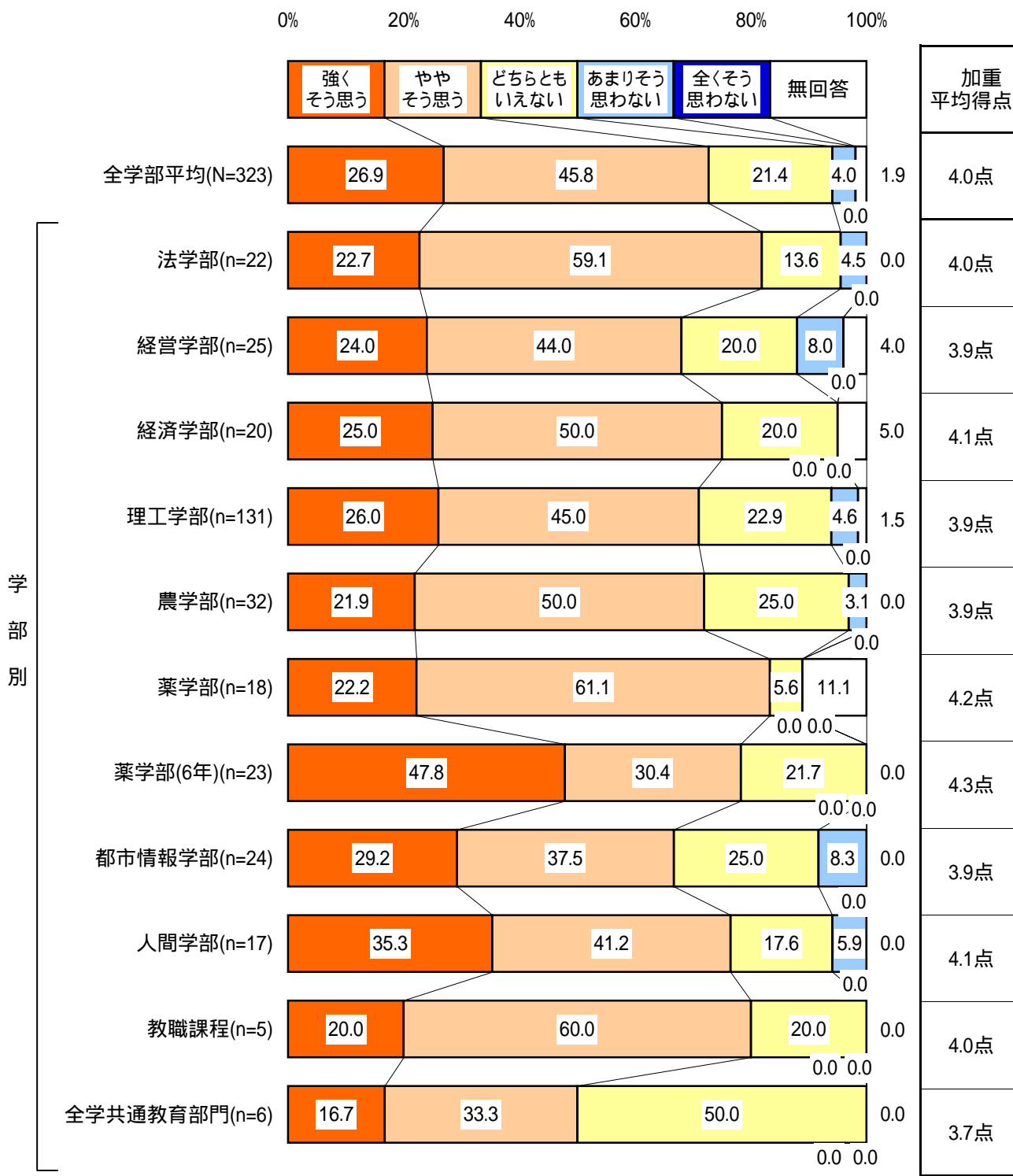
Q11.板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

話し方が聞き取りやすいと思うかについて、「強くそう思う」は26.9%、「ややそう思う」は45.8%で、「思う計」は72.8%。加重平均得点4.0点。
学部別でも、ほとんどの学部で「思う計」が7割前後にのぼる。

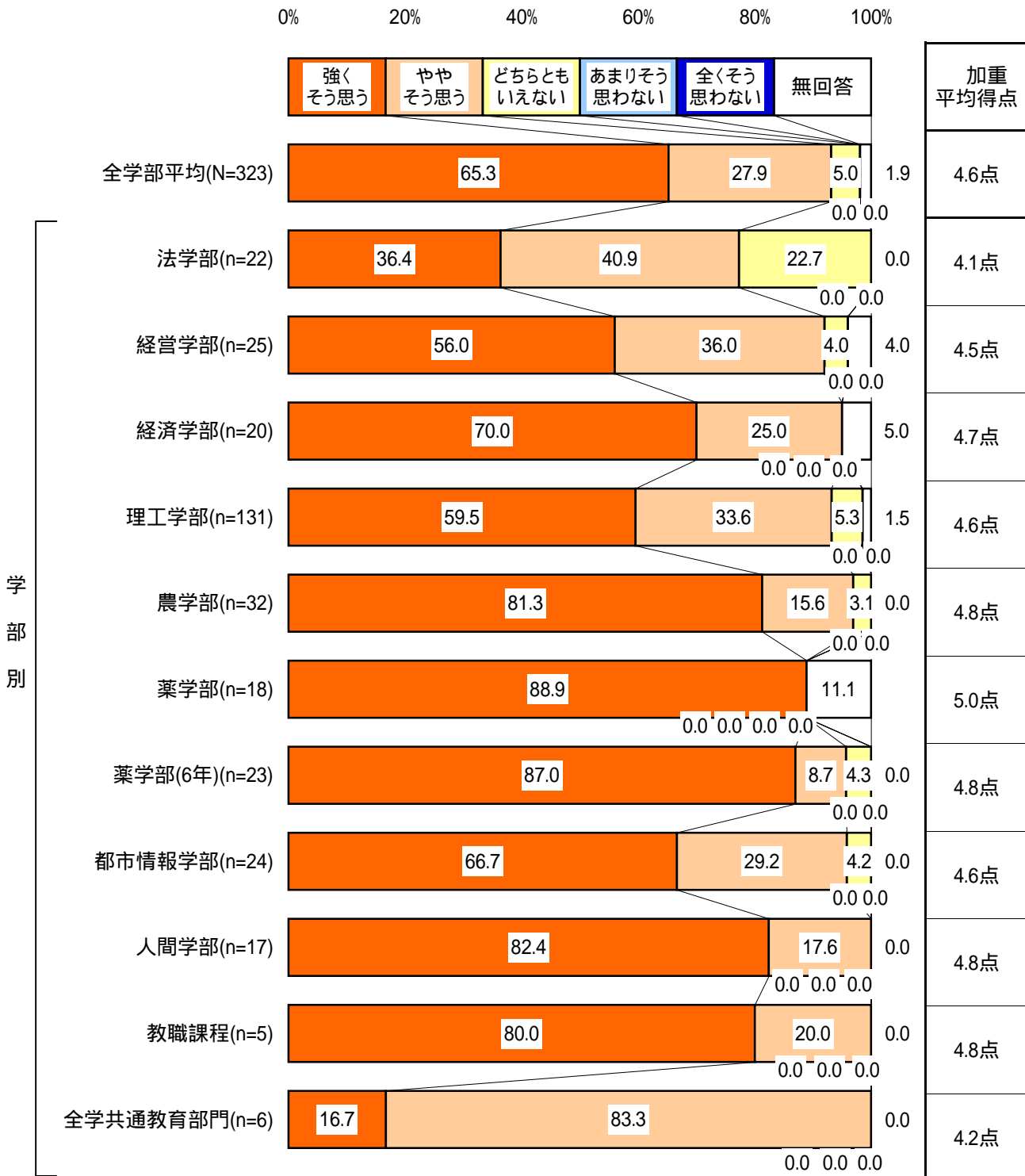
Q12.自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

授業に対し、熱意をもって取り組んでいるかについて、「強くそう思う」は65.3%、「ややそう思う」は27.9%で、「思う計」は93.2%。加重平均得点4.6点。
 学部別でも、ほとんどの学部で「思う計」が8割前後にのぼる。また、農学部は「強くそう思う」が81.3%で全学部平均を16ポイント上回る。一方、理工学部の「強くそう思う」は59.5%で全学部平均を6ポイント下回る。

Q13.この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。



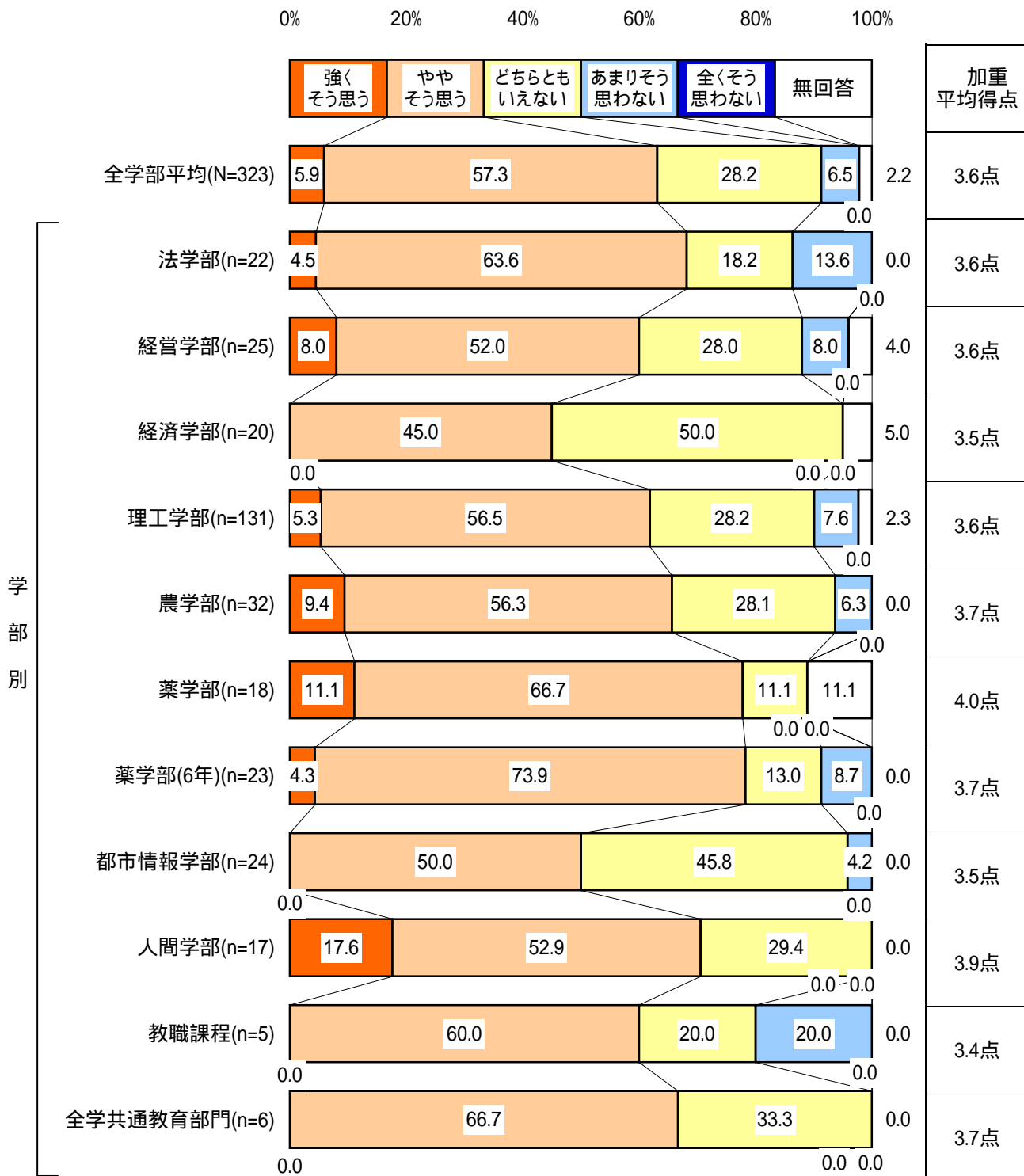
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

12 - 2 教員用設問 理解度

[教員]

授業内容を学生が理解できているかについて、「強くそう思う」は5.9%、「ややそう思う」は57.3%で、「思う計」は63.2%。加重平均得点3.6点。
学部別でみると、ほとんどの学部で「思う計」は6割前後。

Q14.学生はこの授業が理解できていると思う。



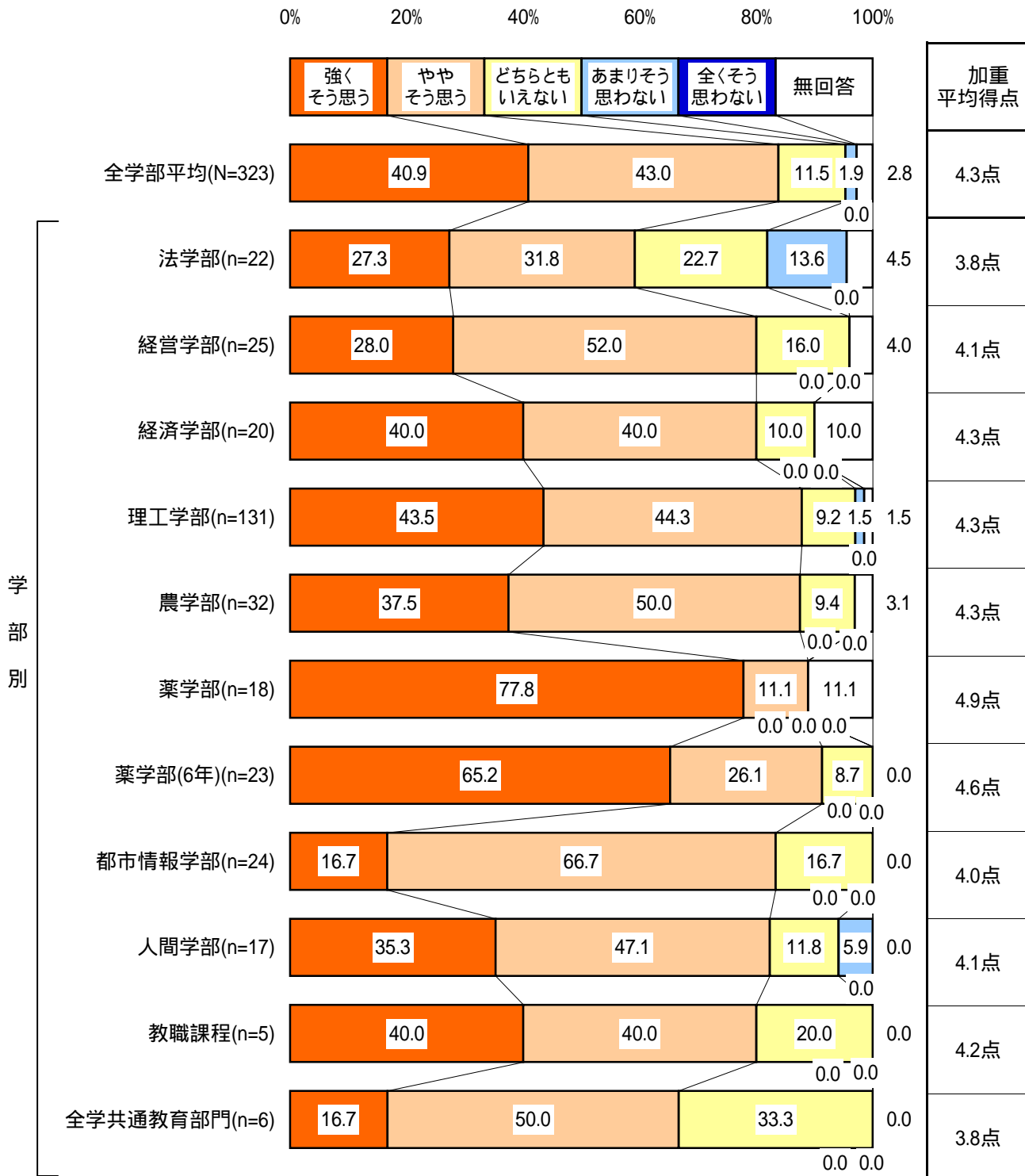
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

12 - 2 教員用設問 将来役立

[教員]

授業の内容が学生の将来に役立つと思うかについて、「強くそう思う」は40.9%、「ややそう思う」は43.0%で、「思う計」は83.9%。加重平均得点4.3点。
学部別でも、ほとんどの学部で「思う計」が7割前後にのぼり、薬学部(6年)では9割を超える。

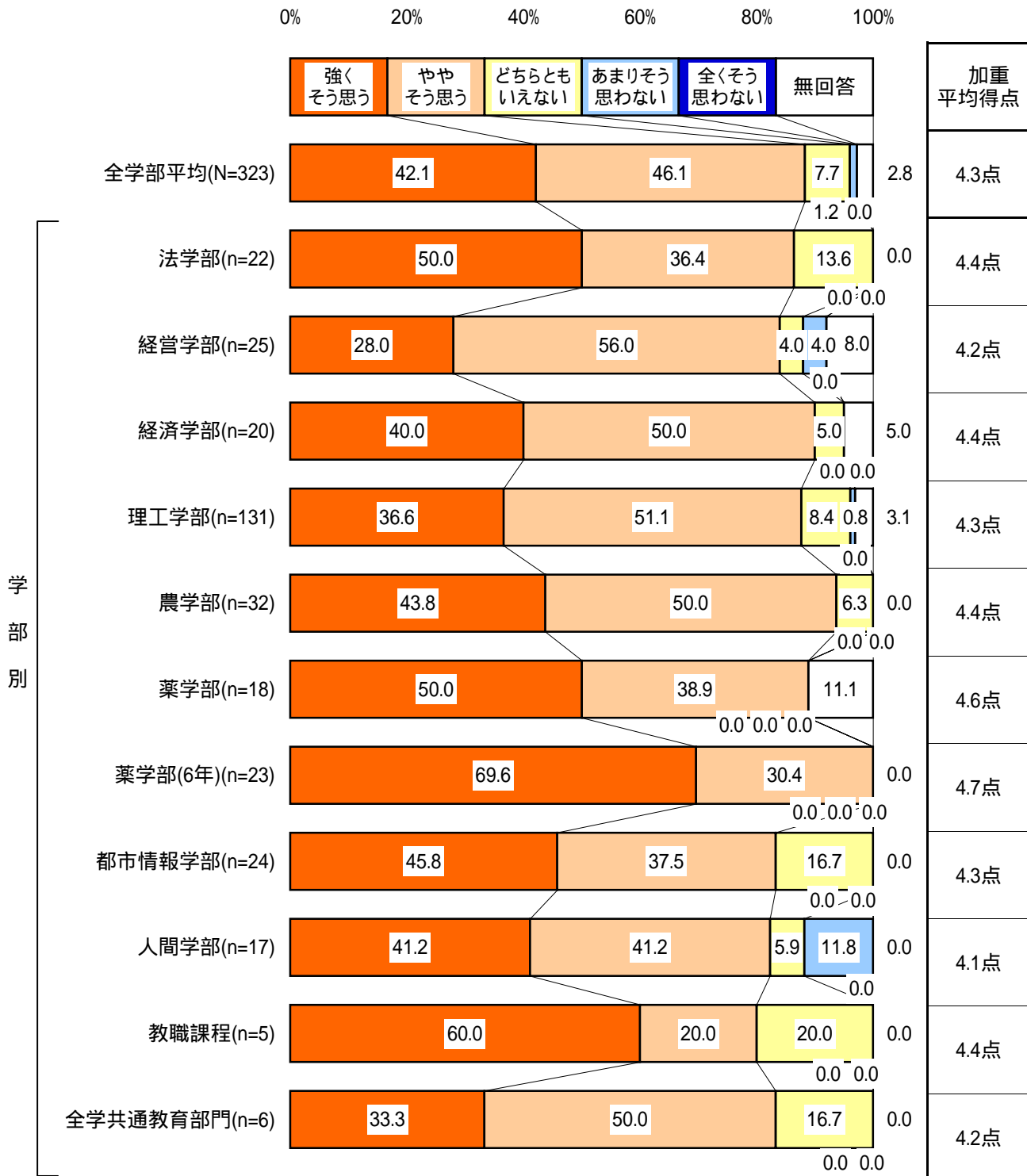
Q15.この授業は学生の将来に役立つと思う。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

授業で学生は新しいことを学習していると思うかについて、「強くそう思う」は42.1%、「ややそう思う」は46.1%で、「思う計」は88.2%。加重平均得点4.3点。
 学部別でみると、すべての学部で「思う計」が8割を超える。また、薬学部(6年)では全教員が「強くそう思う」あるいは「ややそう思う」と回答。

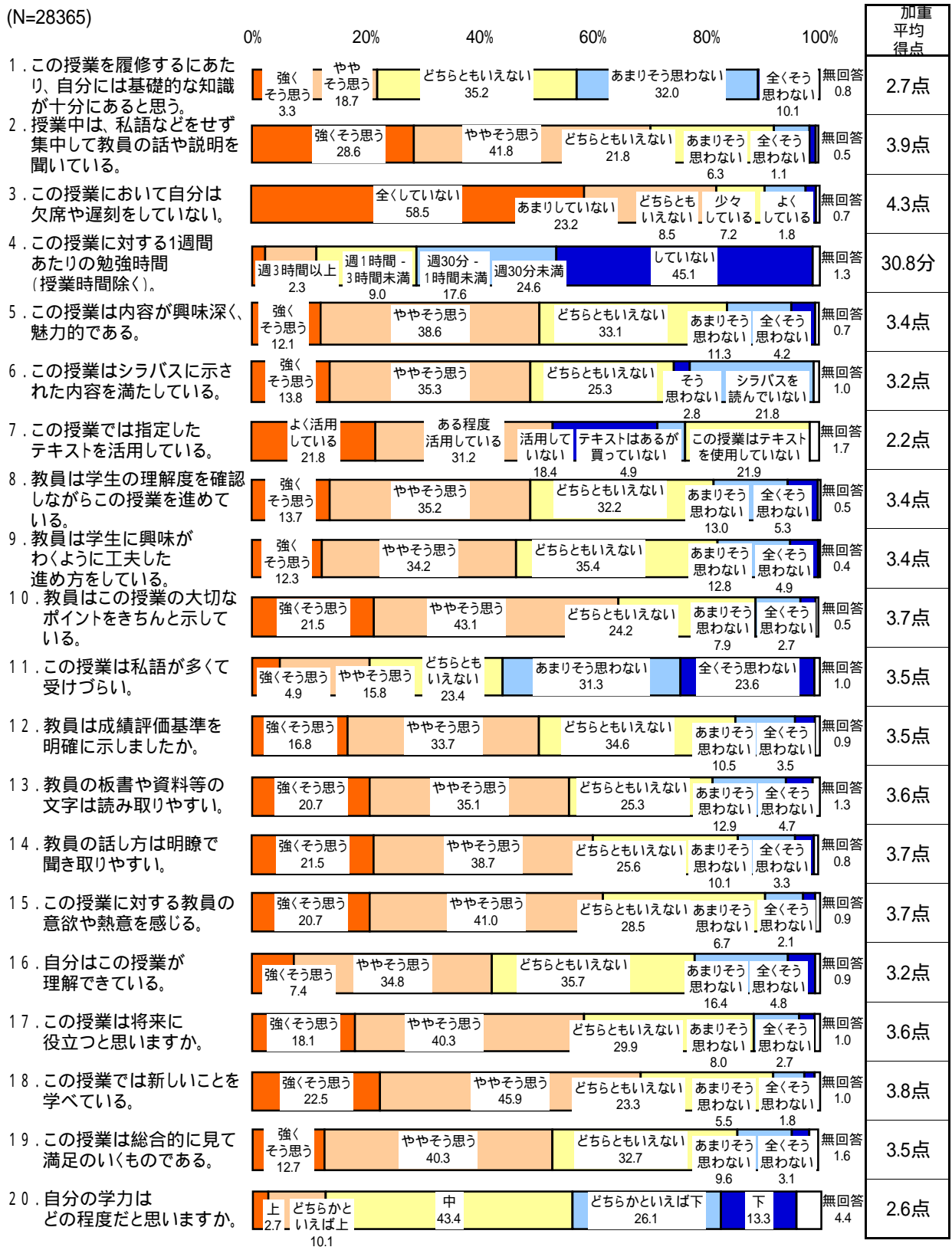
Q16.この授業では学生は新しいことを学べていると思う。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

学生の回答全体をみると、学生自身においては、集中した受講態度、遅刻欠席がないこと、発見学習できていること、教員に対しては、ポイント提示、話し方の明瞭さ、意欲熱意に対する評価が高い。加重平均得点トップは遅刻欠席がないこと4.3点、最下位は指定テキストの活用2.2点。

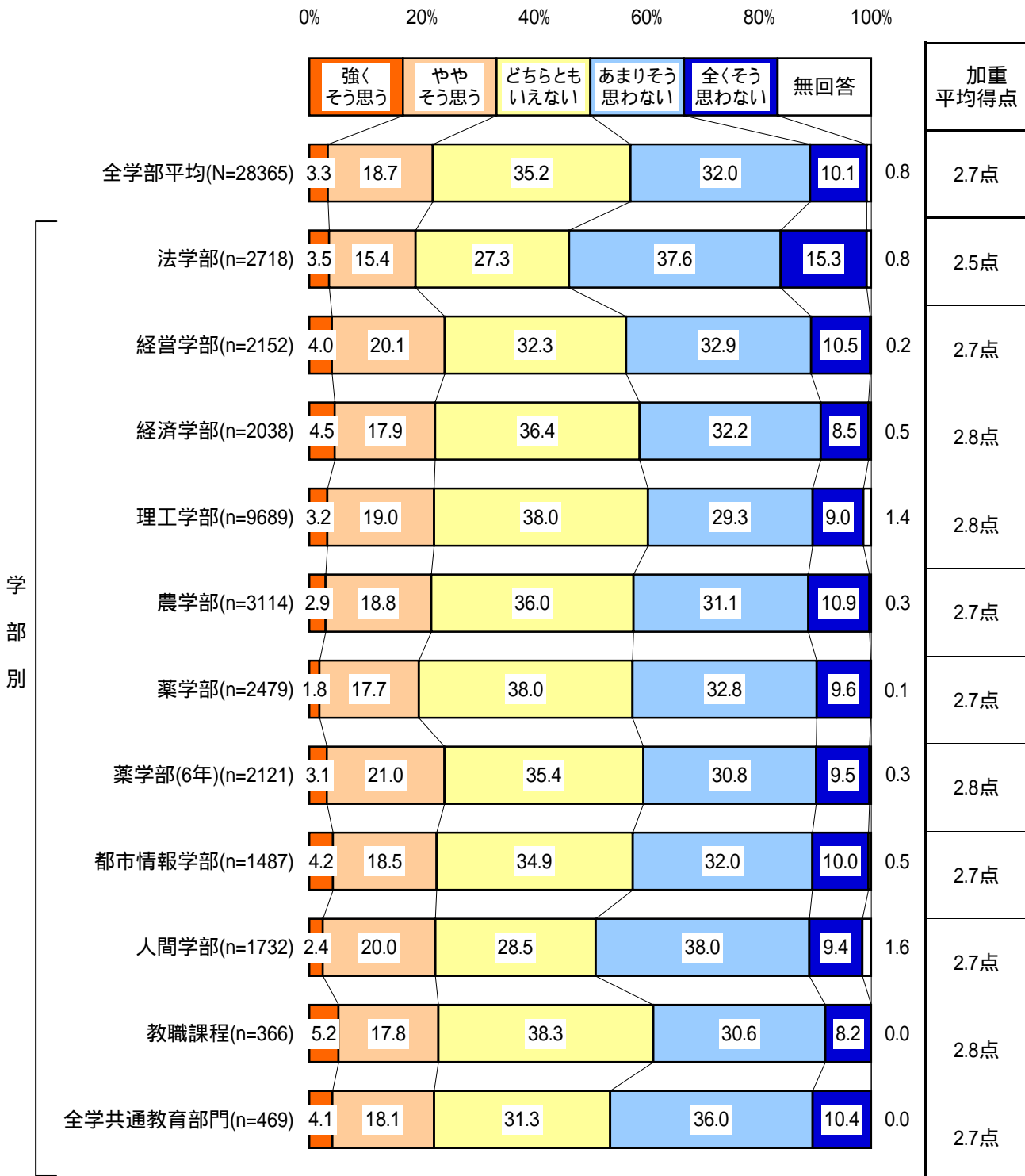
(N=28365)



加重平均得点の算出方法はP46～65参照

自分にはこの授業に関する基礎知識が十分にあるかについて、「強くそう思う」は3.3%、「ややそう思う」は18.7%で、「思う計」は21.9%。加重平均得点2.7点。
学部別でも学部間で差はなく、どの学部の学生も基礎知識に関する自己評価は低い。

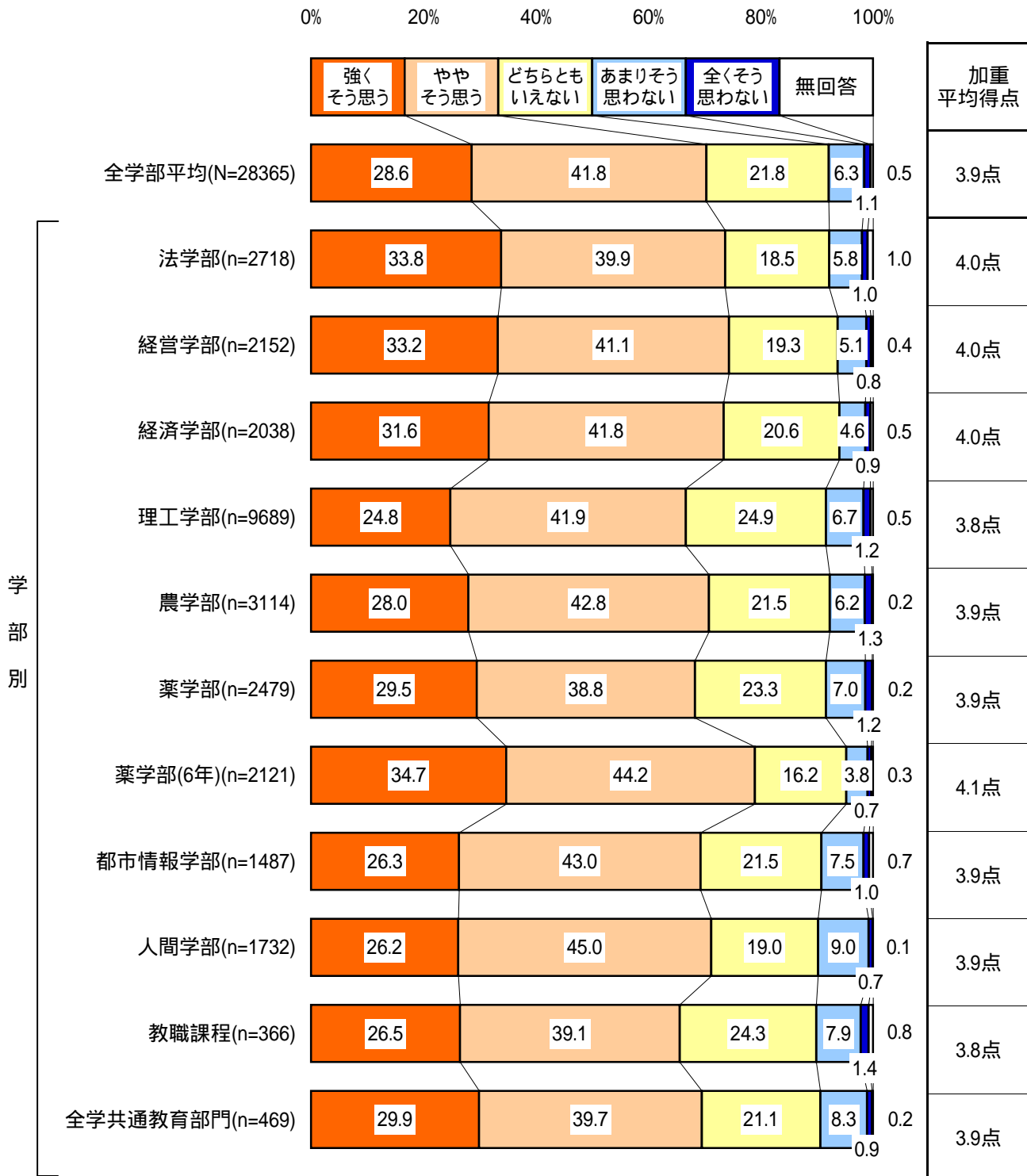
Q1.この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

授業内容を集中して聞いているかについて、「強くそう思う」は28.6%、「ややそう思う」は41.8%で、「思う計」は70.4%。加重平均得点3.9点。
学部別でも、すべての学部で「思う計」が7割前後を占める。

Q2.授業中は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。



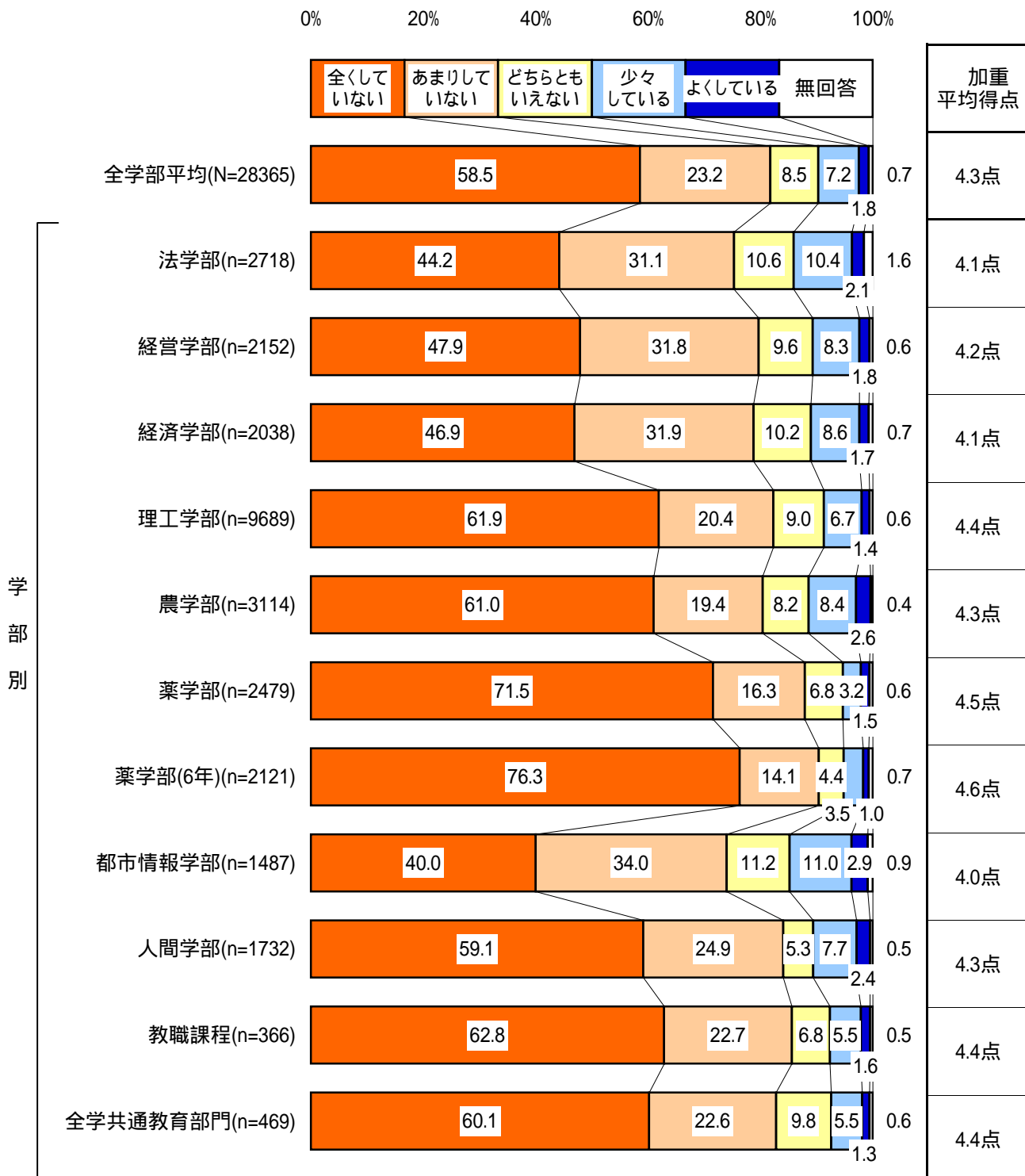
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

13 - 2 学生用設問 欠席遅刻

[学生]

授業を欠席・遅刻していないかについて、「全くしていない」は58.5%、「あまりしていない」は23.2%で、「していない計」(「全くしていない」+「あまりしていない」)は81.8%。加重平均得点4.3点。
 学部別でも、すべての学部で「していない計」が8割前後にのぼる。また、薬学部、薬学部(6年)で「全くしていない」が7割を超え、高い。

Q3.この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。



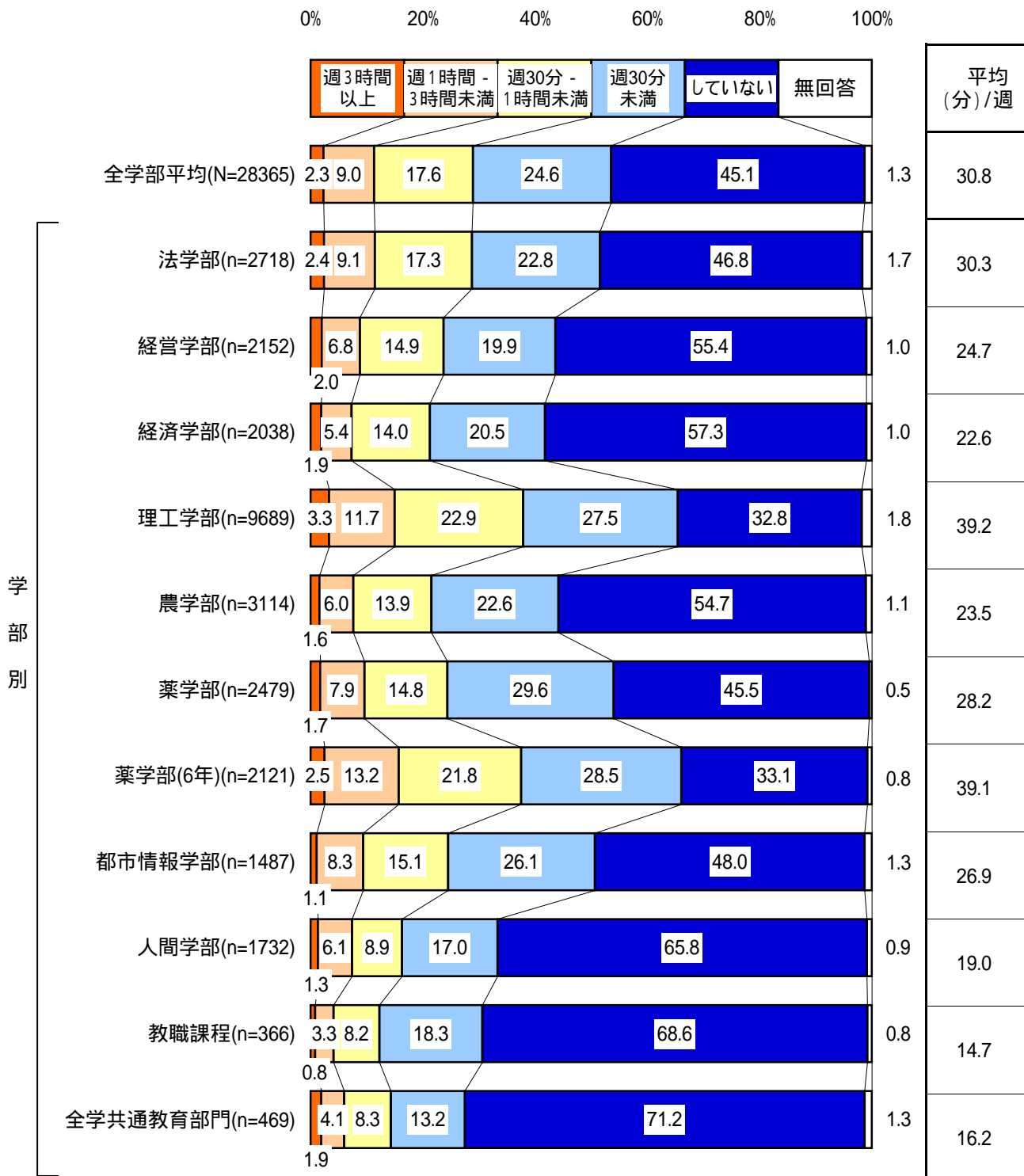
この設問の加重平均得点の与え方：全くしていない 5点、あまりしていない 4点
 どちらともいえない 3点、少々している 2点、よくしている 1点

13 - 2 学生用設問 勉強時間

[学生]

授業に対する勉強時間は「していない」が45.1%で最も高く、次いで「週30分未満」(24.6%)、「週30分 - 1時間未満」(17.6%)と続き、時間が長くなるほど減少する傾向。1週間あたりの平均勉強時間30.8分。
 学部別でみると、勉強時間が長いのは理工学部、薬学部(6年)の学生が多い。一方、勉強時間をもたないのは人間学部、教職課程、全学共通教育部門の学生が多い。

Q4.この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。



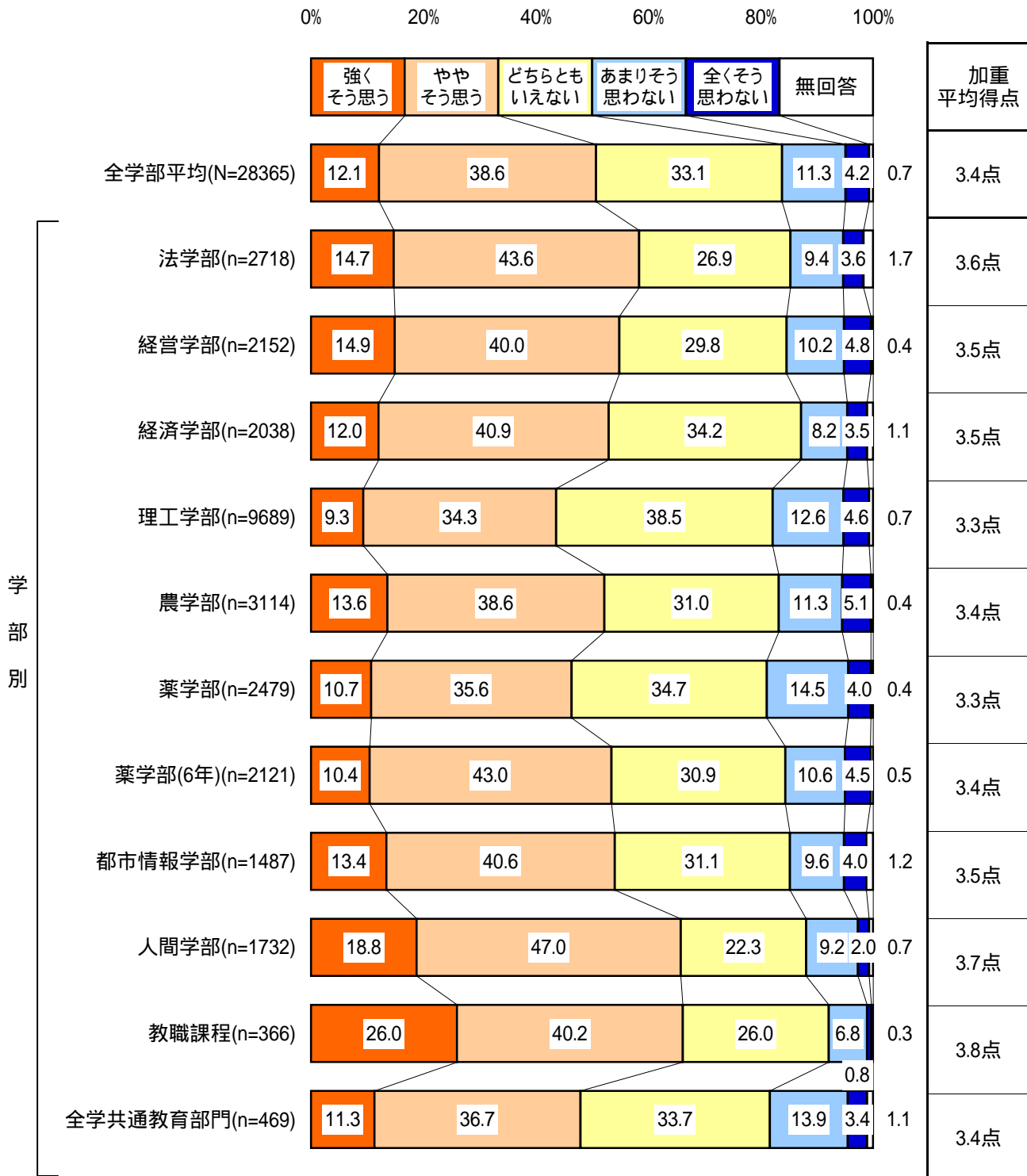
この設問の加重平均得点の与え方：週3時間以上 180分、週1時間-3時間未満 120分
 週30分-1時間未満 45分、週30分未満 30分、していない 0分

13 - 2 学生用設問 興味魅力

[学生]

授業内容が興味深く、魅力的であるかについて、「強くそう思う」は12.1%、「ややそう思う」は38.6%で、「思う計」は50.7%。加重平均得点3.4点。
 学部別でみると、ほとんどの学部で「思う計」が5割前後のなか、人間学部、教職課程の「思う計」は6割を超え、高い。また、教職課程は「強くそう思う」が26.0%で全学部平均を14ポイント上回る。

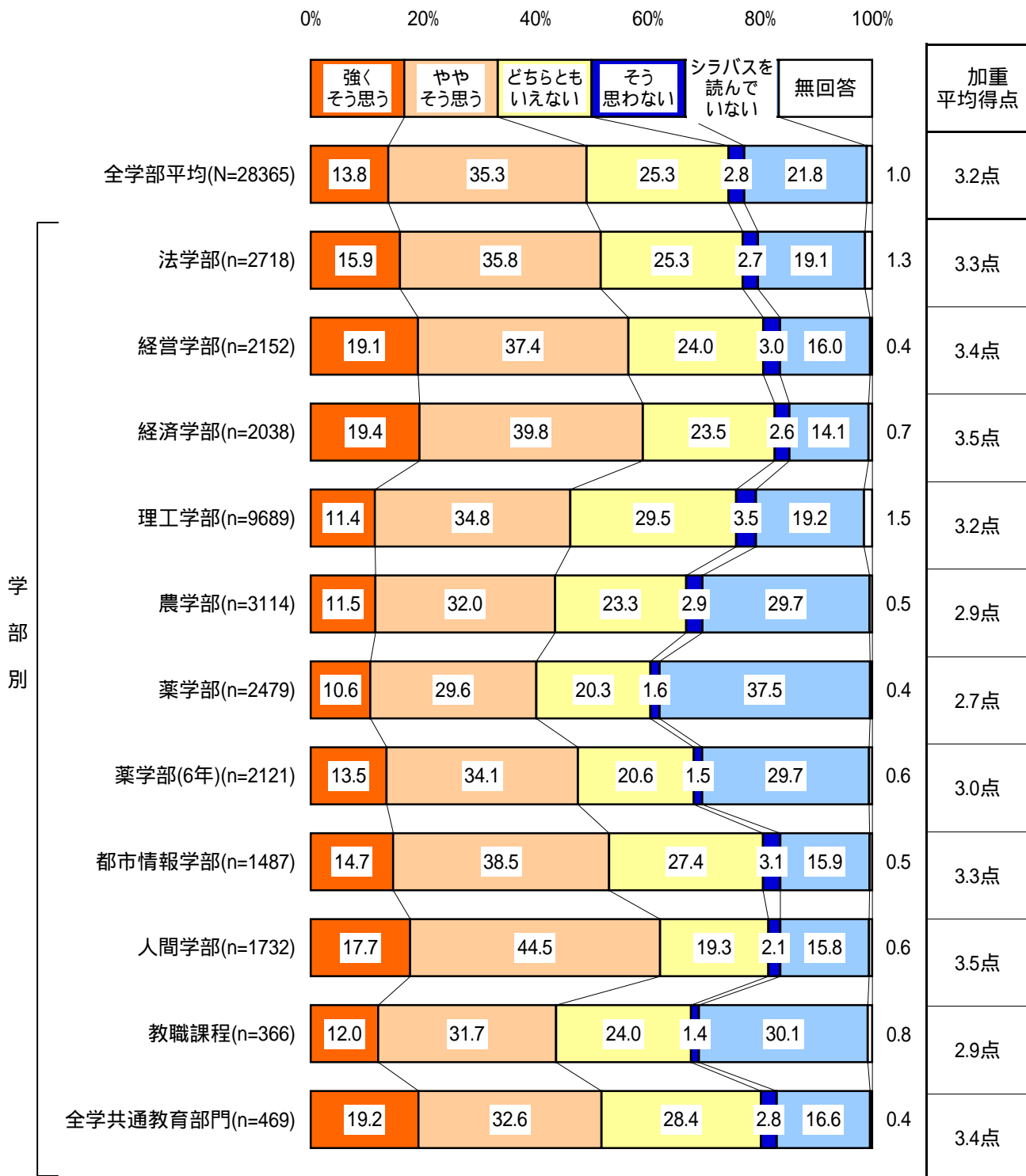
Q5.この授業は内容が興味深く、魅力的である。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

授業がシラバスの内容を満たしているかについて、「強くそう思う」は13.8%、「ややそう思う」は35.3%で、「思う計」は49.1%。
 加重平均得点3.2点。
 学部別でみると、ほとんどの学部で「思う計」が5割前後のなか、人間学部の「思う計」は6割を超え、高い。また、農学部、薬学部、薬学部(6年)、教職課程では「シラバスを読んでいない」が3割前後にのぼる。

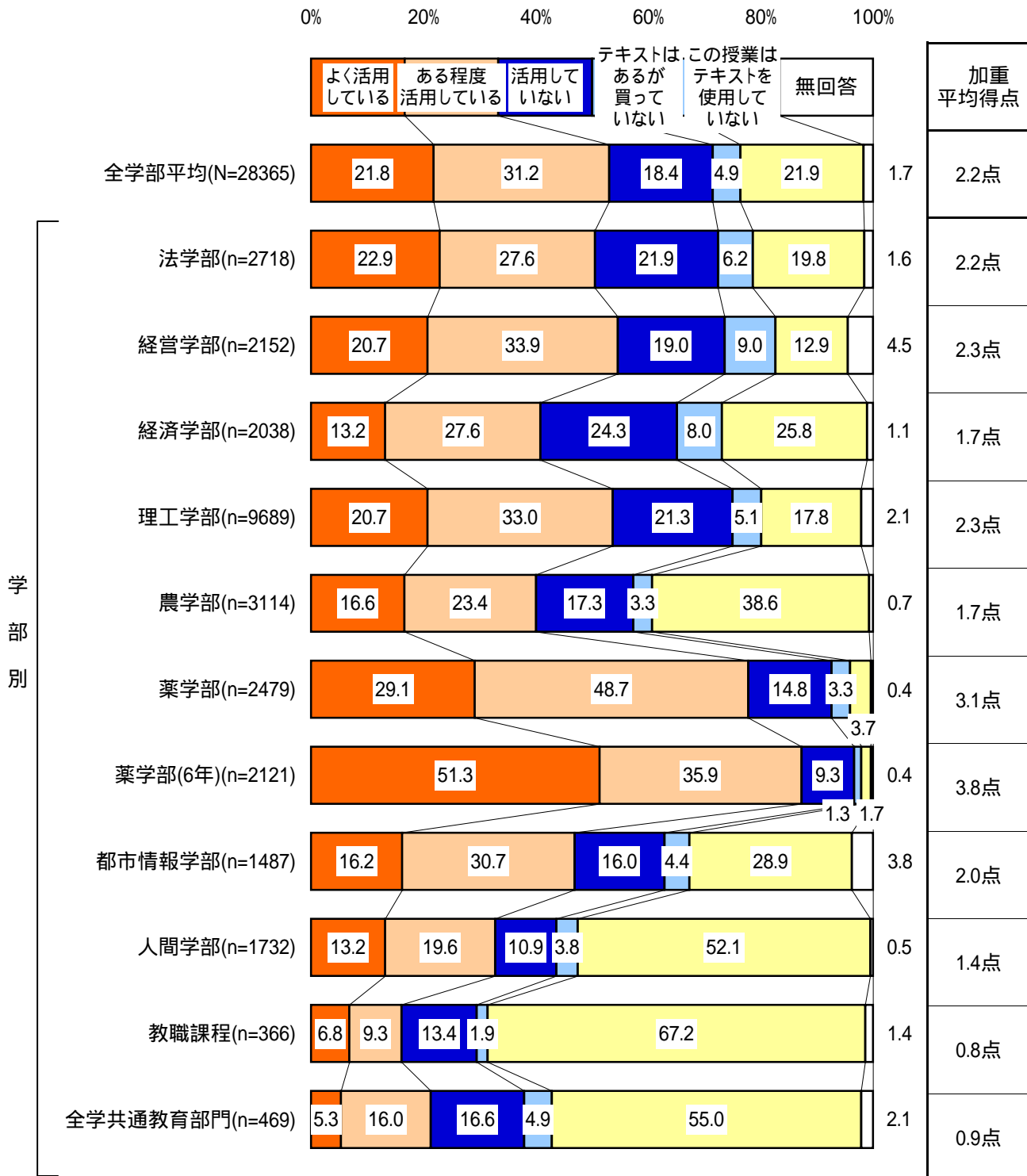
Q6.この授業はシラバスに示された内容を満たしている。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

授業におけるテキストの活用状況について、「よく活用している」は21.8%、「ある程度活用している」は31.2%で、「活用している計」（「よく活用している」+「ある程度活用している」）は53.0%。加重平均得点2.2点。
 学部別でみると、薬学部(6年)は「よく活用している」が半数を超え、「活用している計」も8割を超える。対して、人間学部、教職課程、全学共通教育部門では「この授業はテキストを使用していない」が半数以上を占める。

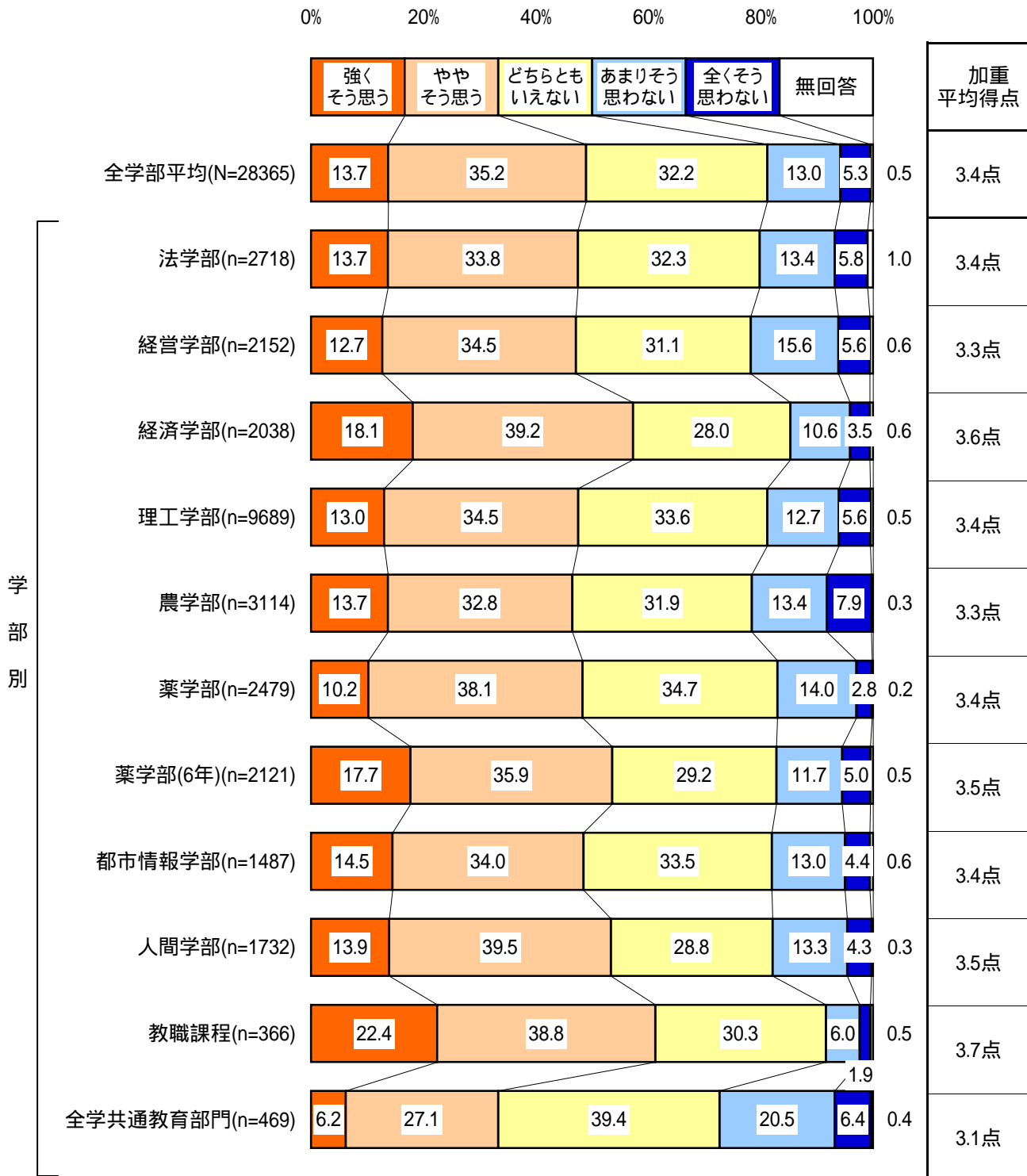
Q7.この授業では指定したテキストを活用している。



この設問の加重平均得点の与え方:よく活用している 5点、ある程度活用している 3点、活用していない 1点、
 テキストはあるが買ってない 0点、この授業はテキストを使用していない 0点

学生の理解度を確認しながら授業を進めているかについて、「強くそう思う」は13.7%、「ややそう思う」は35.2%で、「思う計」は49.0%。加重平均得点3.4点。
学部別でみると、全学共通教育部門は「思う計」が33.3%で全学部平均を16ポイント下回る。

Q8.教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。



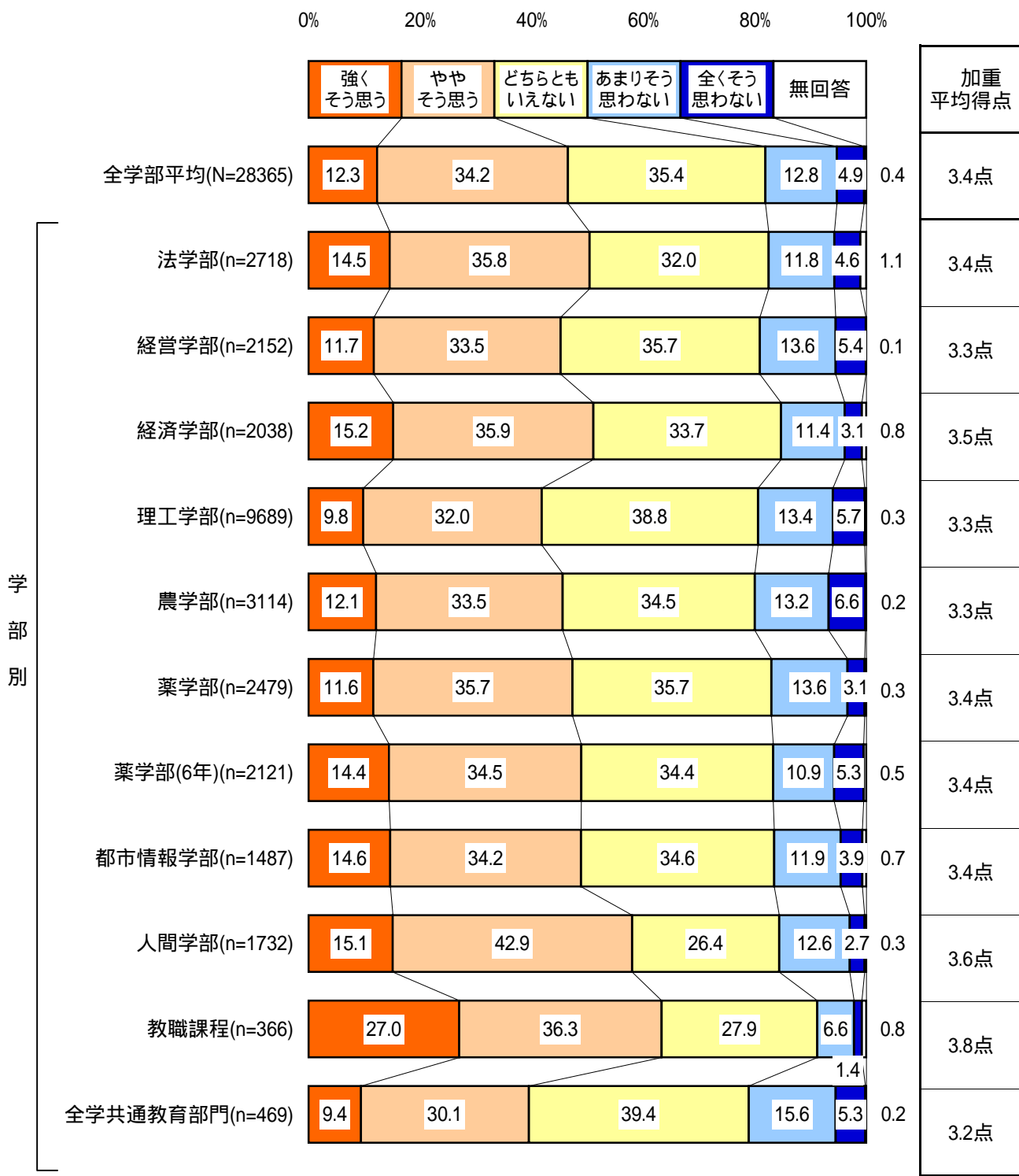
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

13 - 2 学生用設問 興味工夫

[学生]

教員は授業を学生に興味がわくように工夫した進め方をしているかについて、「強くそう思う」は12.3%、「ややそう思う」は34.2%で、「思う計」は46.5%。加重平均得点3.4点。
 学部別でみると、教職課程は「強くそう思う」が27.0%、「思う計」も63.4%で高く、「思う計」は全学部平均を17ポイント上回る。一方、全学共通教育部門では「思う計」が4割未満にとどまる。

Q9.教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。



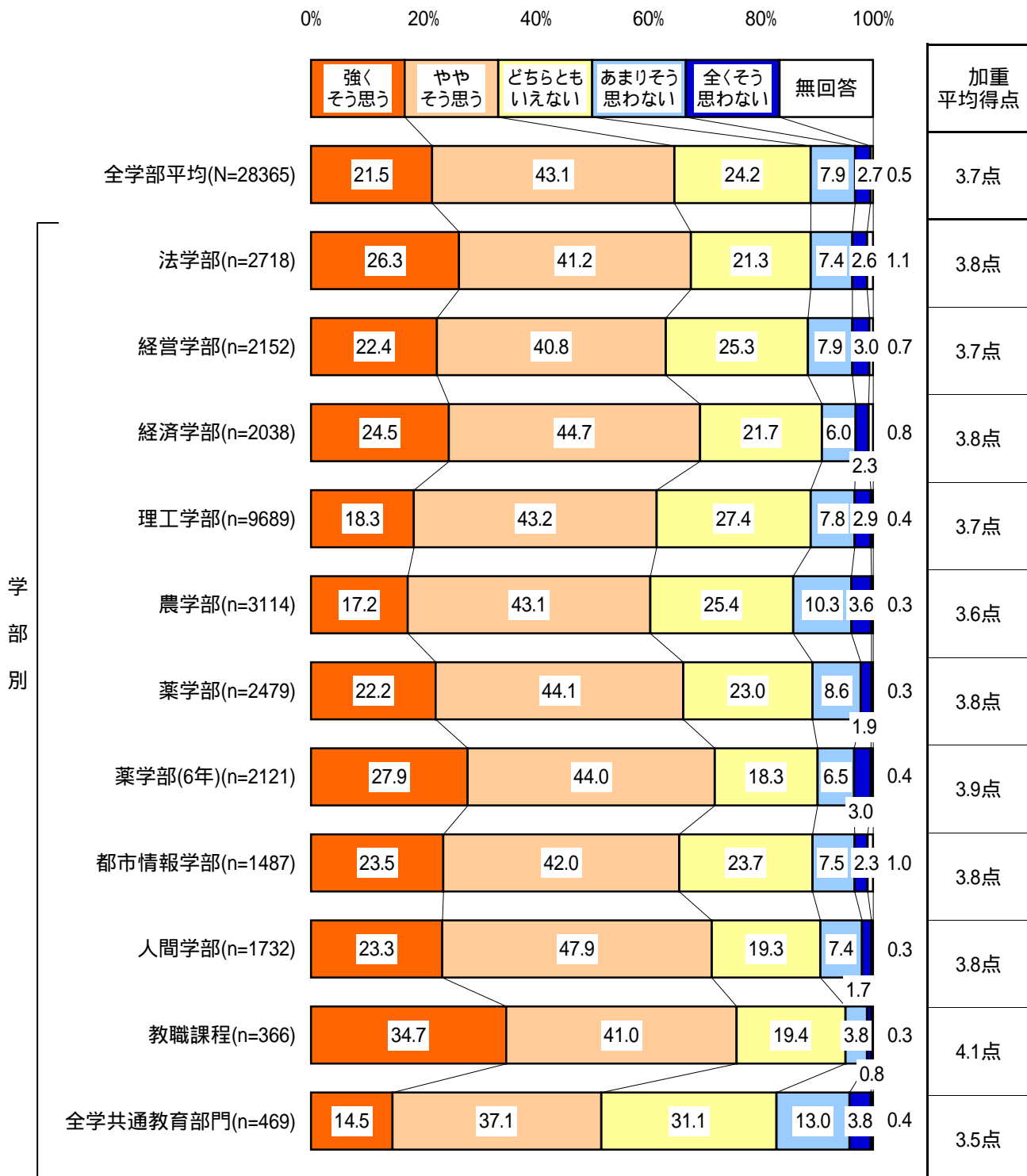
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

13 - 2 学生用設問 ポイント

[学生]

教員は授業の大切なポイントを示しているかについて、「強くそう思う」は21.5%、「ややそう思う」は43.1%で、「思う計」は64.6%。加重平均得点3.7点。
 学部別でみると、教職課程は「強くそう思う」が34.7%で全学部平均を13ポイント上回る。一方、全学共通教育部門は「思う計」が51.6%で全学部平均を13ポイント下回る。

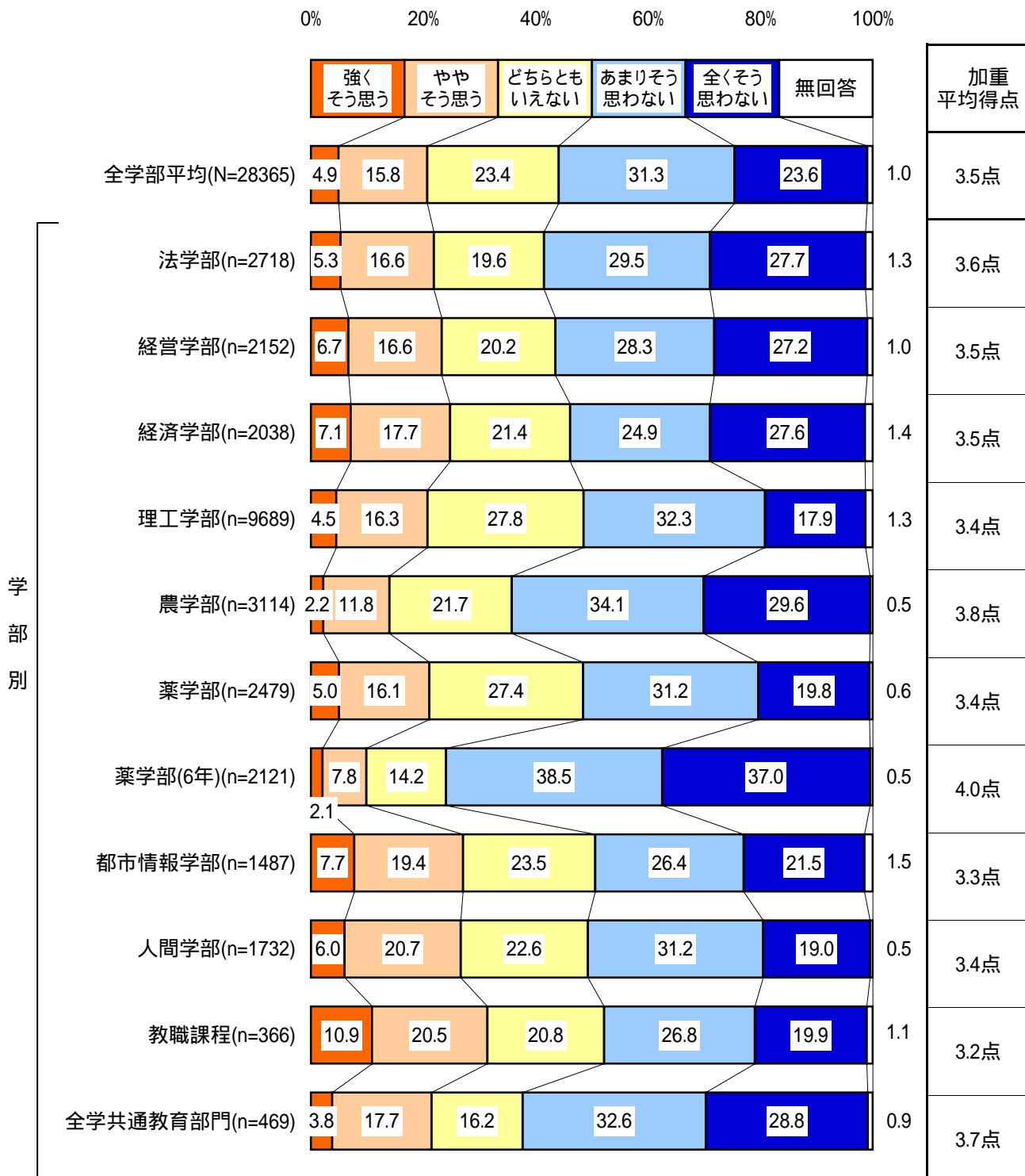
Q10.教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

私語が多くて授業が受けづらいかについて、「強くそう思う」は4.9%、「ややそう思う」は15.8%で、「思う計」は20.7%。加重平均得点3.5点。
学部別でみると、農学部、薬学部(6年)で「思う計」が1割前後と低く、授業が受けづらいと感じている学生は少ない。

Q11.この授業は私語が多くて受けづらい。



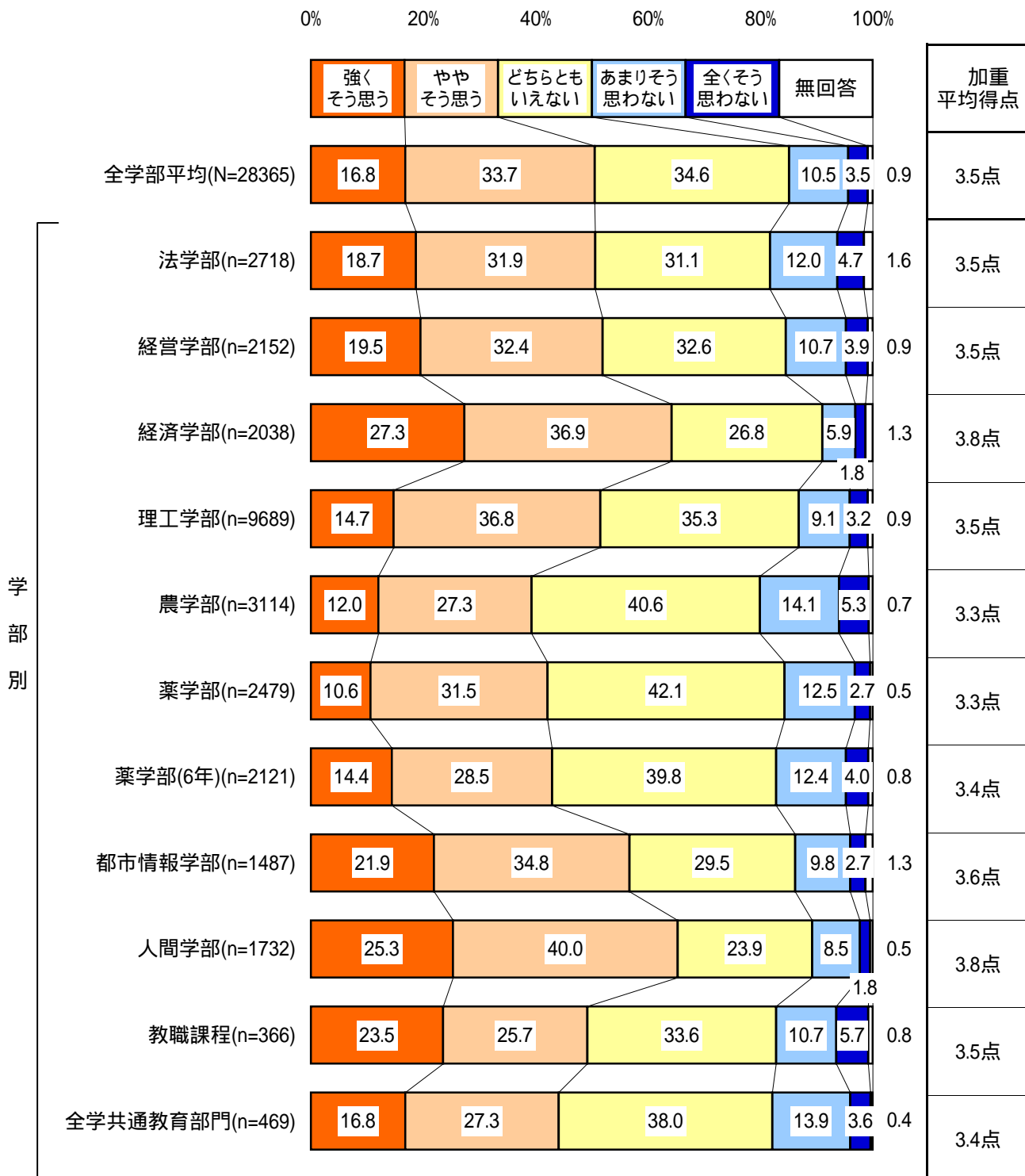
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 1点、ややそう思う 2点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 4点、全くそう思わない 5点

13 - 2 学生用設問 評価基準

[学生]

成績評価基準を明確に示したかについて、「強くそう思う」は16.8%、「ややそう思う」は33.7%で、「思う計」は50.5%。加重平均得点3.5点。
学部別でみると、ほとんどの学部で「思う計」が5割前後のなか、経済学部、人間学部の「思う計」は6割を超え、高い。

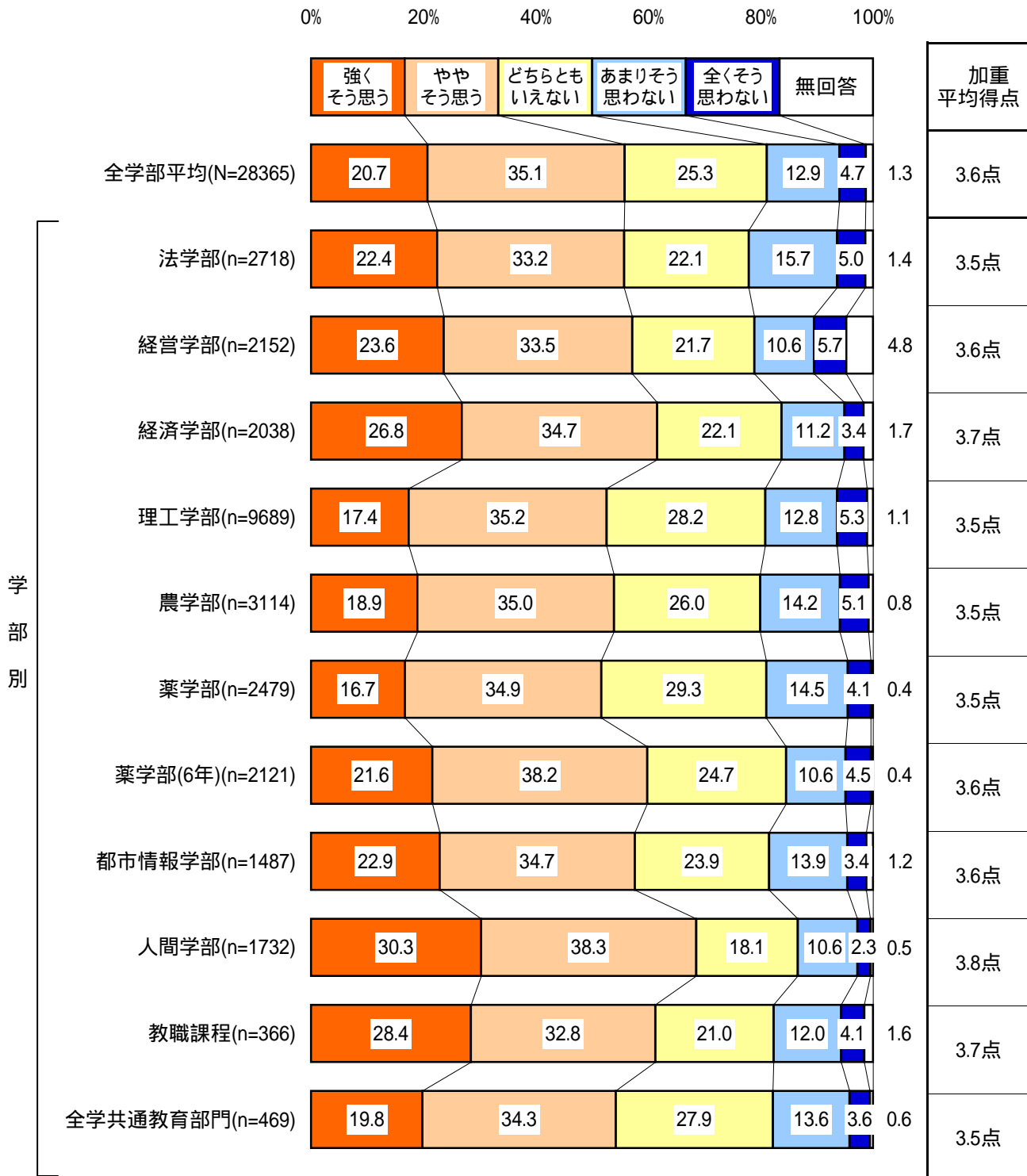
Q12.教員は成績評価基準を明確に示しましたか。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

板書などの文字は読み取りやすいかについて、「強くそう思う」は20.7%、「ややそう思う」は35.1%で、「思う計」は55.8%。加重平均得点3.6点。
学部別でみると、人間学部は「強くそう思う」が30.3%、「思う計」も68.6%で、「思う計」は全学部平均を13ポイント上回る。

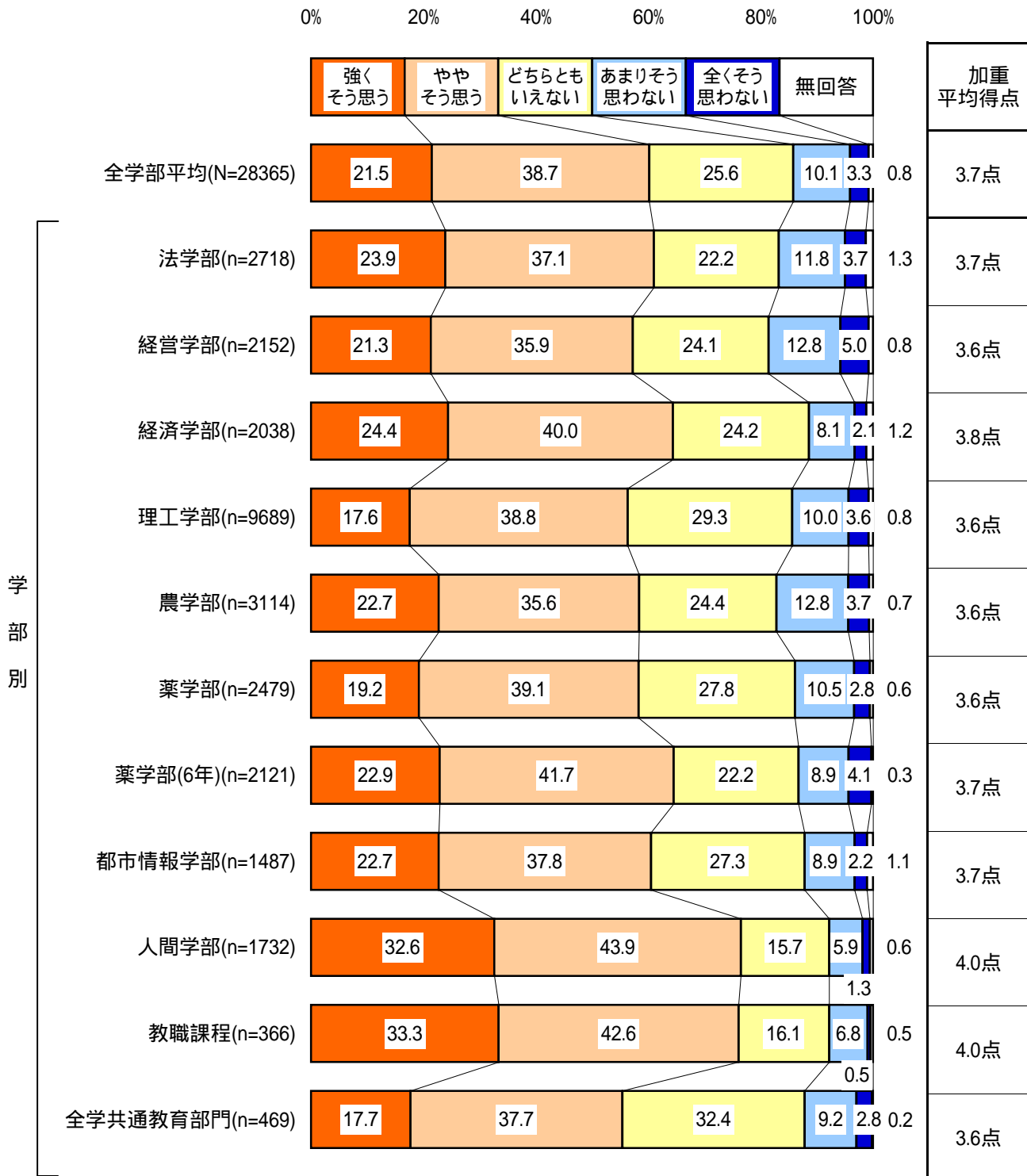
Q13.教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。



この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

教員の話し方が聞き取りやすいかについて、「強くそう思う」は21.5%、「ややそう思う」は38.7%で、「思う計」は60.1%。加重平均得点3.7点。
学部別でみると、ほとんどの学部で「思う計」が6割前後のなか、人間学部、教職課程で「思う計」が7割を超え、高い。

Q14.教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。



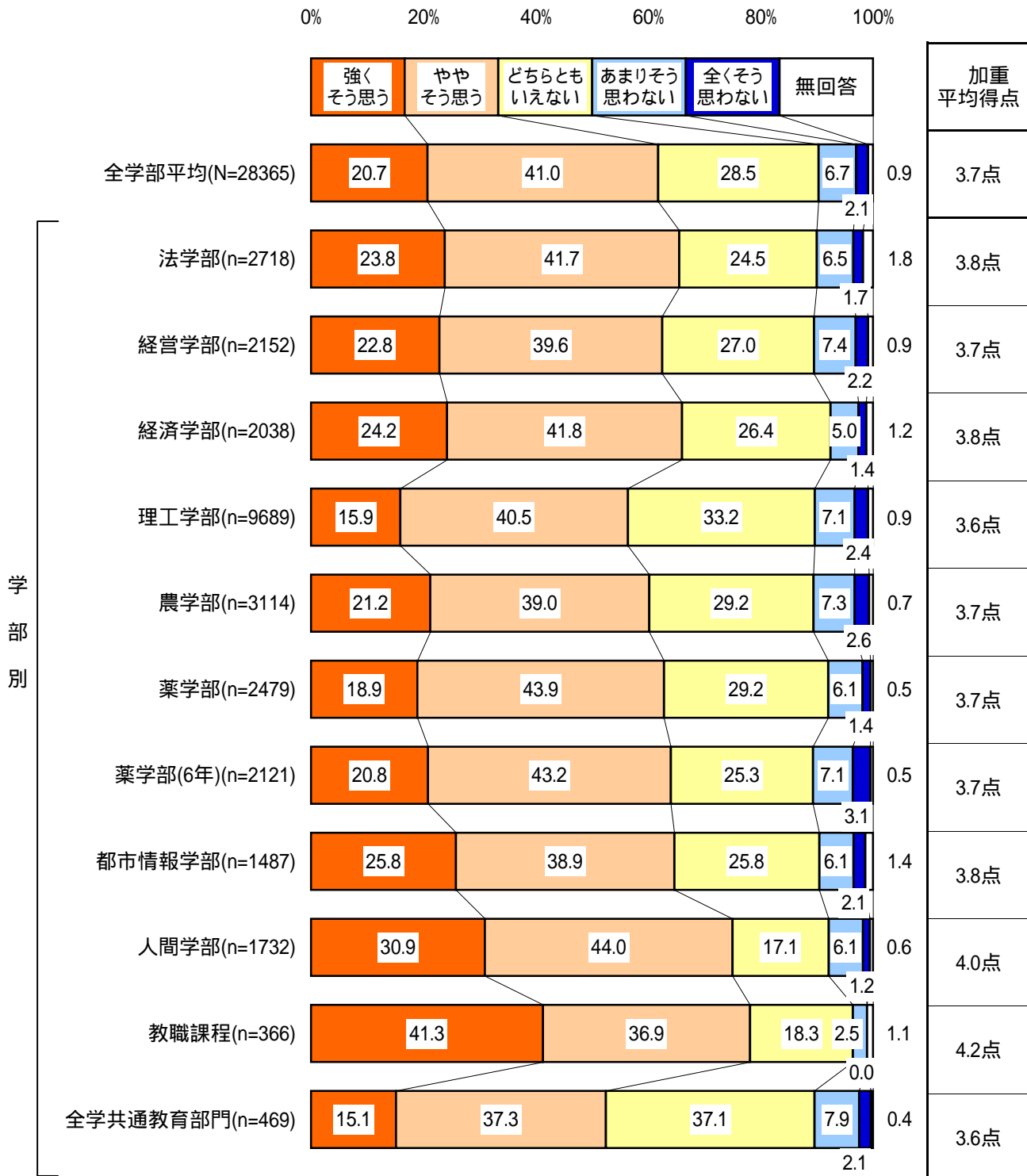
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

13 - 2 学生用設問 意欲熱意

[学生]

教員の授業に対する意欲熱意を感じるかについて、「強くそう思う」は20.7%、「ややそう思う」は41.0%で、「思う計」は61.8%。加重平均得点3.7点。
 学部別でみると、教職課程は「強くそう思う」が41.3%で全学部平均を21ポイント上回る。また、ほとんどの学部で「思う計」が6割前後のなか、人間学部、教職課程の「思う計」は7割を超え、高い。

Q15.この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。



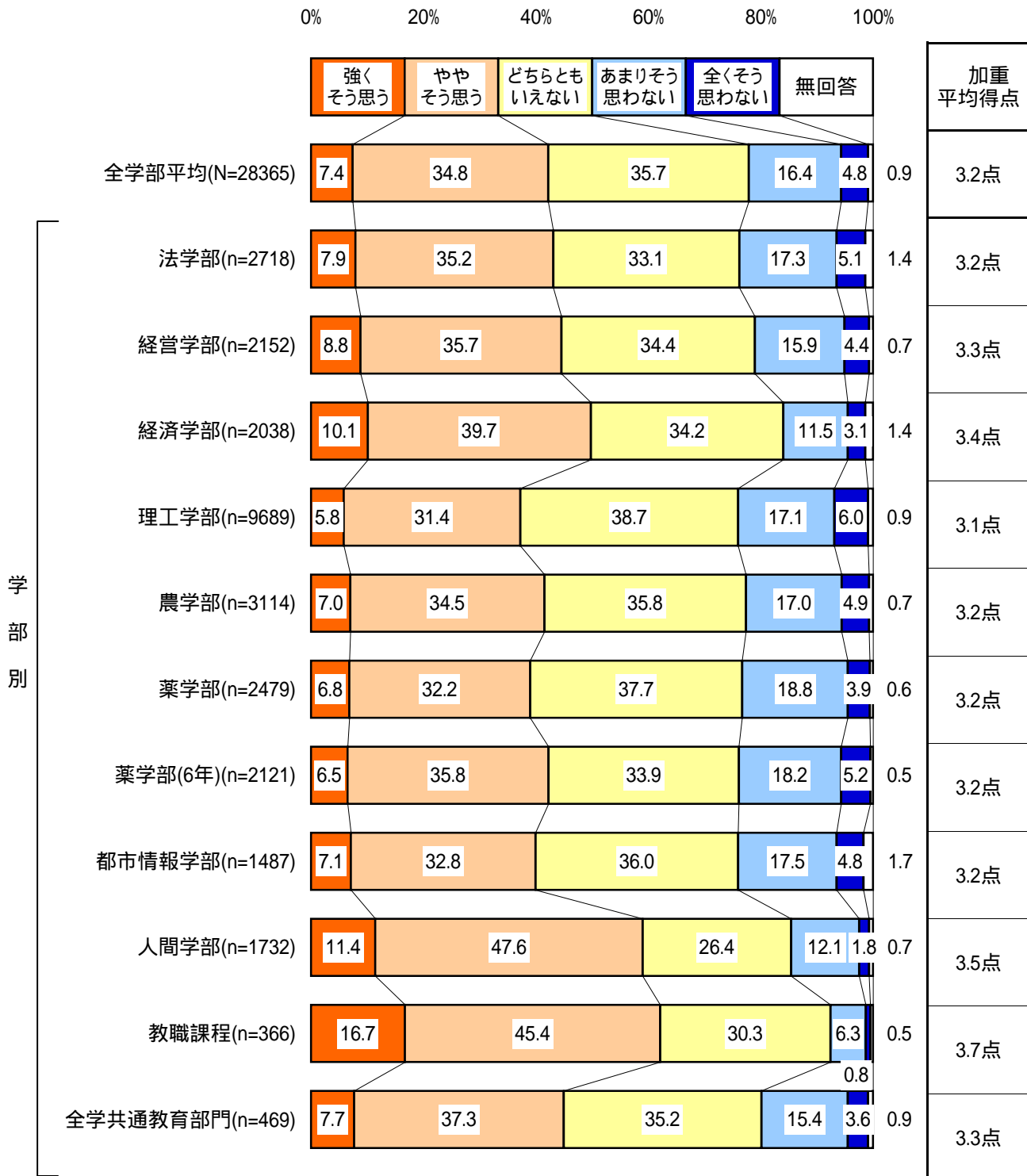
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

13 - 2 学生用設問 理解度

[学生]

授業が理解できているかについて、「強くそう思う」は7.4%、「ややそう思う」は34.8%で、「思う計」は42.2%と半数に満たない。加重平均得点3.2点。
学部別でみると、ほとんどの学部で「思う計」が半数以下にとどまるが、人間学部、教職課程の「思う計」は6割前後で高い。

Q16.自分はこの授業が理解できている。



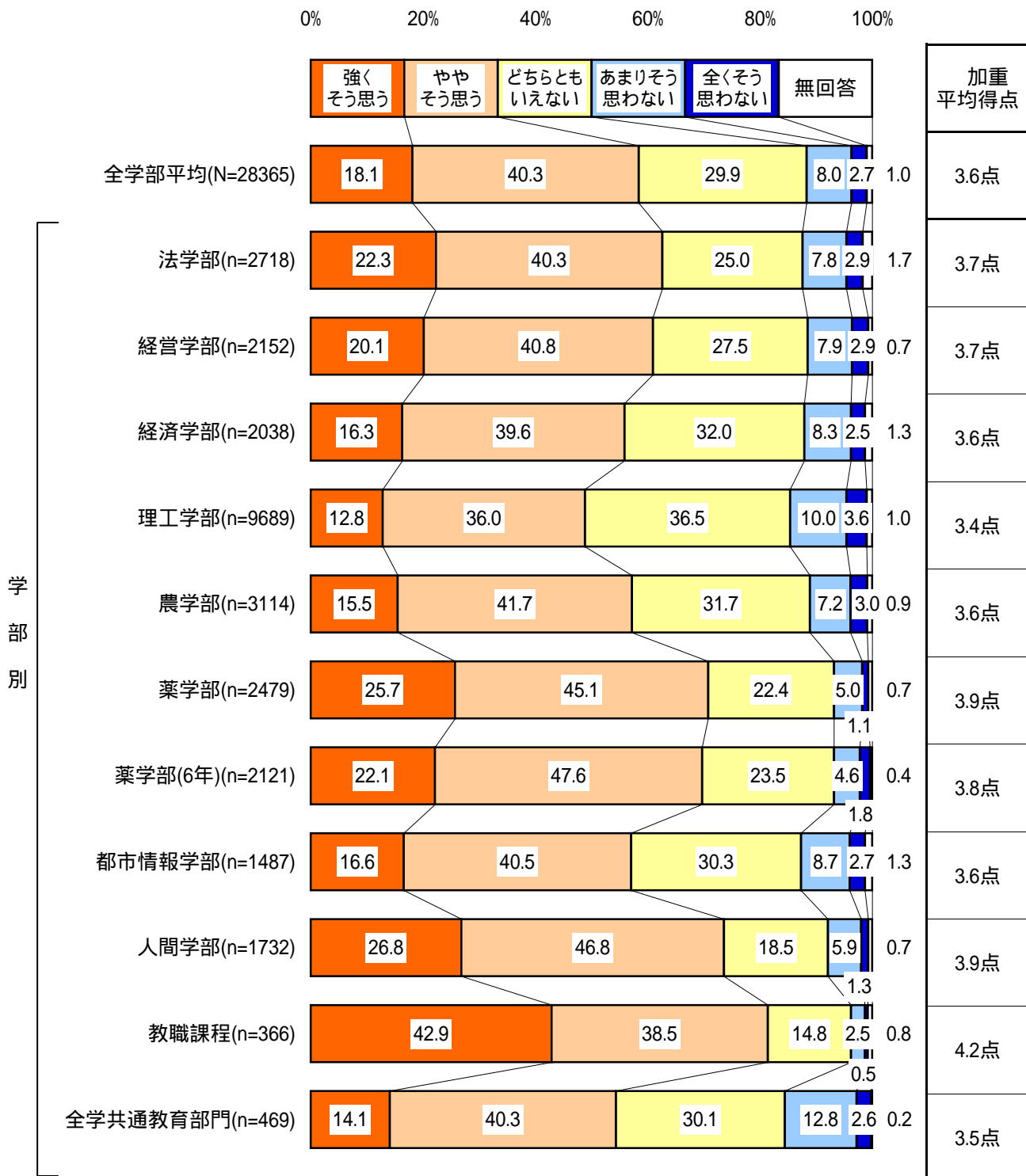
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

13 - 2 学生用設問 将来役立

[学生]

授業の内容が将来に役立つと思うかについて、「強くそう思う」は18.1%、「ややそう思う」は40.3%で、「思う計」は58.4%。加重平均得点3.6点。
 学部別でみると、教職課程の「強くそう思う」が42.9%で全学部平均を25ポイント上回り、「思う計」も8割を超え、高い。ほかに、薬学部、薬学部(6年)、人間学部の「思う計」も7割前後で高い。

Q17.この授業は将来に役立つと思いますか。



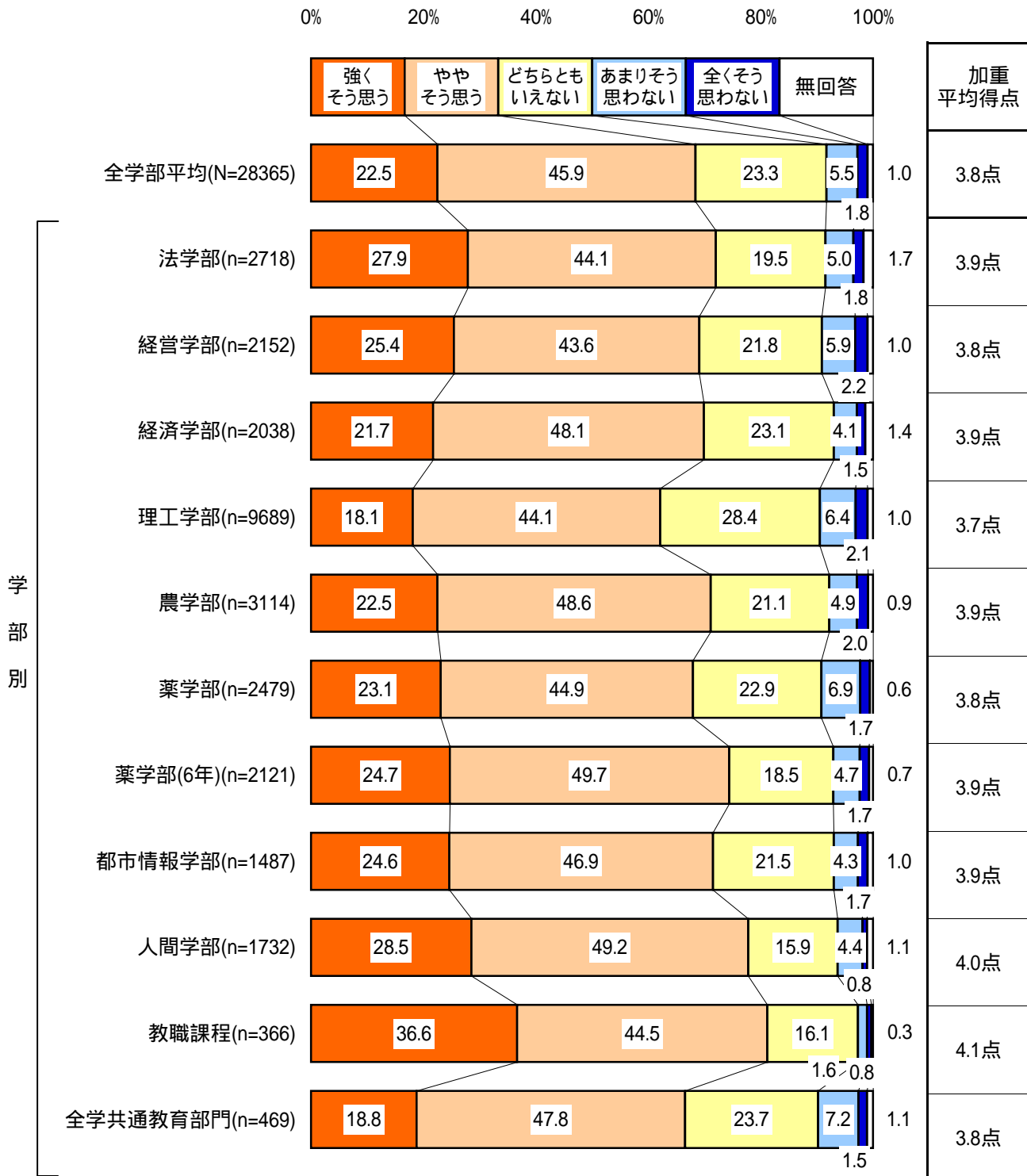
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

13 - 2 学生用設問 発見学習

[学生]

授業で新しいことを学んでいると思うかについて、「強くそう思う」は22.5%、「ややそう思う」は45.9%で、「思う計」は68.3%。加重平均得点3.8点。
 学部別でみると、「思う計」はすべての学部で7割前後を占め、差はほとんどないが、教職課程の「強くそう思う」は36.6%で全学部平均を14ポイント上回る。

Q18.この授業では新しいことを学べている。



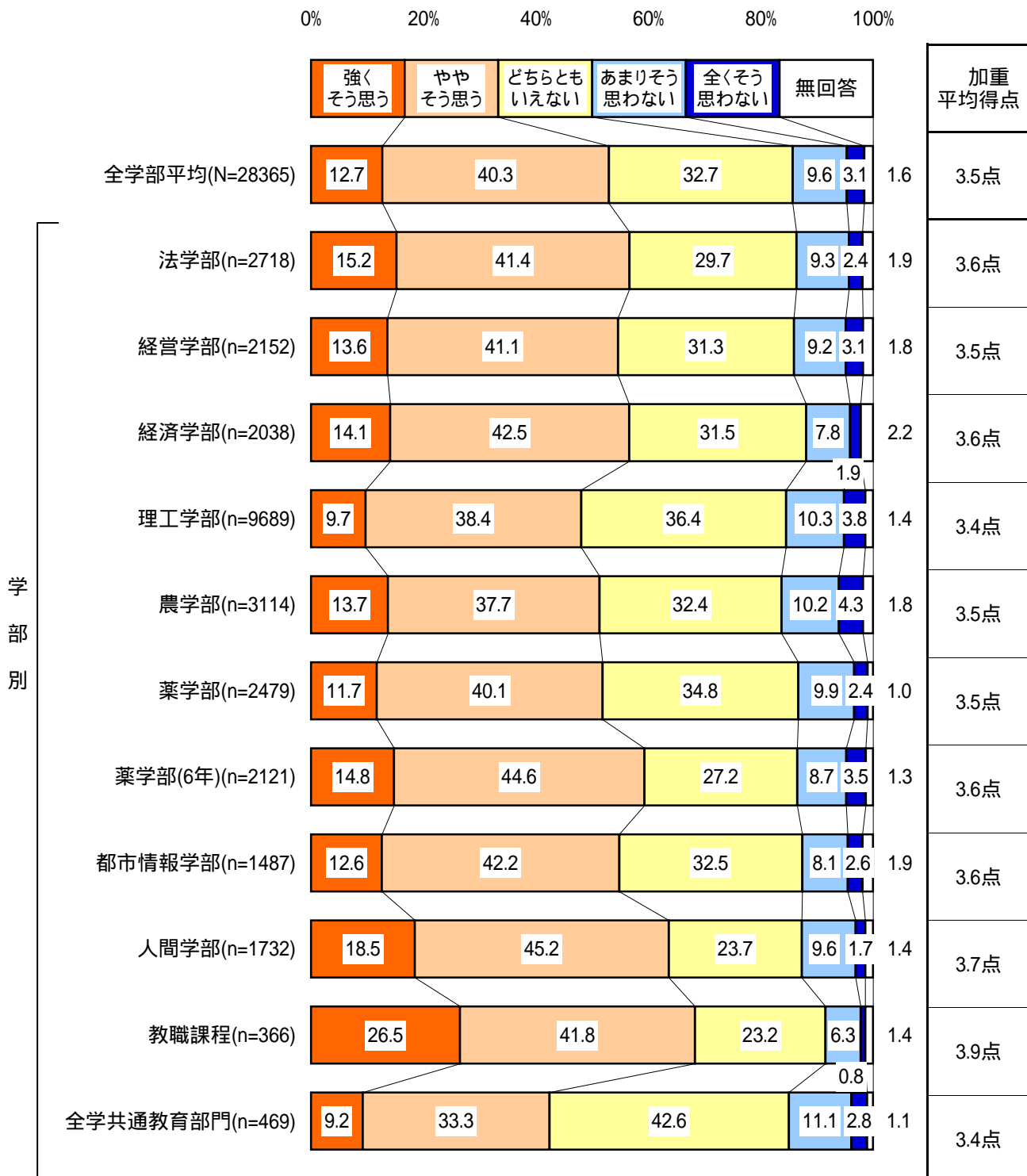
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点、どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

13 - 2 学生用設問 総合満足

[学生]

授業が満足いくものかについて、「強くそう思う」は12.7%、「ややそう思う」は40.3%で、「思う計」は53.0%。加重平均得点3.5点。
 学部別でみると、教職課程は「強くそう思う」が26.5%、「思う計」も68.3%で、「思う計」は全学部平均を15ポイント上回る。一方、全学共通教育部門の「思う計」は42.5%で全学部平均を10ポイント下回る。

Q19.この授業は総合的に見て満足のいくものである。



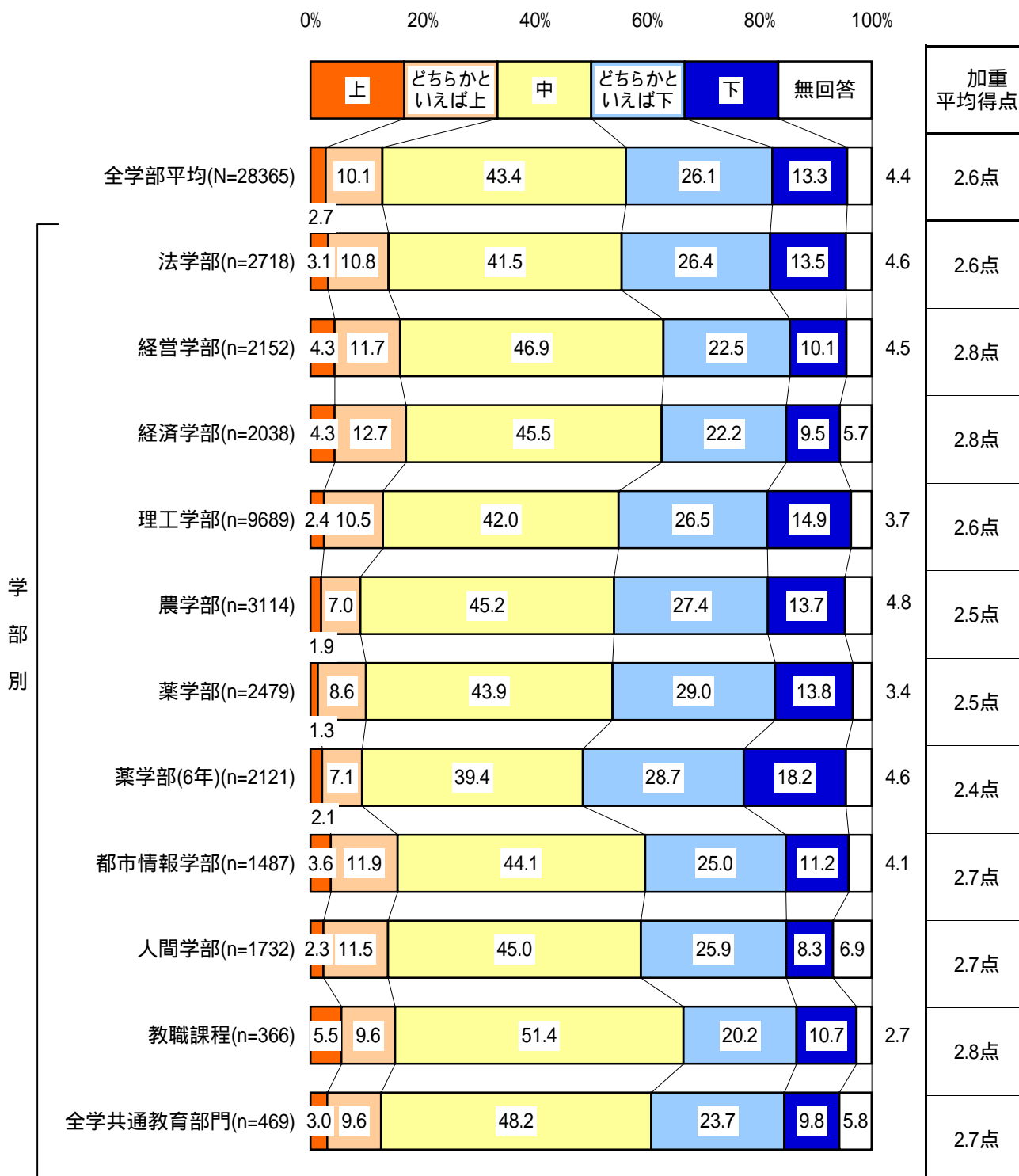
この設問の加重平均得点の与え方：強くそう思う 5点、ややそう思う 4点
 どちらともいえない 3点、あまりそう思わない 2点、全くそう思わない 1点

13 - 2 学生用設問 学力程度

[学生]

自分の学力の程度について、「上」または「どちらかといえば上」と思う学生は1割強にとどまり、4割以上の学生が「中」程度と回答。また、「下」または「どちらかといえば下」と思う学生も4割。加重平均得点2.6点。
 学部別でも自己評価にほとんど差はないが、薬学部(6年)の「下」または「どちらかといえば下」と思う学生が45.8%で全学部平均を7ポイント上回る。

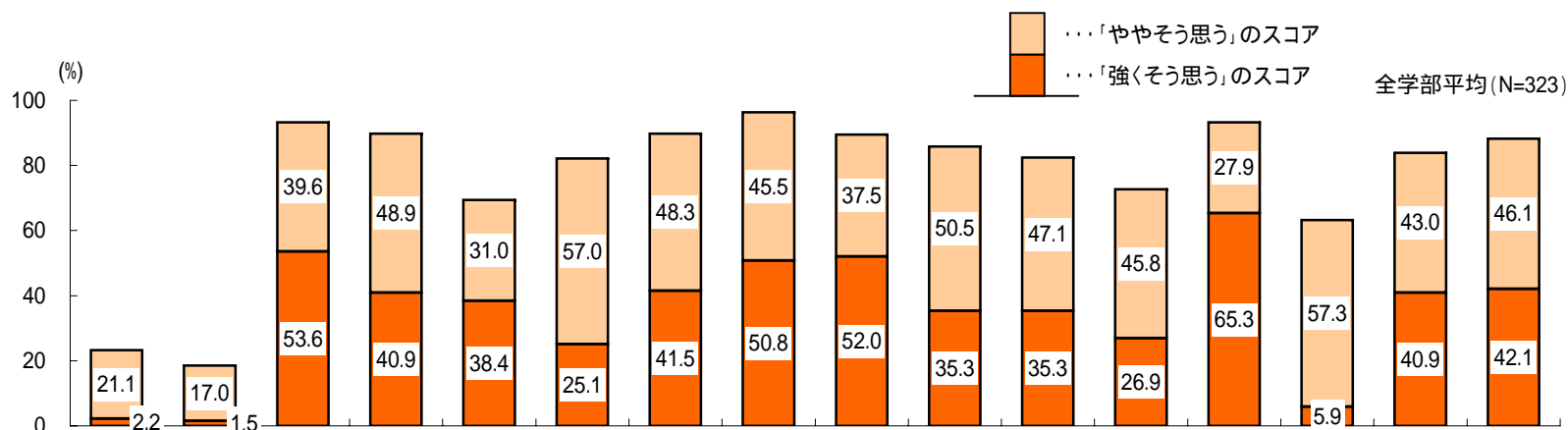
Q20.自分の学力はどの程度だと思いますか。



この設問の加重平均得点の与え方：上 5点、どちらかといえば上 4点
 中 3点、どちらかといえば下 2点、下 1点

14 調査結果のまとめ(1) 教員編

教員の調査結果をまとめると、「強くそう思う」が最も高いのは「意欲熱意」の65.3%で、次いで「興味魅力」(53.6%)、「私語対応」(52.0%)、「ポイント」(50.8%)が続く。一方、「基礎知識」「学力程度」「理解度」は1割に満たない。「思う計」(「強くそう思う」+「ややそう思う」)でみると、最も高いのは「ポイント」の96.3%で、次いで「興味魅力」「意欲熱意」(ともに93.2%)が続く。学部別でみると、薬学部や人間学部の評価が高い一方、理工学部では全体的に評価が低く、中でも「興味魅力」「意欲熱意」「発見学習」は全学部平均を5ポイント以上下回る。



「強くそう思う」のスコア		学力程度 ¹	基礎知識	興味魅力	シラバス	テキスト ²	理解配慮	興味工夫	ポイント	私語対応	評価基準 ³	板書	話方明瞭	意欲熱意	理解度	将来役立	発見学習
学部別	法学部 (n=22)	0.0	0.0	50.0	<u>27.3</u>	36.4	<u>13.6</u>	<u>31.8</u>	54.5	72.7	<u>27.3</u>	<u>18.2</u>	22.7	<u>36.4</u>	4.5	<u>27.3</u>	50.0
	経営学部 (n=25)	0.0	0.0	52.0	40.0	36.0	28.0	<u>36.0</u>	52.0	56.0	48.0	32.0	24.0	<u>56.0</u>	8.0	<u>28.0</u>	<u>28.0</u>
	経済学部 (n=20)	5.0	0.0	55.0	50.0	35.0	30.0	45.0	<u>40.0</u>	65.0	<u>30.0</u>	<u>25.0</u>	25.0	70.0	<u>0.0</u>	40.0	40.0
	理工学部 (n=131)	1.5	1.5	<u>47.3</u>	39.7	42.0	25.2	37.4	46.6	47.3	35.1	32.1	26.0	<u>59.5</u>	5.3	43.5	<u>36.6</u>
	農学部 (n=32)	3.1	0.0	65.6	40.6	<u>25.0</u>	<u>15.6</u>	40.6	62.5	62.5	<u>28.1</u>	37.5	<u>21.9</u>	81.3	9.4	37.5	43.8
	薬学部 (n=18)	0.0	5.6	66.7	<u>33.3</u>	50.0	33.3	61.1	55.6	66.7	38.9	55.6	22.2	88.9	11.1	77.8	50.0
	薬学部(6年) (n=23)	8.7	4.3	73.9	52.2	69.6	34.8	65.2	78.3	65.2	30.4	69.6	47.8	87.0	4.3	65.2	69.6
	都市情報学部 (n=24)	4.2	0.0	<u>41.7</u>	41.7	<u>20.8</u>	<u>16.7</u>	<u>33.3</u>	<u>41.7</u>	<u>33.3</u>	41.7	33.3	29.2	66.7	<u>0.0</u>	<u>16.7</u>	45.8
	人間学部 (n=17)	0.0	5.9	58.8	47.1	<u>29.4</u>	35.3	41.2	52.9	<u>35.3</u>	52.9	41.2	35.3	82.4	17.6	<u>35.3</u>	41.2
	教職課程 (n=5)	0.0	0.0	80.0	40.0	<u>20.0</u>	60.0	80.0	<u>40.0</u>	<u>20.0</u>	40.0	<u>0.0</u>	<u>20.0</u>	80.0	<u>0.0</u>	40.0	60.0
	全学共通教育部門 (n=6)	0.0	0.0	<u>33.3</u>	50.0	<u>16.7</u>	<u>0.0</u>	<u>33.3</u>	<u>16.7</u>	<u>16.7</u>	<u>0.0</u>	33.3	<u>16.7</u>	<u>16.7</u>	<u>0.0</u>	<u>16.7</u>	<u>33.3</u>

1 「学力程度」の選択肢は「上位層」+「どちらかといえば上位層」

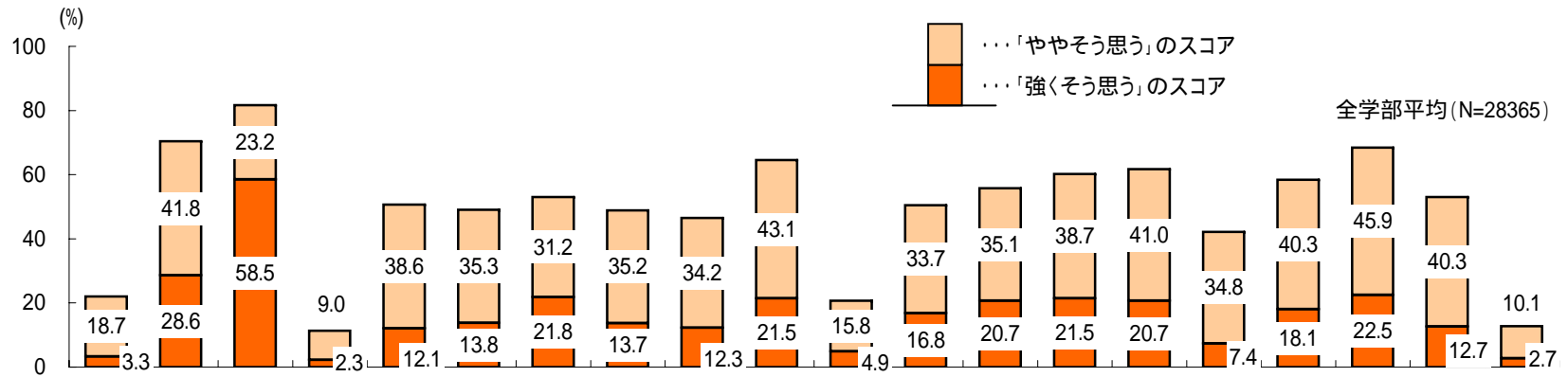
2 「テキスト」の選択肢は「よく活用している」+「ある程度活用している」

3 「評価基準」の選択肢は「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」

全体より5ポイント以上に網かけ、5ポイント以下に下線+斜線

14 調査結果のまとめ(2) 学生編

学生の調査結果をまとめると、「強くそう思う」が最も高いのは「遅刻欠席」の58.5%で、他に大きく差をつける。次いで「集中受講」(28.6%)、「発見学習」(22.5%)、「テキスト」(21.8%)、「ポイント」「話方明瞭」(ともに21.5%)が続く。一方、「基礎知識」「勉強時間」「私語対応」「理解度」「学力程度」は1割に満たない。「思う計」(「強くそう思う」+「ややそう思う」)でみると、最も高いのは「欠席遅刻」の81.7%で、次いで「集中受講」(70.4%)、「発見学習」(68.4%)が続く。
 学部別でみると、教職課程は全体的に評価が高く、中でも「意欲熱意」は21ポイント、「将来役立」は28ポイント全学部平均を上回る。また、薬学部(6年)の「テキスト」も51.3%で全学部平均を30ポイント上回る。



		「強くそう思う」のスコア																			
		基礎知識	集中受講	欠席遅刻 ¹	勉強時間 ²	興味魅力	シラパス	テキスト ³	理解配慮	興味工夫	ポイント	私語対応	評価基準	板書	話方明瞭	意欲熱意	理解度	将来役立	発見学習	総合満足	学力程度 ⁴
学部別	法学部 (n=2718)	3.5	33.8	44.2	2.4	14.7	15.9	22.9	13.7	14.5	26.3	5.3	18.7	22.4	23.9	23.8	7.9	22.3	27.9	15.2	3.1
	経営学部 (n=2152)	4.0	33.2	47.9	2.0	14.9	19.1	20.7	12.7	11.7	22.4	6.7	19.5	23.6	21.3	22.8	8.8	20.1	25.4	13.6	4.3
	経済学部 (n=2038)	4.5	31.6	46.9	1.9	12.0	19.4	13.2	18.1	15.2	24.5	7.1	27.3	26.8	24.4	24.2	10.1	16.3	21.7	14.1	4.3
	理工学部 (n=9689)	3.2	24.8	61.9	3.3	9.3	11.4	20.7	13.0	9.8	18.3	4.5	14.7	17.4	17.6	15.9	5.8	12.8	18.1	9.7	2.4
	農学部 (n=3114)	2.9	28.0	61.0	1.6	13.6	11.5	16.6	13.7	12.1	17.2	2.2	12.0	18.9	22.7	21.2	7.0	15.5	22.5	13.7	1.9
	薬学部 (n=2479)	1.8	29.5	71.5	1.7	10.7	10.6	29.1	10.2	11.6	22.2	5.0	10.6	16.7	19.2	18.9	6.8	25.7	23.1	11.7	1.3
	薬学部(6年) (n=2121)	3.1	34.7	76.3	2.5	10.4	13.5	51.3	17.7	14.4	27.9	2.1	14.4	21.6	22.9	20.8	6.5	22.1	24.7	14.8	2.1
	都市情報学部 (n=1487)	4.2	26.3	40.0	1.1	13.4	14.7	16.2	14.5	14.6	23.5	7.7	21.9	22.9	22.7	25.8	7.1	16.6	24.6	12.6	3.6
	人間学部 (n=1732)	2.4	26.2	59.1	1.3	18.8	17.7	13.2	13.9	15.1	23.3	6.0	25.3	30.3	32.6	30.9	11.4	26.8	28.5	18.5	2.3
	教職課程 (n=366)	5.2	26.5	62.8	0.8	26.0	12.0	6.8	22.4	27.0	34.7	10.9	23.5	28.4	33.3	41.3	16.7	42.9	36.6	26.5	5.5
全学共通教育部門 (n=469)	4.1	29.9	60.1	1.9	11.3	19.2	5.3	6.2	9.4	14.5	3.8	16.8	19.8	17.7	15.1	7.7	14.1	18.8	9.2	3.0	

1 「遅刻欠席」の選択肢は「全くしていない」+「あまりしていない」
 2 「勉強時間」の選択肢は「週3時間以上」+「週1時間~3時間未満」
 3 「テキスト」の選択肢は「よく活用している」+「ある程度活用している」
 4 「学力程度」の選択肢は「上」+「どちらかといえば上」

全体より5ポイント以上に網かけ、5ポイント以下に下線+斜線

平成 19 年度後期授業満足度アンケート
調査結果報告書

発行日：平成 20 年 3 月

編集：名城大学 F D 委員会学生満足度チーム
名城大学大学教育開発センター

発行：名城大学 F D 委員会